

HP OMi Management Pack for Microsoft Exchange Server

ソフトウェアバージョン: 1.00

Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティングシステム)

オンライン ヘルプの PDF 版

ドキュメントリリース日: 2014 年 9 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 9 月



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の登録は、次の Web サイトから行うことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP ソフトウェアサポート オンライン Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsupport>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェアオンラインではセルフヘルプ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやTILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは <http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

目次	5
第1章: はじめに	7
第2章: 作業の開始	8
タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加	8
タスク 2: トポロジ同期設定の確認	9
タスク 3: エンリッチメント ルールの有効化	9
タスク 4: Exchange 検出アスペクトのデプロイ	10
タスク 5: 検出の確認	11
タスク 6: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイ	12
タスク 6a: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの特定とデプロイ	13
タスク 6b: Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイ	15
タスク 7: 拡張トポロジの検出の確認	16
Microsoft Exchange Server 環境の監視	18
イベント パースペクティブ	18
状況 パースペクティブ	19
パフォーマンス パースペクティブ	20
第3章: コンポーネント	21
Microsoft Exchange Server 管理テンプレート	21
Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの概要	22
タスク	22
基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート	24
詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレート	34
Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート	41
Microsoft Exchange Server アスペクト	60
タスク	60
パラメータ	125
パラメータのタイプ	125
パラメータの調整	126

ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー	127
構成 アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)	133
エンリッチメント ルール	134
状況 インジケータ (HI) と イベント タイプ インジケータ (ETI)	134
トポロジ ベースの イベント 相 関 処 理 (TBEC) ルール	142
Operations Orchestration (OO) フロー	162
グラフ テンプレート	165
ツール	169
ツールの起 動	169
第 4 章: カスタマイズ シナリオ	173
Microsoft Exchange Server 管 理 テンプレート の 作 成	173
Microsoft Exchange Server 管 理 テンプレート の 編 集	174
パラメータの編 集	175
アスペクトの編 集	176
第 5 章: トラブルシューティング	177
付 録: メトリックとデータストア	182
2010 用 のデータストア	182
2013 用 のデータストア	205
ドキュメントのフィードバックを送 信	225

第1章: はじめに

HP OMi Management Pack for Microsoft Exchange Server (OMi MP for Microsoft Exchange Server) は HP Operations Manager i (OMi) とともに動作し、Microsoft Exchange Server 2010 と 2013 の環境の監視を可能にします。Microsoft Exchange Server は、メールの交換、タスクのスケジュール、およびコラボレーションのために世界中で使用されているメッセージングサーバです。OMi MP for Microsoft Exchange Server では、Microsoft Exchange Server の可用性、状況、パフォーマンスを監視する標準設定の aspekt および管理テンプレートを使用して、組織の Exchange 環境を管理および監視できます。管理テンプレートは、Exchange サービスの状態、サーバの可用性、サーバのパフォーマンス、メールフロー、トランスポートキューなどを監視できる広範囲の aspekt で構成されています。また、Microsoft Exchange Server 内で発生するイベントを分析し、状況ステータスをレポートする状況インジケータ (HI)、イベントタイプインジケータ (ETI)、および相関ルールも備えています。

これらの管理テンプレートまたは aspekt は、組織環境内の Microsoft Exchange Server を監視する管理者によってシームレスにデプロイできます。領域専門家 (SME) と開発者は、Exchange Server 管理テンプレートを簡単にカスタマイズできます。

OMi MP for Microsoft Exchange Server の特長は次のとおりです。

- 自動化されたインスタンスベースのシンプルな構成とデプロイメント
- すべてのデプロイメントシナリオでの Microsoft Exchange Server および基盤インフラストラクチャの状況およびパフォーマンスの全方位監視
- さまざまな監視要件に合わせてすぐにデプロイできる標準設定の管理ソリューション
- Active Directory および基盤システムインフラストラクチャを含む、完全な Exchange Server デプロイメントの監視

第2章: 作業の開始

この項では、Microsoft Exchange Server インスタンスを監視するための OMi MP for Microsoft Exchange Server のコンポーネントのデプロイについて手順を追って説明します。Microsoft Exchange Server のイベント、状況、およびパフォーマンスの各パースペクティブへのアクセスと表示方法についても説明します。

タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加

注: 監視対象の Microsoft Exchange Server が Smart Plug-in for Microsoft Exchange Server (SPI for Microsoft Exchange Server) によってすでに監視されている場合は、先に進む前に、Microsoft Exchange Server をホストしているノードから SPI アーティファクトとデータソースを削除してください。

注: ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードが既に存在する場合、この手順をスキップして [タスク 3](#) に進むことができます。

監視を始める前に、BSM コンソールにノードを追加する必要があります。

1. [オペレーション管理の管理] から [モニタされるノード] マネージャを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [モニタされるノード]

2. [ノード ビュー] ペインで **[事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタされているノード]** をクリックし、***** をクリックしてから、**[Computer] > [Windows]** をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログボックスが表示されます。
3. ノードの [プライマリ DNS 名]、[オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ]、説明を指定し、**[OK]** をクリックします。

新しく作成されたノードは、ランタイム サービス モデル (RTSM) の構成アイテム (CI) インスタンスになります。

注: Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

タスク2: トポロジ同期設定の確認

注: ノードまたは CI を HP Operations Manager で監視している場合、トポロジ同期の設定を確認することをお勧めします。

トポロジ同期設定を確認するには、以下の手順に従います。

1. [オペレーション管理の管理] から [インフラストラクチャ設定] を開きます。

[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定]

2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、[アプリケーション] > [オペレーション管理] を選択します。


3. [オペレーション管理] の [HPOM トポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期に使用するパッケージが含まれます。パッケージ **default;nodegroups;operations-agent** はデフォルトで存在します。 **HPOprAds;HPOprExc** パッケージも存在していることを確認します。これらのパッケージが存在しない場合は、他の Topology Sync パッケージとともに追加してください。

タスク3: エンリッチメント ルールの有効化

エンリッチメント ルールを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [エンリッチメント マネージャ] を開きます。

[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ]

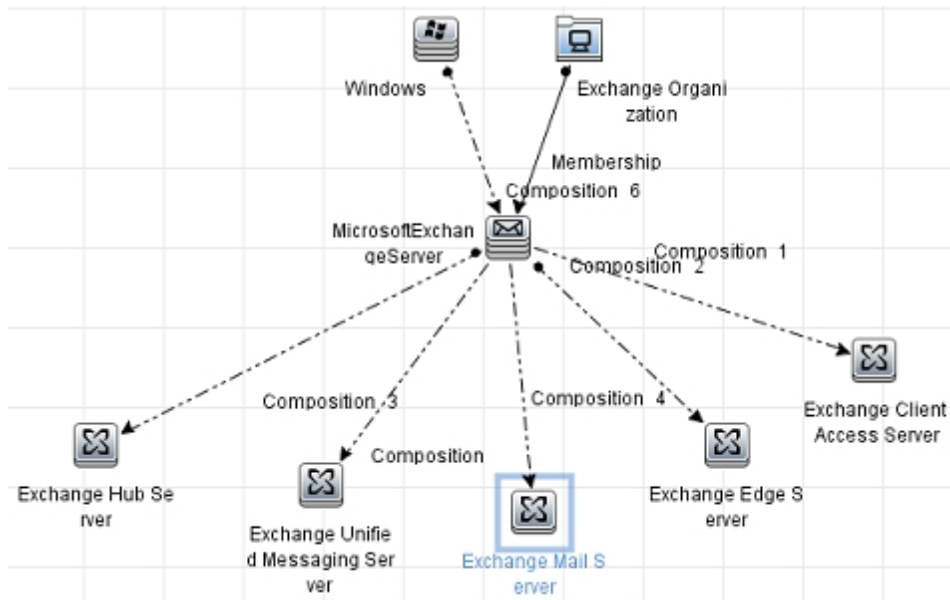
2. [エンリッチメント ルール] ペインで、リストから **[SoftwareElementDisplayLabelForNewHost]** を選択します。[エンリッチメント ルールのプロパティ] ウィンドウが開きます。
3. 右クリックして **[プロパティ]** を選択します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[ルールを有効にする]** を選択します。
6. **[完了]** をクリックします。
7. [エンリッチメント ルール] ペインで、 をクリックして変更を保存します。

タスク 4: Exchange 検出アスペクトのデプロイ


Exchange 検出アスペクトにより、環境内の Microsoft Exchange Server インスタンスを検出できます。

Exchange 検出アスペクトのデプロイメントにより、次の CI タイプ (CIT) の構成アイテム (CI) が検出されます。

- Exchange Organization
- Windows CI
- Microsoft Exchange Server と Exchange Server の役割:
 - Exchange Client Access Server
 - Exchange Mail Server
 - Exchange Unified Messaging Server
 - Exchange Edge Server
 - Exchange Hub Server



追加した管理対象ノード上の CI を検出して Exchange 検出アスペクトをデプロイできます。Exchange 検出アスペクトをデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。
[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト]
2. [構成 フォルダ] ペインで、**[構成 フォルダ] > [Microsoft アプリケーション 構成 の 管理] > [Microsoft Exchange Server] > [アスペクト]** をクリックします。
3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインで、**[Exchange 検出]** を選択し、 **[項目 の 割り 当て と デプロイ]** をクリックします。[割り 当て と デプロイ] ウィザード が開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブで Exchange 検出 アスペクト をデプロイ する Windows Node CI をクリックし、**[次 へ]** をクリックします。
5. **[完了]** をクリックします。

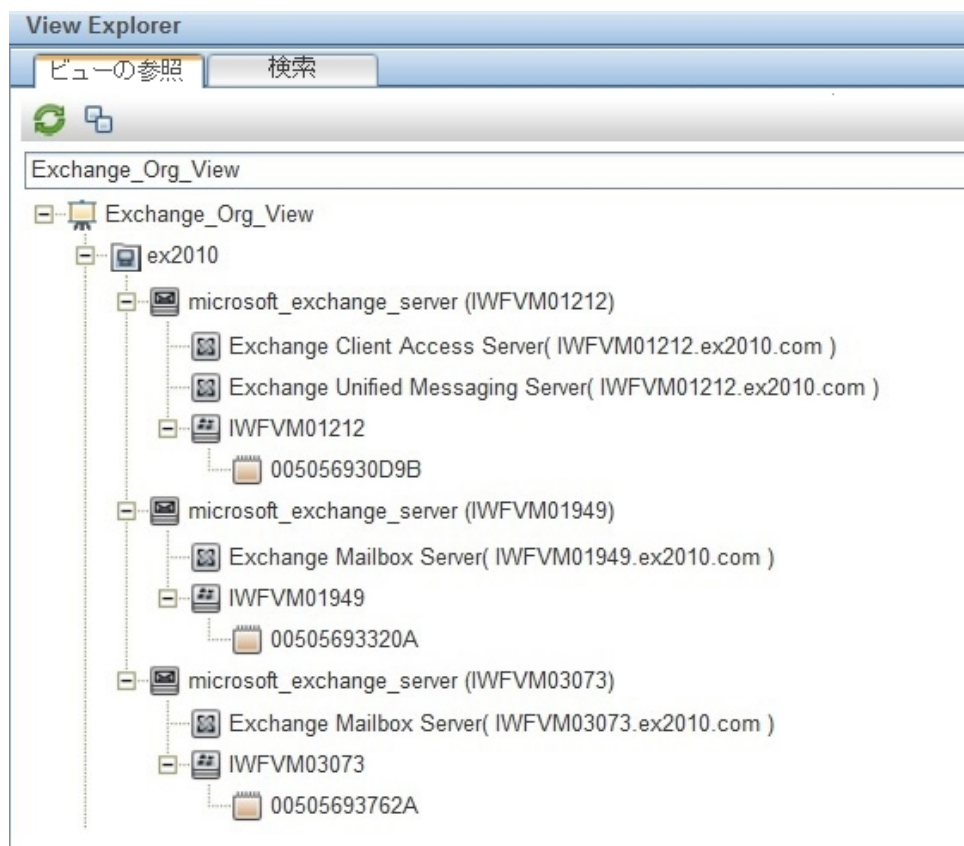
注: Exchange 検出 アスペクト をデプロイ すると、「割り 当て および デプロイ メント ジョブ を 作成 しました」 から 始まる メッセージ が 表示 されます。デプロイ メント ジョブ のステータス を 確認 するには、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [展開ジョブ]** を 選択 します。

タスク 5: 検出 の 確認

Exchange 検出 アスペクト をデプロイ した 後、[View Explorer] に CI が 表示 されている こと を 確認 できます。

1. **[アプリケーション] > [オペレーション管理] > [Event Perspective]** をクリックします。
2. [View Explorer] で、ドロップダウン リスト から **Exchange_Org_View** を 選択 します。

次の図に示すように、**Exchange_Org_View** に関連付けられている CIを確認できます。



タスク 6: Microsoft Exchange Server 管理テンプレート またはアスペクトのデプロイ

Monitoring Automation for Composite Applications ライセンスを使用している場合、Microsoft Exchange Server 管理テンプレートまたは Microsoft Exchange Server アスペクトを Microsoft Exchange Server CI にデプロイできます。Microsoft Exchange Server 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 6a: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの特長とデプロイ](#)」を参照してください。Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b: Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Servers ライセンスを使用している場合、Microsoft Exchange Server アスペクトを Microsoft Exchange Server CI にデプロイできます。Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6b: Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

タスク 6a: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの特定とデプロイ

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートをデプロイする前に、Exchange 検出アスペクトをデプロイする必要があります。詳細については、「[タスク 4: Exchange 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Exchange Server 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した Exchange Server 管理テンプレートを特定できます。

- サーバ可用性、サービス可用性、メールフローの待機時間、レプリケーションステータス、MAPI 接続、トランスポート キューなどの Microsoft Exchange Server の主要領域を監視する場合、[基本 Microsoft Exchange Server 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- SPAM 統計、ブロックデータ統計、パブリックフォルダ、受信者フィルタ統計、IMAP4、POP3 接続などの主要および詳細領域を監視する場合、[詳細 Microsoft Exchange Server 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- Microsoft Exchange Server、Microsoft Active Directory、および基盤インフラストラクチャで構成される Microsoft Exchange デプロイメント全体を監視する場合、[Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート](#)をデプロイします。


Microsoft Exchange Server 管理テンプレートをデプロイするには、次の手順を実行します。



1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]


2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。


[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Exchange Server] > [管理テンプレート]

3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、デプロイする管理テンプレートをクリックし、 をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成アイテム]** タブで管理テンプレートを割り当てる Exchange Organization CI をクリックし、**[次へ]** をクリックします。アイテムを複数選択するには、**[CTRL]** キーや **[SHIFT]** キーを押しながらアイテムを選択してください。
5. **[次へ]** をクリックして [必要なパラメータ] に進みます。
6. **[必要なパラメータ]** タブで次の手順を実行します。

- a. リストの【ユーザ名】パラメータを選択して、 をクリックします。[パラメータの編集: ユーザ名] ダイアログボックスが開きます。
- b. 【値】をクリックしてユーザ名を指定し、【OK】をクリックします。
- c. 【パスワード】を選択して、 をクリックします。[パラメータの編集: パスワード] ダイアログボックスが開きます。
- d. ユーザ名に対するパスワードを入力して、【OK】をクリックします。

注: ユーザ名は、Domain name\Username 形式で指定する必要があります。ユーザ資格情報の詳細は、『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」を参照してください。

7. すべてのCIを確認し、【すべてのパラメータ】をクリックします。
8. 【すべてのパラメータ】タブで、パラメータのデフォルト値を変更するには、パラメータを選択してから  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。【値】をクリックして値を指定し、【OK】をクリックします。

注: 【すべてのパラメータ】タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 【エキスパートパラメータの非表示/非表示解除】をクリックします。

9. 【すべてのパラメータ】タブで【次へ】をクリックします。
10. (オプション) 【構成オプション】タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は【割り当てオブジェクトの有効化】チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
11. 【完了】をクリックします。

(オプション) Microsoft Exchange エッジ サーバの場合にのみ、次の手順を実行します

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

【管理】 > 【オペレーション管理】 > 【モニタリング】 > 【割り当ておよび調整】

2. 【ビューの参照】タブで Exchange_Org_View を選択します。
3. ビューを展開し、Microsoft Exchange エッジ サーバをホストするノードを選択します。

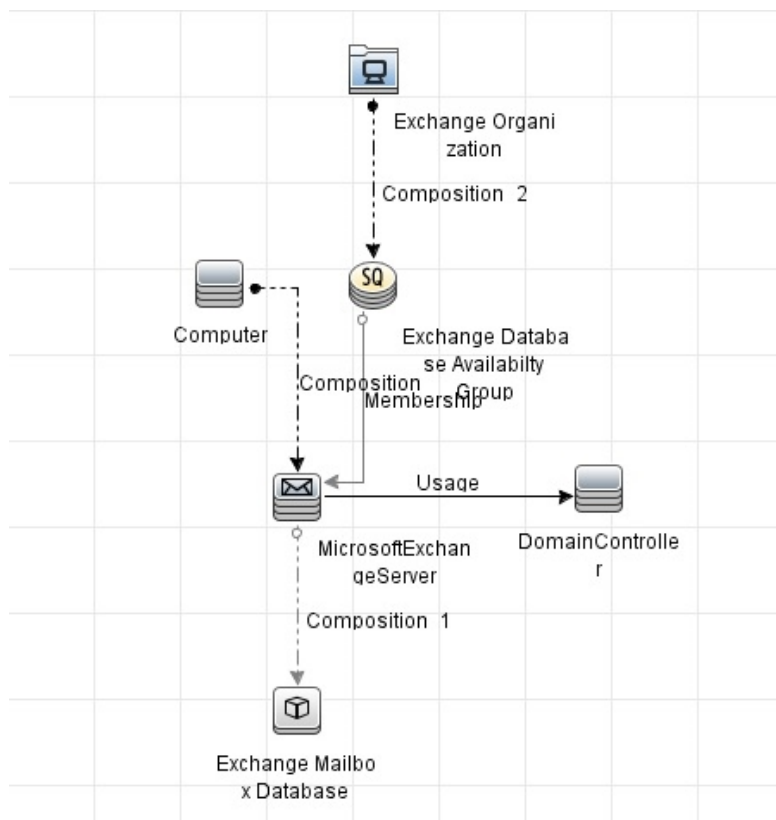
4. [割り当て] ペインで、**[Exchange 検出および構成]** アスペクトを選択します。これで [割り当ての詳細] ペインにパラメータと値が表示されます。
5. 『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」の項で説明するように、ユーザ名とパスワードを編集してユーザ資格情報を入力します。

これらの新しいユーザ資格情報は、Microsoft Exchange エッジ サーバの管理テンプレートで使用されます。

タスク 6b: Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイ

Microsoft Exchange Server アスペクトをデプロイする前に、Exchange 検出および構成アスペクトをデプロイして、次の CIT の追加 CIを検出する必要があります。

- Exchange Mailbox Databases
- Domain Controllers
- Exchange Database Availability Group



注: Exchange 検出および構成アスペクトでは、入力としてユーザ資格情報が必要になります。ユーザ資格情報の詳細は、『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」を参照してください。


Microsoft Exchange Server アスペクトをデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。


[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Exchange Server] > [アスペクト]

3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、[アスペクト] フォルダをクリックしてアスペクトを選択し、 をクリックして [割り当てとデプロイ] ウィザードを開きます。
4. **[構成アイテム]** タブで、アスペクトをデプロイする **構成アイテム** をクリックします。

注: アスペクトをノード CI にデプロイする場合、**[タイプノードの CI も表示する]** を選択します。

5. **[次へ]** をクリックして **[すべてのパラメータ]** に進みます。パラメータのデフォルト値を変更するには、パラメータを選択して  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。**[値]** をクリックして値を指定し、**[OK]** をクリックします。
6. **[すべてのパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

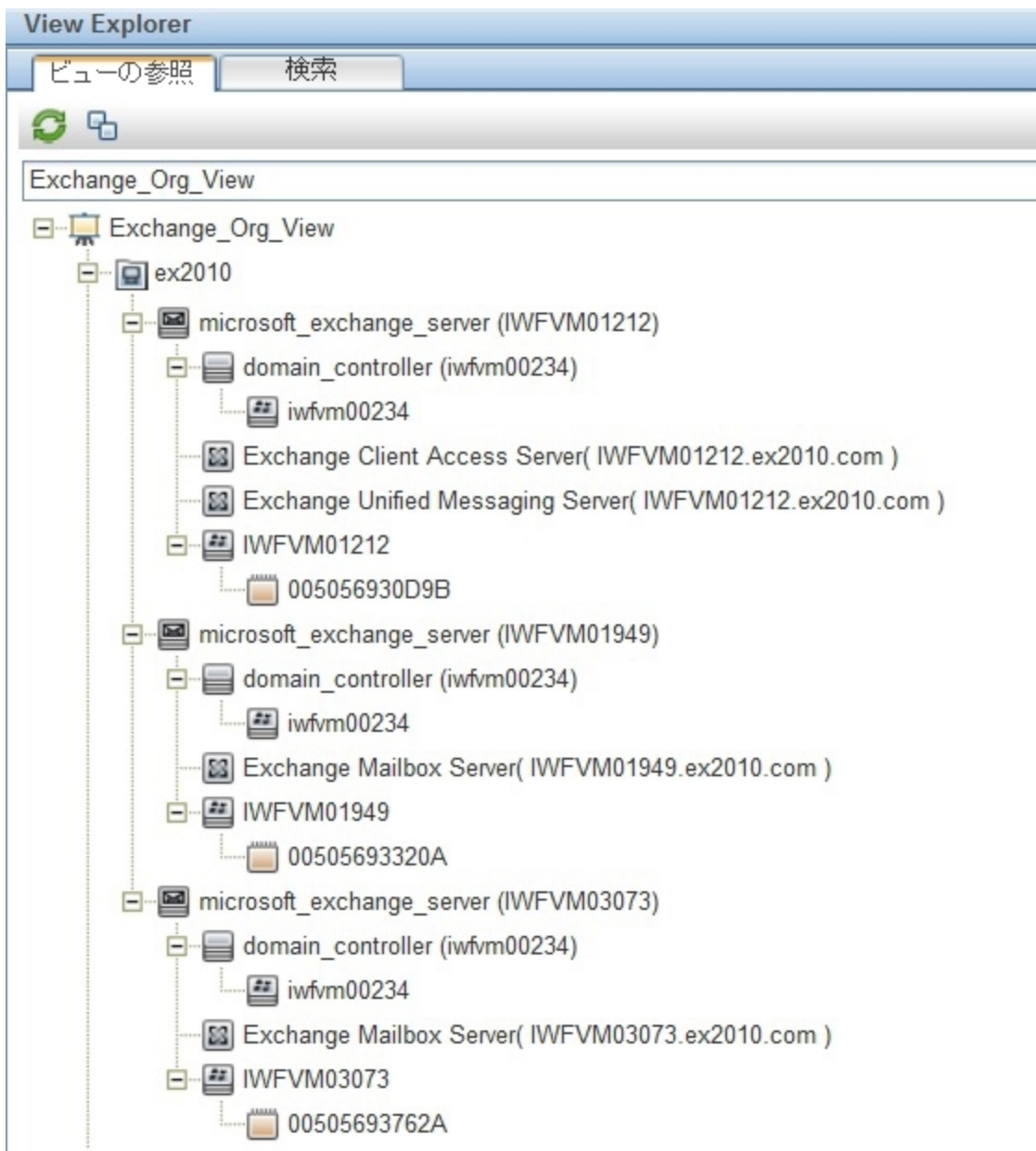
選択したアスペクトが選択した CI にデプロイされます。

タスク 7: 拡張トポロジの検出の確認

Exchange Server 管理テンプレートまたは Exchange 検出および構成アスペクトをデプロイした後、[View Explorer] に CI が表示されていることを確認できます。

[View Explorer] で CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. BSM コンソールで **[アプリケーション]** > **[オペレーション管理]** > **[Event Perspective]** を選択します。
2. [View Explorer] で、ドロップダウン リストから **Exchange_Org_View** を選択します。次の図に示すように、**Exchange_Org_View** に関連付けられている CI から構成される拡張トポロジを確認できます。



Microsoft Exchange Server 環境の監視

Exchange Server 検出アスペクトと Exchange Server 管理テンプレートをデプロイした後、次のパースペクティブからイベント関連情報を表示できます。

- イベント パースペクティブ
- 状況 パースペクティブ
- パフォーマンス パースペクティブ

イベント パースペクティブ

イベント パースペクティブには、完全なイベント情報が表示されます。イベント パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Exchange Server によって監視されている Microsoft Exchange Server CI およびノード CI のイベント情報を確認できます。

Microsoft Exchange Server CI のイベント パースペクティブを表示するには、以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで、**[Event Perspective]** タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. **[ビューの参照]** タブで、Exchange Server Organization とユーザ固有の役割を含む **Exchange_Org_View** を選択します。**[検索]** タブを使用して、Microsoft Exchange Server CI を見つけることもできます。
4. イベント パースペクティブを表示する、Microsoft Exchange Server CI または対応する Exchange Server Role CI をクリックします。選択した Microsoft Exchange Server CI のイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。
5. [Event Browser] のイベントをクリックすると、[イベント詳細] ペインが開き、次の詳細が表示されます。
 - **一般:** 重要度、ライフサイクル状態、優先度、関連 CI など、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。
 - **追加情報:** 選択したイベントの属性に関するその他の詳細情報が表示されます。
 - **ソース情報:** 選択したイベントのソースに関する概要情報が表示されます。

- **アクション:** 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。使用できるアクションには、ユーザアクションと自動アクションの2タイプがあります。
- **注釈:** 選択したイベントに添付された注釈のリストが表示されます。
- **カスタム属性:** 管理者または担当ユーザが手動で設定し、選択したイベントに追加した属性のリストが表示されます。
- **関連イベント:** [Event Browser] で選択したイベントに関連するすべてのイベントの概要が表示されます。
- **履歴:** 選択したイベントの履歴が表示されます。
- **解決ヒント:** イベントに関連するノードおよびCIの識別に役立つ情報が表示されます。
- **命令:** オペレータが関連するイベントを処理するのに役立つ命令情報が表示されます。
- **転送:** イベントの所有権の転送に関する詳細が表示されます (存在する場合)。

状況パースペクティブ

状況パースペクティブは、イベントのコンテキストで、関連 CI の全体的な状況情報を概要で表示します。状況パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Exchange Server によって監視されている Microsoft Exchange Server CI の状況情報を表示できます。

Microsoft Exchange Server CI の状況パースペクティブを表示するには、以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで、**[Health Perspective]** タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. **[ビューの参照]** タブで、Exchange Server Organization とユーザ固有の役割を含む **Exchange_Org_View** を選択します。**[検索]** タブを使用して、Microsoft Exchange Server CI を見つけることもできます。
4. イベント パースペクティブを表示する、Microsoft Exchange Server CI または対応する Exchange Server Role CI をクリックします。選択した Exchange Server CI のイベントのリストが [Event Browser] ペインに表示されます。

- Health Top View: 選択したイベントの影響を受ける CI のトポロジ ビューが表示されます。
- Health Indicators: [Health Top View] ペインで選択した CI に関連する主要業績評価指標 (KPI) および HI が表示されます。
- Actions: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。


パフォーマンス パースペクティブ

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフ テンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

グラフを使用して Microsoft Exchange Server CI のパフォーマンス パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで、**[Performance Perspective]** タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. **[ビューの参照]** タブで、Exchange Server Organization とユーザ固有の役割を含む **Exchange_Org_View** を選択します。**[検索]** タブを使用して、Microsoft Server Role CI を見つけることもできます。
4. **[グラフ]** タブから作成するグラフをクリックし、 **[グラフの作成]** をクリックします。右 ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

第3章: コンポーネント

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、使用環境内の Microsoft Exchange Server の監視を目的とした以下のコンポーネントが含まれます。

- Microsoft Exchange Server 管理テンプレート
- Microsoft Exchange Server アスペクト
- パラメータ
- 構成アイテム (CI) とCI タイプ (CIT)
- ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー
- エンリッチメント ルール
- 状況インジケータ (HI) とイベント タイプ インジケータ (ETI)
- トポロジ ベースのイベント相関処理 (TBEC) ルール
- グラフテンプレート
- Operations Orchestration (OO) フロー
- ツール

Microsoft Exchange Server 管理テンプレート

Exchange Server 管理テンプレートは、データセンター環境内にある個々のシステム、仮想の状況とパフォーマンスを監視する完全な管理ソリューションです。OMi MP for Microsoft Exchange Server には、デフォルトで管理テンプレートが複数付属しており、テンプレートでは環境内の Microsoft Exchange Server を監視するための設定が事前定義されています。この Microsoft Exchange Server 管理テンプレートをデフォルトパラメータを設定した状態で配布すれば、環境内のシステムをシームレスに監視できます。これらの管理テンプレートには、システムの監視に使用するアスペクトが複数含まれています。

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートは、監視の要件に基づいてカスタマイズでき、監視要件に合わせた新規作成も可能です。

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの概要

OMi MP for Microsoft Exchange Server は、以下の Microsoft Exchange Server 管理テンプレートで構成されます。

- [基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート](#)
- [詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレート](#)
- [Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート](#)

管理テンプレートにアクセスする方法

1. **【管理】** > **【オペレーション管理】** > **【モニタリング】** を選択します。
2. **【構成フォルダ】** > **【Microsoft アプリケーション構成の管理】** > **【Microsoft Exchange Server】** > **【管理テンプレート】** をクリックします。

タスク

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートを CI にデプロイする方法

Microsoft Exchange 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 6a: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの特 定とデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートまたは Microsoft Exchange Server アスペクトを自動的に CI に割り当てる方法

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートまたは Microsoft Exchange Server アスペクトを自動的に割り当てるには、次の手順を実行します。

1. **【自動割り当てルール】** を開きます。

【管理】 > **【オペレーション管理】** > **【モニタリング】** > **【自動割り当てルール】**

自動割り当てルールには、上部に**【自動割り当てルール】** ペイン、下部に**【パラメータ】** ペインがあります。


2. **【自動割り当てルール】** ペインで ***** をクリックし、適切なオプションを選択します。**【自動割り当てルールの作成】** ウィザードが開きます。
3. **【ターゲット ビューを選択】** タブで、自動割り当てルールを作成するビューを選択し、**【次へ】** をクリックします。
4. **【割り当てる項目の選択】** タブで、すべての CI に自動割り当てする管理テンプレートまたはアスペクト

をクリックし、**【次へ】**をクリックします。

デフォルトでは、管理テンプレートまたはアスペクトの最新バージョンが選択されます。

5. **【必要なパラメータ】** タブで、ユーザ名とパスワードの詳細を入力し、**【OK】**をクリックします。資格情報の詳細は、を参照してください。

注: 編集する必要があるパラメータはありません。

6. (オプション) **【すべてのパラメータ】** タブでは、次の手順でパラメータのデフォルト値を変更できます。
 - a. 編集するパラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  **【編集】** をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. 値を変更して、**【OK】** をクリックします。
7. **【次へ】** をクリックします。
8. (オプション) **【構成オプション】** タブでは、割り当てルールをすぐにアクティブにしない場合は **【自動割り当てルールのアクティブ化】** チェックボックスをオフにします。後になって自動割り当てルールを有効にする場合は、**【管理】** > **【オペレーション管理】** > **【モニタリング】** > **【自動割り当てルール】** を選択し、[自動割り当てルール] ウィンドウを開いてください。
9. **【完了】** をクリックして変更を保存します。割り当てルールが、自動割り当てルールのリストに追加されます。

次のいずれかの条件を満たすと、BSM に送信するイベントがトリガされます。

- デプロイメント ジョブが失敗する。
- 自動割り当てが失敗する。
- 自動割り当てが成功する。この動作は、[インフラストラクチャ設定] で指定できます。

自動割り当てルールによって割り当てが問題なく作成されたかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

【管理】 > **【オペレーション管理】** > **【モニタリング】** > **【割り当ておよび調整】**

2. **【ビューの参照】** タブで、自動割り当てルールの作成に使用したビューを選択します。
3. ビューを展開し、割り当て項目のルート CI タイプを示すノードを選択します。右のペインの上に割り当てが一覧表示されます。自動割り当てルールによって作成された割り当てには、[割り当て実行者] 列に [AutoAssignment] の値が表示されます。

割り当ては、次のオプションで調整できます。

- [自動割り当てルール] ペインでは、自動割り当てルールがトリガするすべての割り当てのパラメータ値を調整できます。
- [割り当ておよび調整] ペインでは、各割り当ての再デプロイ、削除、有効化または無効化を実行できます。

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートは、環境内の Exchange Server の基本機能を監視するために使用します。基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、Microsoft Exchange Server セットアップの可用性とパフォーマンスを監視する基本機能がほとんど含まれています。

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートへのアクセス方法

1. **[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** を選択します。
2. **[構成フォルダ]** > **[Microsoft Exchange Server]** > **[管理テンプレート]** > **[基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート]** をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

名前	基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート
説明	Microsoft Exchange Server の最も基本的な機能を監視します。
作成者	管理テンプレートを作成したユーザの役割。
ID	管理テンプレートのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) バージョンを一意に特定する ID。
バージョン ID	このバージョンの基本 Microsoft Exchange Server 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンの管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

トポロジ ビュー	Exchange_Org_View は、基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートのトポロジ ビューです。管理テンプレートを使用して管理を行う Exchange Server 関連 CIT が含まれます。
CI タイプ	基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、 Exchange Organization CIT が含まれます。

管理テンプレート - アスペクト

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、以下のアスペクトが含まれます。

- [Exchange Active Sync](#)
- [Exchange 可用性](#)
- [Exchange 検出 および構成](#)
- [Exchange Information Store](#)
- [Exchange メールフロー](#)
- [Exchange MAPI](#)
- [Exchange OWA](#)
- [Exchange レプリケーション](#)
- [Exchange RPC パフォーマンス](#)
- [Exchange サービス可用性](#)
- [Exchange トランスポート キュー](#)

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、以下のインフラストラクチャ アスペクトが含まれます。

システム フォールト 分析

システム フォールト 分析 アスペクトは、クリティカルなエラー条件とその説明が記録されたイベント ログ ファイルを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_DNSWarnError	Microsoft DNS サーバサービスと関連プロセスのログ ファイルを監	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		<p>視し、重大度が注意域またはエラーのログ エントリを転送します。このポリシーは、DNS ログファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none">• DNS サーバは、リソースレコード用にメモリを割り当てるできませんでした。• DNS サーバは、利用可能なメモリが不足していたためクライアント要求を処理できませんでした。• DNS サーバは、ゾーン転送スレッドを作成できませんでした。• DNS サーバにファイル書き込みエラーが発生しました。• DNS サーバは、リモート プロシージャコール (RPC) サービスを初期化できませんでした。	

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_ DHCPCWarnError	<p>DHCP イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • lashlpr が NPS サービスと通信できません。 • スcopeまたはスーパースcopeの BOOTP クライアントに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サーバは NPS サーバにアクセスできないので、クライアントの NAP アクセス状態を特定できません。 • スcopeまたはスーパースcopeのリースに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サービスは監査ログの初期化に失敗しました。 • ローカルコンピュータの DHCP/BINL サービスは、開始権限がないと判断しました。 • このワークグループ サーバの DHCP/BINL サービスは、IP アドレスを持つ別のサーバを検出しました。 	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		<ul style="list-style-type: none">• DHCP サービスは DHCP のレジストリ構成の復元に失敗しました。• DHCP サービスはレジストリからグローバル BOOTP ファイル名を読み取ることができませんでした。• アクティブなインターフェイスがないため、DHCP サービスはクライアントにサービスを提供していません。• DHCP サーバにバインドされた静的 IP アドレスがありません。• DHCP サーバサービスはサービスコントローラへの登録に失敗しました。• DHCP サーバサービスはレジストリパラメータの初期化に失敗しました。	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_ NFSWarnError	<p>NFS イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none">• ディスクの空き領域が少ないことを検出し、NFS サーバは監査の記録を停止しました。• 監査ログが最大ファイルサイズに達しました。• NFS 用サーバを RPC ポート マッパに登録できませんでした。• NFS 用サーバはフェーズ 2 の初期化中に NFS ドライバからエラーを受信しました。	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_TerminalServiceWarnError	<p>ターミナル サービスのイベント ログで、重大度が注意域またはエラーのエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none">ターミナル サーバは現在接続を受け入れないように構成されているため、接続要求が拒否されました。認証が失敗したため自動接続は失敗し、ユーザはセッションに再接続できませんでした。ターミナル サービスの開始に失敗しました。ターミナル サーバは多数の不完全な接続を受信しました。	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_ WindowsLogonWarnError	<p>Windows ログオンと初期化 のイベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのエラー ログ エントリを転送します。このポリシーは、Windows ログファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows のライセンスが無効です。 Windows のライセンス認証の 手続きが失敗しました。 Windows のログオン プロセス によって、デスクトップを切り 替えることができませんでした。 Windows のログオン プロセス は予 期せぬ原因により終了 しました。 Windows のログオン プロセス によって、ユーザアプリケー ションを起動 できませんでした。 Windows のログオン プロセス によって、現在 ログオンして いるユーザのプロセスを終了 できませんでした。 Windows のログオン プロセス によって、ユーザセッションを 切断 できませんでした。 	Windows イベント ログテンプレート

リソース ボトルネック診断

リソース ボトルネック診断アスペクトは、CPU、メモリ、ネットワークおよびディスクなどのシステム リソースの混雑 やボトルネックとなっている状態を特定します。CPU のボトルネック監視は、グローバル CPU 使用率と負荷平均 (実行キューの長さ) に基づいて行われます。メモリ ボトルネックの監視は、メモリ使用率、使用可能な空き容量、メモリスワップアウト率に基づいて行われます。ファイルシステムの監視は、ノード上の最もビジーなファイルシステムの領域使用率に基づいて行われます。ネットワークの監視は、パケット衝突

率、パケット エラー率、送信 キューの長さに基づいて行われます。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPUBottleneckDiagnosis	CPU 使用率のしきい値超過、プロセッサのキューの長さ、オペレーティングシステムで稼働する CPU の合計数などの CPU ボトルネックを検出します。たとえば、キューで CPU 時間を待っているプロセス数がしきい値を超え、CPU 使用率もしきい値を超えた場合、ポリシーはアラートを送信します。メッセージには、CPU 使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。	測定値しきい値テンプレート
	Sys_DiskPeakUtilMonitor	システムのディスク使用率レベルを監視します。使用率レベルが最大かどうかをチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
	Sys_ MemoryBottleneckDiagnosis	物理メモリの使用率とボトルネックを監視します。メモリ使用率が高く、使用可能なメモリ容量が非常に少なくなると、メモリボトルネックの状態になります。メモリボトルネックが発生すると、システムの処理速度が低下し、全体的なパフォーマンスに影響を与えます。メモリ消費量が高いとページアウトが過剰に発生し、ページ走査率やスワップアウト バイト率、ページの要求率が高くなります。最終的には、システムの処理速度が低下します。メッセージには、メモリ使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ NetworkInterfaceErrorDiagnosis	システムのネットワーク使用率を監視し、潜在的なネットワークのボトルネックまたはエラーをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出アスペクトは、管理ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_ INCLUDE_INSTR_ DIR	Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されません。Infrastructure SPI のポリシーを使用する場合は、この値を TRUE に設定しま	ノード情報テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		す。	
	Sys_ SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理ノードから収集します。	サービス自動検出テンプレート

詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレート

詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、Microsoft Exchange Server のアスペクトと、Microsoft Exchange Server の可用性、パフォーマンス、状況を監視するインフラストラクチャアスペクトのセットが含まれています。詳細 Microsoft Exchange Server 管理テンプレートは、Microsoft Exchange Server の詳細機能を監視するのに使用します。Exchange Server のデプロイメントの詳細な監視を行います。

詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートへのアクセス方法

1. **【管理】 > 【オペレーション管理】 > 【モニタリング】** を選択します。
2. **【構成フォルダ】 > 【Microsoft Exchange Server】 > 【管理テンプレート】 > 【詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレート】** をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

名前	詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレート。
説明	Microsoft Exchange Server の最も基本的な機能を監視します。
ID	管理テンプレートのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) バージョンを一意に特定する ID。
作成者	管理テンプレートを作成したユーザの役割。
バージョン ID	このバージョンの詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンの管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

トポロジ ビュー	Exchange_Org_View は、詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートのトポロジ ビューです。管理テンプレートを使用して管理を行う Microsoft Exchange Server 関連 CIT が含まれます。
CI タイプ	管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、 Exchange Organization CIT が含まれます。

管理テンプレート - アスペクト

詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、以下のアスペクトが含まれます。

- [Exchange Active Sync](#)
- [Exchange Active Sync パフォーマンス](#)
- [Exchange 可用性](#)
- [Exchange ブロック データ](#)
- [Exchange データベースの整合性](#)
- [Exchange 検出 および構成](#)
- [Exchange IMAP4](#)
- [Exchange Information Store](#)
- [Exchange メールフロー](#)
- [Exchange メールボックス](#)
- [Exchange メールボックス データベース](#)
- [Exchange MAPI](#)
- [Exchange オンライン住所録](#)
- [Exchange OWA](#)
- [Exchange POP3](#)
- [Exchange パブリック フォルダ](#)
- [Exchange 受信者フィルタ](#)
- [Exchange レプリケーション](#)

- [Exchange RPC パフォーマンス](#)
- [Exchange 送信者 ID フィルタ](#)
- [Exchange サービス可用性](#)
- [Exchange SMTP](#)
- [Exchange SPAM 統計](#)
- [Exchange トランスポート フィルタ](#)
- [Exchange トランスポート キュー](#)
- [Exchange トランスポート](#)
- [Exchange ユニファイド メッセージング](#)

詳細 Microsoft Exchange 管理テンプレートには、以下のインフラストラクチャ アスペクトが含まれます。

CPU パフォーマンス

CPU パフォーマンス アスペクトは、CPU 使用率や CPU 使用率のスパイクなど、全体的な CPU パフォーマンスを監視します。CPU パフォーマンスの監視には、合計 CPU 使用率、ユーザモードでの CPU 使用率、システムモードでの CPU 使用率、割り込み率が使用されます。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPU SpikeCheck	プロセッサ パフォーマンスのばらつきを監視します。CPU スパイクとは、CPU 使用率が急増した直後に低減する現象です。このポリシーテンプレートは、ユーザモードとシステムモードで消費した CPU 時間を監視します。また、CPU がビジー状態の CPU 時間の合計も監視します。	測定値しきい値テンプレート
	Sys_GlobalCPUUtilization-AT	管理ノード上の CPU のパフォーマンスを監視し、すべての CPU の使用率がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
	Sys_PerCPUUtilization-AT	管理対象ノード上の各 CPU の使用率を監視します。すべての間隔で各 CPU インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_RunQueueLengthMonitor-AT	CPU の実行キューで待機するプロセスの数を監視し、実行キュー内のプロセス数がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	

帯域幅使用量とネットワーク IOPS

帯域幅使用量とネットワーク IOPS アスペクトは、ネットワーク内のシステムの I/O 操作とパフォーマンスを監視します。使用中の帯域幅、送信キューの長さ、平均転送バイト数/秒に基づいて、ネットワークの I/O オペレーションおよびパフォーマンスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_NetworkUsageAndPerformance	システムのネットワーク使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、ネットワークに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。また vMA マシンだけの物理 NIC を監視します。Windows オペレーティングシステムについては、BYNETIF_COLLISION メトリックを使用できないので、パケット競合に関するパフォーマンスデータは監視しません。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
	Sys_PerNetifOutbyteBaseline-AT	所定の間隔でのネットワーク インターフェイスの送信 バイト率を監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで送信 バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_PerNetifInbyteBaseline-AT	所定の間隔における個別のネットワーク インターフェイスの着信 バイト レートを監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで受信 バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。	

メモリとスワップの使用量

メモリとスワップの使用量 アスペクトは、システムのメモリ パフォーマンスを監視します。メモリ パフォーマンスの監視は、メモリ 使用率 (割合)、スワップ領域 使用率 (割合)、使用可能な空きメモリ (MB)、使用可能な空きスワップ領域 (MB) に基づき行われます。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsNonPagedPoolUtilization-AT	非ページ プールのメモリを監視します。非ページ プールは、使用中でない場合でもディスクに書き込むことができないオブジェクトに対する物理システム メモリの領域です。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
	Sys_ MSWindowsPagedPoolUtilization-AT	ページ プールのメモリを監視します。ページ プールは、使用中でない場合にディスクに書き込むことができるオブジェクトに対する物理システムメモリの領域です。	
	Sys_MemoryUsageAndPerformance	システムのメモリ使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、メモリに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。	
	Sys_MemoryUtilization-AT	グローバルメモリ使用率を監視します。メモリ使用率は、一定間隔における使用中の物理メモリの割合です。これには、カーネル、バッファ キャッシュ、ユーザメモリによって占有されるシステムメモリが含まれます。	
	Sys_SwapCapacityMonitor	システム上のスワップ領域の使用率を監視します。	
	Sys_SwapUtilization-AT	管理対象ノードでシステムによって使用されるグローバルスワップ領域を監視します。	

空き領域とディスク IOPS

空き領域とディスク IOPS アスペクトは、システムのディスク I/O 操作と領域使用率を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ FileSystemUtilizationMonitor	ノード上のファイルシステムの 使用率を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ PerDiskAvgServiceTime-AT	ディスク I/O サービス時間を監視 します。ディスク平均 サービス 時間は、所定の時間内に 各ディスク要求の処理にディ スクが費やした時間です。この ポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要で す。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_PerDiskUtilization-AT	ディスクのマルチ インスタンスの ベースラインを決定します。 ディスク使用率は、システム要 求の処理のためにディスクがビ ジー状態になった時間の割 合 (%) です。	測定値しきい値 テンプレート

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出アスペクトは、管理ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_ INCLUDE_INSTR_ DIR	Operations Agent の xpl config ネームス ペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_ DIR の設定に使用されま す。Infrastructure SPI のポリシーを使用 する場合は、この値を TRUE に設定しま す。	ノード情報テンプレ ート
	Sys_ SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシ ステムの属性、アプリケーションなどのサー ビス情報を管理ノードから収集します。	サービス自動検 出テンプレート

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートは、Exchange Server コンポーネントと、インフラストラクチャおよび Active Directory の基本コンポーネントを監視します。Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートは、Exchange Server CI およびそれらの CI に関連付けられているドメインコントローラを検出します。Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートは、Exchange Server アスペクトを Microsoft Exchange Server に、Active Directory アスペクトをドメインコントローラにデプロイします。

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートへのアクセス方法

1. **【管理】** > **【オペレーション管理】** > **【モニタリング】** を選択します。
2. **【構成フォルダ】** > **【Microsoft Exchange Server】** > **【管理テンプレート】** > **【Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート】** をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

名前	Microsoft Exchange Solution 管理テンプレート
説明	Exchange Server コンポーネントと、インフラストラクチャおよび Active Directory の基本コンポーネントを監視します。
作成者	管理テンプレートを作成したユーザの役割。
ID	管理テンプレートのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) バージョンを一意に特定する ID。
バージョン ID	このバージョンの基本 Microsoft Exchange Server 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンの管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

トポロジ ビュー	Exchange_Org_View は、Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートのトポロジ ビューです。管理テンプレートを使用して管理を行う Microsoft Exchange Server 関連 CIT が含まれます。
CI タイプ	基本 Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートには、 Exchange Organization CIT が含まれます。

管理テンプレート - アスペクト

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートには、以下のアスペクトが含まれます。

- [Exchange Active Sync](#)
- [Exchange 可用性](#)
- [Exchange 検出および構成](#)
- [Exchange サービス可用性](#)
- [Exchange MAPI](#)
- [Exchange OWA](#)
- [Exchange レプリケーション](#)
- [Exchange RPC パフォーマンス](#)
- [Exchange トランスポート キュー](#)

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートには、以下のインフラストラクチャアスペクトが含まれます。

システムフォールト分析

システムフォールト分析アスペクトは、クリティカルなエラー条件とその説明が記録されたイベント ログファイルを監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_DNSWarnError	<p>Microsoft DNS サーバサービスと関連プロセスのログファイルを監視し、重大度が注意域またはエラーのログエントリを転送します。このポリシーは、DNS ログファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none">• DNS サーバは、リソースレコード用にメモリを割り当てるできませんでした。• DNS サーバは、利用可能なメモリが不足していたためクライアント要求を処理できませんでした。	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		<ul style="list-style-type: none">• DNS サーバは、ゾーン転送スレッドを作成できませんでした。• DNS サーバにファイル書き込みエラーが発生しました。• DNS サーバは、リモート プロシージャコール (RPC) サービスを初期化できませんでした。	

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_DHCPWarnError	<p>DHCP イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • lashlpr が NPS サービスと通信できません。 • スcopeまたはスーパースcopeの BOOTP クライアントに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サーバは NPS サーバにアクセスできないので、クライアントの NAP アクセス状態を特定できません。 • スcopeまたはスーパースcopeのリースに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サービスは監査ログの初期化に失敗しました。 • ローカルコンピュータの DHCP/BINL サービスは、開始権限がないと判断しました。 • このワークグループ サーバの DHCP/BINL サービスは、IP アドレスを持つ別のサーバを検出しました。 	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		<ul style="list-style-type: none"> • DHCP サービスは DHCP のレジストリ構成の復元に失敗しました。 • DHCP サービスはレジストリからグローバル BOOTP ファイル名を読み取ることができませんでした。 • アクティブなインターフェイスがないため、DHCP サービスはクライアントにサービスを提供していません。 • DHCP サーバにバインドされた静的 IP アドレスがありません。 • DHCP サーバサービスはサービスコントローラへの登録に失敗しました。 • DHCP サーバサービスはレジストリパラメータの初期化に失敗しました。 	Windows イベントログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_ NFSWarnError	<p>NFS イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスクの空き領域が少ないことを検出し、NFS サーバは監査の記録を停止しました。 • 監査ログが最大ファイルサイズに達しました。 • NFS 用サーバを RPC ポート マッパーに登録できませんでした。 • NFS 用サーバはフェーズ 2 の初期化中に NFS ドライバからエラーを受信しました。 	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_TerminalServiceWarnError	<p>ターミナル サービスのイベント ログで、重大度が注意域またはエラーのエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターミナル サーバは現在接続を受け入れないように構成されているため、接続要求が拒否されました。 認証が失敗したため自動接続は失敗し、ユーザはセッションに再接続できませんでした。 ターミナル サービスの開始に失敗しました。 ターミナル サーバは多数の不完全な接続を受信しました。 	Windows イベント ログ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_MSWindowsServer_ WindowsLogonWarnError	<p>Windows ログオンと初期化 のイ ベント ログを監視し、重大度が 注意域またはエラーのエラー ロ グ エントリを転送します。このポ リシーは、Windows ログファイル に記録された以下のエラーを検 索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows のライセンスが無効 です。 • Windows のライセンス認証の 手続きが失敗しました。 • Windows のログオン プロセス によって、デスクトップを切り 替えることができませんでし た。 • Windows のログオン プロセス は予 期 せぬ原因により終了 しました。 • Windows のログオン プロセス によって、ユーザアプリケー ションを起動できませんでし た。 • Windows のログオン プロセス によって、現在 ログオンして いるユーザのプロセスを終了 できませんでした。 • Windows のログオン プロセス によって、ユーザセッションを 切断 できませんでした。 	Windows イベント ログ テンプレート

リソース ボトルネック診断

リソース ボトルネック診断アスペクトは、CPU、メモリ、ネットワークおよびディスクなどのシステム リソースの混雑 やボトルネックとなっている状態を特定します。CPU のボトルネック監視は、グローバル CPU 使用率と負荷平均 (実行キューの長さ) に基づいて行われます。メモリ ボトルネックの監視は、メモリ使用率、使用可能な空き容量、メモリスワップアウト率に基づいて行われます。ファイルシステムの監視は、ノード上の最もビジーなファイルシステムの領域使用率に基づいて行われます。ネットワークの監視は、パケット衝突

率、パケット エラー率、送信 キューの長さに基づいて行われます。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPUBottleneckDiagnosis	CPU 使用率のしきい値超過、プロセッサのキューの長さ、オペレーティングシステムで稼働する CPU の合計数などの CPU ボトルネックを検出します。たとえば、キューで CPU 時間を待っているプロセス数がしきい値を超え、CPU 使用率もしきい値を超えた場合、ポリシーはアラートを送信します。メッセージには、CPU 使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。	測定値しきい値テンプレート
	Sys_DiskPeakUtilMonitor	システムのディスク使用率レベルを監視します。使用率レベルが最大かどうかをチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
	Sys_ MemoryBottleneckDiagnosis	物理メモリの使用率とボトルネックを監視します。メモリ使用率が高く、使用可能なメモリ容量が非常に少なくなると、メモリボトルネックの状態になります。メモリボトルネックが発生すると、システムの処理速度が低下し、全体的なパフォーマンスに影響を与えます。メモリ消費量が高いとページアウトが過剰に発生し、ページ走査率やスワップアウト バイト率、ページの要求率が高くなります。最終的には、システムの処理速度が低下します。メッセージには、メモリ使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ NetworkInterfaceErrorDiagnosis	システムのネットワーク使用率を監視し、潜在的なネットワークのボトルネックまたはエラーをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出アスペクトは、管理ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_ INCLUDE_INSTR_ DIR	Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。Infrastructure SPI のポリシーを使用する場合は、この値を TRUE に設定しま	ノード情報テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	ポリシーの説明	ポリシー タイプ
		す。	
	Sys_ SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理ノードから収集します。	サービス自動検出テンプレート

Microsoft Exchange Solution 管理テンプレートには、以下の Active Directory アスペクトが含まれます。

Microsoft AD コレクション スケジュール

このアスペクトには定義済みスケジュールでのコレクションのトリガに必要なスケジュールタスクポリシーが含まれます。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_MEDIUM	なし	Microsoft Active Directory (MSAD) のメトリックを 30 分ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_VERY_ HIGH	なし	MSAD のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole	MSAD_SCH_ALL_HIGH	なし	Microsoft Active Directory のメトリックを 15 分ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole	MSAD_Collection Definition	なし	Microsoft コレクタがメトリックの収集に使用する XML 形式のメトリック定義が含まれます。	ConfigFile テンプレート
DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole	MSAD_SCH_ALL_LOW	なし	MSAD のメトリックを 24 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft AD ディレクトリアクセス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory での LDAP のディレクトリスループットを監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_IQLDAPActiveThreads	LDAPActiveThreads: とても高い / LDAPActiveThreads: 正常域、LDAPActiveThreads: とても高い /	LDAP Active Threads で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP アクティブスレッドの数をチェック	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
		LDAPActiveThreads: 正常域	します。	
DomainController	MSAD_GlobalCatalogSearches	DirectorySearchRate: とても高い / DirectorySearchRate: 正常域、DirectorySearchRate: とても高い / DirectorySearchRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの検索回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_GlobalCatalogWrites	DirectoryWriteRate: とても高い / DirectoryWriteRate: 正常域、DirectoryWriteRate: 高 / DirectoryWriteRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの書き込み回数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_IQLDAPClientSessions	LDAPClientSessions: とても高い / LDAPClientSessions: 正常域、LDAPClientSessions: 高 / LDAPClientSessions: 正常域	LDAP Client Sessions で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP クライアントセッションの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_IQLDAPBindTime	なし	LDAP Bind Time で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP クライアントセッションの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_GlobalCatalogReads	DirectoryReadRate: とても高い / DirectoryReadRate: 正常域、DirectoryReadRate: 高 / DirectoryReadRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの読み取り回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DirectoryAccessSchedule	なし	基本ディレクトリアクセスアスペクトのスケジュールを保持します。	ConfigFile テンプレート

Microsoft AD DNS 応答

このアスペクトは、DNS サーバの応答時間と DNS クエリの応答時間を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_Server_Response	なし	DNS サーバの応答時間を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_DC_Response	DNSQueryResponse: とても高い / DNSQueryResponse: 正常域	ドメインコントローラによる DNS クエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD グローバルカタログ

このアスペクトは、グローバルカタログ (GC) のステータスおよびレプリケーション整合性を監視することで、グローバルカタログを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainControllerRole、DomainController	MSAD_GCMonitorStatus	GCConnectivity: ダウン / GCConnectivity	Active Directory での GC クエリス	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
		y: アップ	タスクを監視します。	
DomainControllerRole、DomainController	MSAD_SCH_GCCheckStatus	なし	Active Directory での GC クエリタスクをチェックします。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft AD 応答時間

このアスペクトは、LDAP および GC クエリの応答時間を監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ResponseTimeGCBind	GCLDAPBindResponseTime: とても高い / GCLDAPBindResponseTime: 正常域、GCLDAPBindResponseTime: 高 / GCLDAPBindResponseTime: 正常域	ドメインコントローラでのグローバルカタログのバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_ResponseLogging	なし	Active Directory 応答時間をログに記録します。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_ResponseTimeQuery	DCLDAPQueryResponseTime: とても高い / GCLDAPQueryResponseTime: 正常域、GCLDAPQueryResponseTime: 高 / GCLDAPQueryResponseTime: 正常域	ドメインコントローラに対するクエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ResponseTimeGCQuery	ResponseTime: とても高い / ResponseTime: 正常域、 ResponseTime: 高 / ResponseTime: 正常域	ドメイン コントローラのグローバルカタログに対するクエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_LDAPStatus	なし	Active Directory での LDAP クエリステータスをチェックします。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_ResponseTimeBind	DCLDAPBindResponseTime: とても高い / DCLDAPBindResponseTime: 正常域、 DCLDAPBindResponseTime: 高 / DCLDAPBindResponseTime: 正常域	ドメイン コントローラのバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_LDAPCheckStatus	LDAPConnectivity: ダウン / LDAPConnectivity: アップ	Active Directory での LDAP クエリステータスを監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD サービス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のコア サービスを監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_HMNTFRSPageFaults	NTFRSPageFaultsRate: とても高い / NTFRSPageFaultsRate: 正常域、 NTFRSPageFaultsRate: 高 /	NTFRS プロセスの 1 秒あたりのページ フォールト数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
		NTFRSPageFaultsRate: 正常域		
DomainController	MSAD_Rep_ISM_Chk	ISMSERVICESTATUS: ダウン / ISMSERVICESTATUS: アップ	サイト間レプリケーション サービスの状態を チェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSPRIVATEBYTES	NTFRSPRIVATEBYTES: とても高い / NTFRSPAGEFAULTSRATE: 正常域、 NTFRSPRIVATEBYTES: 高 / NTFRSPAGEFAULTSRATE: 正常域	NTFRS プロセスの Private Bytes カウンタを チェック します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSPROCESSORTIME	LSASSPROCESSORTIME: とても高い / LSASSPROCESSORTIME: 正常域、 LSASSPROCESSORTIME: 高 / LSASSPROCESSORTIME: 正常域	Local Security Authority Subsystem Service (LSASS) プロセスが消費 しているプロセッ サ時間の割合 を チェック します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_NTFRS_Chk	NTFRSSERVICESTATE: ダウン / NTFRSSERVICESTATE: アップ	NTFRS ログオン サービスの状態 を チェック します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_KDC_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	Kerberos Key Distribution Center サービス の状態を チェック します。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFSR_Chk	DFSRServiceState: ダウン / DFSRServiceState: アップ	DSFR サービスの状態をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSWorkingSet	NTFRSWorkingSet: とても高い / NTFRSWorkingSet: 正常域、 NTFRSWorkingSet: 高 / NTFRSWorkingSet: 正常域	NTFRS プロセスの Working Set カウンタをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSProcessorTime	NTFRSProcessorTime: とても高い / NTFRSProcessorTime: 正常域、 NTFRSProcessorTime: 高 / NTFRSProcessorTime: 正常域	NTFRS プロセスが消費しているプロセッサ時間の割合をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_NTDS_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	NTDS ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_EssentialSvcSchedule	なし	基本 サービス アスペクトのスケジュールを保持します。	ConfigFile テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_HMLSASSWorkingSet	LSASSWorkingSet: とても高い / LSASSWorkingSet: 正常域、 LSASSWorkingSet: 高 / LSASSWorkingSet: 正常域	LSASS プロセスの Working Set カウンタをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_NetLogon_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	Net ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_SAMSS_Chk	SamSsServiceState: ダウン / SamSsServiceState: アップ	Security Accounts Manager Service (SAMSS) ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSPageFaults	LSASSPageFaultsRate: とても高い / LSASSPageFaultsRate: 正常域、 LSASSPageFaultsRate: 高 / LSASSPageFaultsRate: 正常域	LSASS の 1 秒あたりのページフォールト数をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSPrivateBytes	LSASSPrivateBytes: とても高い / LSASSPageFaultsRate: 正常域、 LSASSPrivateBytes: 高 / LSASSPageFaultsRate: 正常域	LSASS プロセスの Private Bytes カウンタをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

Microsoft AD 検出

Microsoft AD 検出アスペクトは、Microsoft Active Directory サーバ配置トポロジを検出し、RTSM データ

ベースの対応する CI を読み込みます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
nt domaincontroller	MSAD_Discovery	なし	Microsoft Active Directory トポロジを検出します。	サービス自動検出テンプレート
nt domaincontroller	MSAD_CreateDataSource	なし	Microsoft Active Directory データソースを作成します。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft Exchange Server アスペクト

Microsoft Exchange Server アスペクトは、データセンター環境で稼働しているシステム リソースを監視します。監視対象のシステムには、スタンドアロンまたは仮想があります。各 Microsoft Exchange Server には、システムの状況とパフォーマンスを監視するポリシー テンプレートとインストルメンテーションが含まれています。

Exchange Server アスペクトにアクセスする方法

1. **【管理】 > 【オペレーション管理】 > 【モニタリング】** を選択します。
2. **【構成フォルダ】 > 【Microsoft アプリケーション構成の管理】 > 【Microsoft Exchange Server】 > 【アスペクト】** をクリックします。

タスク

Microsoft Exchange Server アスペクトの CI へのデプロイ方法

Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 6c: Microsoft Exchange Server アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Exchange Server アスペクトの作成方法

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。
 - a. **【管理】 > 【オペレーション管理】 > 【モニタリング】 > 【管理 テンプレート および アスペクト】** をクリックします。


- b. **【構成フォルダ】 > 【Microsoft アプリケーション構成の管理】 > 【Microsoft Exchange Server】 > 【アスペクト】**をクリックします。
2. **【管理 テンプレート およびアスペクト】** ペインで、***** をクリックしてから、**【アスペクトの作成】** を選択します。**【新規アスペクトの追加】** ダイアログ ボックスが開きます。
3. **【全般】** タブで、アスペクトの**【名前】**、**【ID】**、**【バージョン ID】**、**【説明】**を指定します。**【次へ】**をクリックします。
4. **【CI タイプ】** タブで、**【利用可能な CI タイプ】** ペインからアスペクトに関連付ける CI タイプ (CIT) を 1 つ以上選択し、**➡** をクリックして **【割り当てられた CI タイプ】** ペインに追加し、**【次へ】** をクリックします。

注: 複数のアイテムを選択するには、**CTRL** キーまたは **SHIFT** キーを使用します。

注: さまざまなタイプの利用可能な CIT の詳細は、「[構成アイテムタイプ](#)」を参照してください。

5. **【インストルメンテーション】** タブで **+** **【インストルメンテーションの追加】** をクリックし、アスペクトに追加するインストルメンテーション カテゴリを選択します。例: MSEX-Core。 **【次へ】** をクリックします。
6. **【アスペクト】** タブで **+** **【既存アスペクトの追加】** をクリックし、アスペクトをネストされたアスペクトとして追加します。**【既存アスペクトの追加】** ダイアログ ボックスが開き、アスペクトのリストが表示されます。**CTRL** キーまたは **SHIFT** キーを選択して、1 つ以上のアスペクトを選択します。**【OK】** をクリックします。**【次へ】** をクリックします。
7. **【ポリシー テンプレート】** タブで **+** **【ポリシー テンプレートの追加】** をクリックし、アスペクトに追加するポリシー テンプレートを選択します。**【ポリシー テンプレートをアスペクトに追加】** ダイアログ ボックスが開き、ポリシー テンプレートのリストが表示されます。例: MSEX_ActiveSyncErr、MSEX_ActSylatency など。**CTRL** キーまたは **SHIFT** キーを使用してポリシー テンプレートを 1 つ以上選択します。**【OK】** をクリックします。**【次へ】** をクリックします。
8. 適切なポリシー テンプレートがない場合は、次の手順を実行します。
 - a. ***** をクリックし、**【新規ポリシー テンプレートのタイプを追加】** を選択します。**【新規ポリシー テンプレートのタイプを選択】** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. **【タイプ】** ドロップダウン リストからポリシー テンプレートを選択します。**【OK】** をクリックします。
 - c. **【ポリシー 関連情報】** ウィンドウが開いたら、**名前**を指定し、**【OK】** をクリックします。ポリシー テンプレートが既存のポリシー テンプレートのリストに追加されます。
9. **【次へ】** をクリックします。
10. **【パラメータ】** タブで、テンプレートに割り当てたポリシー テンプレートにあるパラメータの一覧を参照でき

ます。

- a.  **【編集】** をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
- b. 必要に応じて詳細を変更し、**【OK】** をクリックします。

11. [新規アスペクトの追加] ウィンドウで、**【完了】** をクリックしてアスペクトを保存します。新しいアスペクトが、[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインに表示されます。

ユーザ インターフェイスの参照情報

全般	アスペクトの名前、説明、バージョン、ID、作成者、作成時間、バージョン ID を概要で示します。
CI タイプ	アスペクトの割り当てが可能な CI のタイプを表示します。Microsoft Exchange Server アスペクトには、Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server の CI タイプが含まれています。
インストールメンテーション	検出、収集、データ ログのバイナリを含むシングル パッケージを提供します。
アスペクト	Microsoft Exchange Server 内のすべてのアスペクトの概要を提供します。
ポリシー テンプレート	Microsoft Exchange Server 内のすべてのポリシー テンプレートの概要を提供します。

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、次のアスペクトが含まれています。

Exchange ブロック データ

このアスペクトは、ブロック メールとブロック受信者コレクションから構成されています。ブロック メールコレクションを使用すると、Exchange Server 名、IP アドレス、送信者のメール ID、メールがブロックされた時刻、メールがブロックされた理由、実行されたアクション、ドメイン、メッセージ ID などの詳細を監視できます。ブロック受信者コレクションを使用すると、Exchange Server 名、ブロックされた受信者の電子メール ID、電子メール ID がブロックされた理由などを監視できます。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub	MSEX_BlockedData_Conf	なし	ブロック データ関連コレクションのスケジュールを保持	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Server、Exchange Mail Server			します。	
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_BlockedData_Conf_2010	なし	ブロック データ関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange データベース循環 ログ

このアスペクトは、Exchange Server データベースの循環 ログ情報を監視および収集します。循環 ログは、Microsoft Exchange トランザクション ログプロセスでのハード ディスク領域の節約に役立ちます。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_CircularLog_Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile
	MSEX_MBCircularLogging	なし	メールボックス データベースの循環 ログ機能を監視します。	Windows イベント ログ テンプレート
	MSEX_PFCircularLogging	なし	パブリック フォルダ データベースの循環 ログ機能を監視します。	Windows イベント ログ テンプレート

Exchange オンライン住所録

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server 2010 の Exchange オンライン住所録 (OAB) のパフォーマンス メトリックを収集します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_FDSOABPerf_Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_ TotalDownloadTaskQueued	なし	Download Task Queued の合計	測定値しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_ DownloadTaskCompleted	なし	OAB Download Task Completed	測定値しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_ DownloadTaskQueued	なし	OAB Download Task Queued	測定値しきい値

Exchange 送信者 ID フィルタ

このアスペクトは、送信者情報に基づいて Exchange 2010 データを収集および記録します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server	MSEX_ SenderPerf_ Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange トランスポート フィルタ

このアスペクトは、Exchange 2010 のトランスポート フィルタ情報 (添付ファイルフィルタやコンテンツフィルタなど) を収集します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server	MSEX_ TransportFilter_ Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile

コレクション スケジュール

これは、さまざまな役割と異なる頻度で、コレクションをトリガするためのスケジュールタスクポリシーをカプセル化するベースアスペクトです。

このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプ レート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_LOW_ MB	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集 するための頻度 LOW のスケジュー ルタスクポリシーを 含みます。	スケジュールされ たタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_ DAILY_MB	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集 するための頻度 LOW のスケジュー ルタスクポリシーを 含みます。	スケジュールされ たタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_ MEDIUM_UM	なし	MSEX のメトリックを 30 分ごとに収集す るための頻度 MEDIUM のスケ ジュールタスクポリ シーを含みます。	スケジュールされ たタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_HIGH_UM	なし	MSEX のメトリックを 15 分ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_HIGH_EDGE	なし	MSEX のメトリックを 15 分ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_MEDIUM_EDGE	なし	MSEX のメトリックを 30 分ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_LOW_UM	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_LOW_HUB	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_MEDIUM_CA	なし	MSEX のメトリックを 30 分ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_MEDIUM_MB	なし	MSEX のメトリックを 30 分ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_DAILY_HUB	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_HIGH_MB	なし	MSEX のメトリックを 15 分ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_VERY_HIGH_EDGE	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_VERY_HIGH_UM	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_HIGH_HUB	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_MEDIUM_HUB	なし	MSEX のメトリックを 30 分ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_DAILY_UM	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_LOW_CA	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_HIGH_CA	なし	MSEX のメトリックを 15 分ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_VERY_HIGH_MB	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_LOW_EDGE	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_DAILY_CA	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_DAILY_EDGE	なし	MSEX のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_VERY_HIGH_CA	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SCH_VERY_HIGH_HUB	なし	MSEX のメトリックを 5 分ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュール タスク ポリシーを含みます。	スケジュールされたタスク

Exchange Active Sync

このアスペクトは、Exchange ActiveSync の機能および以下を監視します。

- ActiveSync の接続
- ActiveSync の接続ステータス

このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_ActiveSync_Conf	なし	Active Sync 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server	MSEX_ActSyResult	ActiveSyncConnectivity	Active Sync テストの結果。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_ActiveSync_Conf_2010	なし	Active Sync 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server	MSEX_ActSyLatency	ActiveSyncLatency	Active Sync テストの待機時間 (ミリ秒)。	測定値しきい値

Exchange Active Sync パフォーマンス

このアスペクトは、Exchange ActiveSync のパフォーマンスを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_CurrentRequests	なし	Current Requests は、ASP.NET から受信した HTTP 要求の数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ActiveSync_Perf_Conf	なし	Active Sync パフォーマンス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange 可用性

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server の役割の可用性ステータスを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Availability_Conf_2010	なし	可用性関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Availability_Conf	なし	可用性関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange データベースの整合性

このアスペクトは Exchange メールボックス データベースを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_ActDbStatusValue	なし	整数値はメールボックスデータベースの状態を表します。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ActDbContentIndexState	なし	アクティブデータベースのコンテンツインデックスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_PassDbContentIndexState	なし	パッシブデータベースのコンテンツインデックスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_PassDbStatusValue	なし	整数値はメールボックスデータベースの状態を表します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_DBStatus_Conf_2010	なし	データベースステータス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_DBStatus_Conf	なし	データベースステータス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange 検出および構成

このアスペクトは Exchange Server を検出し、そのサーバを監視に必要な設定で構成します。Exchange 検出および構成アスペクトは、次の点で役に立ちます。

- 組織内で利用可能な Exchange Server、および各サーバに割り当てられている役割を検出します。
- 必須パラメータとしてユーザ名とパスワードを取得します。
- Exchange のデータソースとテーブルを作成します。Windows サービスから収集されたデータ、パフォーマンスカウンタ、および PowerShell コマンドレットが記録されます。
- ノードの監視に先立って、ノード上のカスタムコマンドレットを登録します。

Exchange 検出および構成アスペクトは、メールボックスサーバ、クライアントアクセスサーバ、ハブトランスポートサーバ、エッジトランスポートサーバ、ユニファイドメッセージングサーバ、Exchange Server DAG、メールボックスデータベース、およびファイルシステムの役割を検出します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Windows NT	MSEX_CollectionDefinition_2010	なし	Exchange 2010 メトリックを収集するためのメトリック定義を保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Windows NT	MSEX_ ConfigureCredentials	なし	Exchange ログイン資格情報を取得するための構成ファイルポリシーテンプレートです。	ConfigFile
Windows NT	MSEX_Configure	なし	データソーステーブルを作成し、PowerShell コレクションを可能にするための Exchange カスタム コマンドレット DLL を構成します。	スケジュールされたタスク
Windows NT	MSEX_ CollectionDefinition_ 2013	なし	Exchange 2013 メトリックを収集するためのメトリック定義を保持します。	ConfigFile
Windows NT	MSEX_ ExtensiveDiscovery	なし	Microsoft Exchange トポロジとそのコンポーネントを検出します。	サービス自動検出

Exchange IMAP4

このアスペクトは、Exchange IMAP4 の接続 アクティビティ (接続、失敗した接続、待機時間、拒否された接続など) を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_IMAP_Conf	なし	IMAP 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server	MSEX_ ImapLatency	IMAP4Latency	IMAP4 テストの待機時間 (ミリ秒)。	測定しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_ImapResult	IMAP4Connectivity	IMAP4 テストの結果。	測定しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_IMAP_Conf_2010	なし	IMAP 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange Information Store

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server のインフォメーションストア機能を監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_StoreRpcRqFlPer	なし	RPC 要求の総数に対する失敗した要求の割合を示します。失敗とは、エラーコードによる失敗と例外による失敗の総数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_StoreRPCReq	なし	RPC Requests は、現在進行中(最後のサンプル以降)の MAPI RPC の数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_AvgDelTime	AverageMailDeliveryTime	メールの平均配信時間(ミリ秒)。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_StoreRpcLtcAvg	RemoteProcedureCall Status	RPC Latency average (msec) は、RPC 要求の平均待機時間(ミリ秒)です。平均は、exrpc32 が読み込まれてからのすべての RPC について計算されます。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_ StoreRpcRqOs	なし	RPC Requests outstanding は、未解決のRPC 要求の現在の数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ ExchmemAdditional Heaps	なし	追加のExchange メモリヒープ数に関するアラート。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ ExchmemHeapsErrors	なし	ExchmemAdditional Heaps	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ StoreRpcSlrRqPer	なし	RPC Slow requests (%) は、すべてのRPC 要求に占める低速なRPC 要求の割合です。低速なRPC 要求とは、500 ミリ秒以上かかっている要求です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ StoreRopRqOs	なし	ROP Requests outstanding は、未解決のROP 要求の総数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_StorePerf_Conf	なし	インフォメーションストアパフォーマンスコレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_ ExchmemMemoryErrors	ExchangeMemoryStatus	Exchange ストアのメモリエラー	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ ISLargestVMBlock	なし	仮想メモリの最大未使用ブロック	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_StorePerf_Conf_2010	なし	このポリシーはインフォメーションストアパフォーマンスコレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_StoreRPCAvgLat	なし	RPC プロセスの平均待機時間	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_StoreRPCOPPerSec	なし	1 秒あたりの RPS 操作の数を監視します。	測定値しきい値

Exchange MAPI

このアスペクトはメールボックス サーバ上の MAPI ベースの通信のパフォーマンスを監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MapiLatency	MapiLatency	MAPI テストの待機時間 (ミリ秒)。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MAPI_Conf	なし	MAPI 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_IMAP_Conf_2010	なし	IMAP 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_MapiResult	MapiConnectivity	MAPI テストの結果	測定値しきい値

Exchange メールフロー

このアスペクトはさまざまなメールボックス サーバの毎日の平均待機時間を監視します。待機時間は、組織内でのメールボックス間のメールの転送にかかる時間を示します。Exchange メールフロー アスペクトは次のカウンタを監視します。

- 待機時間 (秒)
- メールフロー テストの結果

このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MailFlow_Conf	なし	メールフロー関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_MailFlowResult	MailFlowStatus	メールフロー テストの結果	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_LatencySeconds	なし	メールフロー テストの待機時間 (秒)。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MailFlow_Conf_2010	なし	メールフロー関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange メールボックス

このアスペクトは、Microsoft Exchange メールボックス サーバのパフォーマンスに関連する詳細 (レプリケーション アクティビティ、MAPI 接続、インフォメーション ストア、Outlook クライアントの待機時間など) を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MailboxData_Conf_2010	なし	メールボックス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_MailboxData_Conf	なし	メールボックス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange メールボックス データベース

このアスペクトは Exchange メールボックス データベースのパフォーマンスを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MailboxDB_Conf	なし	メールボックス データベース関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_MdbPgFltStalls	なし	Database Page Fault Stalls/sec は、データベース キャッシュからの割り当てに使用できるページがないためにサービスできないページ違反の 1 秒あたりの数です。長時間このカウンタがゼロでない場合は、消去しきい値が低すぎる可能性があります。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_DatabaseLogWritesRate	なし	1 秒あたりのデータベース ログ書き込みを監視します	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ISDBCachSize	なし	データベース データベース キャッシュ サイズを監視します	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_ MdbIOWrAvgLtyAtt	なし	I/O Database Writes (Attached) Average Latency は、データベース書き込み操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbIORdsAvgLty	なし	I/O Database Reads Average Latency は、データベースの読み取り操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ MdbIOWrAvgLtyRec	なし	I/O Database Writes (Recovery) Average Latency は、データベース書き込み操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ MdbIOlgWrtAvgLty	なし	I/O Log Writes Average Latency は、ログファイルの書き込み操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ LogThreadsWaiting	なし	モニタを待っているログスレッドの数を監視します	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_ISDBCachSizeMB	なし	データベース キャッシュ サイズ (MB) を監視します	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbCchHitPer	なし	Database Cache % Hit は、ファイル操作をせずにデータベース キャッシュによって実行されたデータベースファイル ページ要求の割合です。この割合が低すぎる場合は、データベース キャッシュ サイズが小さすぎる可能性があります。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbIORdsAvgLtyRec	なし	I/O Database Reads (Recovery) Average Latency は、データベース読み取り操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MdbLgRecStalls	なし	Log Record Stalls/sec は、ログバッファに空きがないために、追加できない 1 秒あたりのログレコードの数です。長時間このカウンタがゼロでない場合は、ログバッファサイズが障害になっている可能性があります。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MailboxDB_Conf_2010	なし	メールボックスデータベース関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_MdbLgThdWait	なし	Log Threads Waiting は、データベースの更新を完了させるために、データがログに書き込まれるのを待機しているスレッドの数です。この数が高すぎる場合は、ログが障害になっている可能性があります。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_MdbCchSize	なし	Database Cache Size (MB) は、ファイル操作を避けるために、データベースファイルからの一般的な情報を保持するためにデータベースキャッシュマネージャが使用するシステムメモリの容量 (MB) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbLgBytWrt	なし	Log Bytes Write/sec は、ログに書き込まれる1秒あたりのバイト数です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbIOlgRdsAvgLty	なし	I/O Log Reads Average Latency は、ログファイル読み取り操作あたりの平均時間 (ミリ秒) です。	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_MdbIORdsAvgLtyAttcg	なし	I/O データベース読み取り (アタッチ) の平均待機時間	測定値しきい値

Exchange OWA

このアスペクトは Microsoft Exchange Server の Outlook Web Access 機能 (平均検索時間など) を監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access	MSEX_OwaResult	OWAConnectivity	Outlook Web Access テストの結果	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Server、Exchange Mail Server			果	
Exchange Client Access Server、Exchange Mail Server	MSEX_OwaLatency	OWALatency	Outlook Web Access テストの待機時間 (ミリ秒)	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Mail Server	MSEX_OWA_Conf	なし	このポリシーは OWA 関連コレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile
Exchange Client Access Server、Exchange Mail Server	MSEX_OWA_Perf_Conf	なし	このポリシーは OWA パフォーマンス関連コレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile
Exchange Client Access Server、Exchange Mail Server	MSEX_OwaAvgSearchTime	なし	Average Search Time は、検索の完了を待っている間に経過した平均時間です。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Mail Server	MSEX_OWA_Conf_2010	なし	このポリシーは OWA 関連コレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile

Exchange POP3

このアスペクトは Exchange POP3 の可用性とパフォーマンスを監視します。POP3 プロトコル経由でクライアント アクセス サーバに接続されているユーザ数を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server	MSEX_Pop3Perf_Conf_2010	なし	Pop3Perf コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server	MSEX_PopResult	POP3Connectivity	POP3 テストの結果。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_PopLatency	POP3Latency	POP3 テストの待機時間 (ミリ秒)。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server	MSEX_Pop3Perf_Conf	なし	Pop3Perf コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange パブリック フォルダ

このアスペクトは Exchange パブリック フォルダの詳細を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_PublicFolder_Conf_2010	なし	PublicFolder 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_PublicFolderPerf_Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_PublicFolder_Conf	なし	PublicFolder 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_PFAvgDeliveryTime	なし	パブリック フォルダの平均配信時間	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_PFReplicationQueue	なし	パブリック フォルダレプリケーションキューの長さ	測定値しきい値

Exchange RPC パフォーマンス

このアスペクトは Exchange 2010 内の RPC カウンタを監視します。リモート プロシージャコール (RPC) は、Outlook クライアントが Exchange Server との通信に使用します。RPC 要求の処理の遅延は、Outlook クライアントによるメール転送に影響を与える可能性があります。

このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_ RPCClients_Conf_ 2010	なし	データベース ステータス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_ RpcClientLatGt10	なし	待機時間 10 で成功した RPC の数	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ RpcClientLatGt5	なし	待機時間 5 で成功した RPC の数	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ RpcClientLatGt2	なし	待機時間 12 で成功した RPC の数	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_ RPCClients_Conf	なし	データベース ステータス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_userCount	なし	ユーザカウントを監視します。	測定値しきい値

Exchange レプリケーション

このアスペクトは、データベース可用性グループ (DAG) 内のメールボックス データベースのレプリケーションを監視します。このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_Replication_ Conf_2010	なし	レプリケーション関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server	MSEX_CopyQueueLength	MailflowLatency	コピー キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Mail Server	MSEX_Replication_Conf	なし	レプリケーション関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server	MSEX_ReplayQueueLength	なし	再生キューの長さ	測定値しきい値

Exchange SMTP

このアスペクトは Exchange SMTP 機能を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_SMTPPerf_Conf	なし	SMTP 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange SPAM 統計

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server で発生したスパム メッセージの総数、および削除、隔離、拒否されたスパム メッセージの数を監視および収集します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ContentFilter_Conf	なし	SPAM 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ContentFilter_Conf_2010	なし	SPAM 関連コレクションのスケジュールを保持します	ConfigFile

Exchange サービス可用性

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server のサービスの可用性を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_HostControllerServState	なし	Microsoft Exchange Host Controller サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_EdgeSyncServState	EdgeSyncServiceStatus	Microsoft Exchange Edge Sync サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MonServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_TransportServState	TransportServiceStatus	Microsoft Exchange Transport サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FastSearchServState	なし	Microsoft Exchange Fast Search サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_UMServState	UnifiedMessagingStatus	Microsoft Exchange Unified Messaging サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SAServState	SystemAttendantStatus	Microsoft System Attendant サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_EdgeCredServState	EdgeCredentialServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Services_Conf	なし	Exchange サービス関連コレクションのスケジュールを示します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_HealthMgrServState	なし	Microsoft Exchange Health Manager サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_StoreServState	InformationStoreService Status	Microsoft Exchange Information Store サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ReplServState	なし	Microsoft Exchange レプリケーションサービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_PopServState	POP3ServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ADAMServState	ADAMServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ImapBeServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_DiagServState	なし	Microsoft Exchange Diagnostics サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MbReplicationServState	ReplicationServiceStatus	Microsoft Exchange メールボックスレプリケーション サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FeTransportServState	なし	Microsoft Exchange Frontend Transport サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_AdTopologyServState	ADTopologyServiceStatus	AD トポロジ サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FDSServState	FileDistributionServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ServiceHostServState	ExchangeServiceHostStatus	Microsoft Exchange Service Host サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_RpcServState	なし	Microsoft Exchange RPC サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MbAssistantsServState	MailboxAssistantServiceStatus	Microsoft Exchange メールボックスアシスタント サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_WSBServState	なし	Microsoft Exchange Server Extension for Windows Server Backup サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ThrottlingServState	なし	Microsoft Exchange Throttling サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_PopBeServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_TransportLogSearchServState	なし	Microsoft Exchange Transport Log Search サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_AntiSpamUpdateServState	なし	Microsoft Exchange Antispam Update サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_DeliveryServState	なし	Microsoft Exchange Delivery サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SubmissionServState	MailSubmissionServiceStatus	Microsoft Exchange Submission サービスの状態。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Services_Conf_2010	なし	Exchange サービス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_UMCRServState	なし	Microsoft Exchange Unified Messaging Call Router サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ImapServState	IMAP4ServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

Exchange サービス可用性

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server のサービスの可用性を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_HostControllerServState	なし	Microsoft Exchange Host Controller サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_EdgeSyncServState	EdgeSyncServiceStatus	Microsoft Exchange Edge Sync サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MonServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_TransportServState	TransportServiceStatus	Microsoft Exchange Transport サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FastSearchServState	なし	Microsoft Exchange Fast Search サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_UMServState	UnifiedMessagingStatus	Microsoft Exchange Unified Messaging サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SAServState	SystemAttendantStatus	Microsoft System Attendant サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_EdgeCredServState	EdgeCredentialServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Services_Conf	なし	Exchange サービス関連コレクションのスケジュールを示します。	ConfigFile
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_HealthMgrServState	なし	Microsoft Exchange Health Manager サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_StoreServState	InformationStoreService Status	Microsoft Exchange Information Store サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ReplServState	なし	Microsoft Exchange レプリケーション サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_PopServState	POP3ServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ADAMServState	ADAMServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ImapBeServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_DiagServState	なし	Microsoft Exchange Diagnostics サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MbReplicationServState	ReplicationServiceStatus	Microsoft Exchange メールボックスレプリケーションサービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FeTransportServState	なし	Microsoft Exchange Frontend Transport サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_AdTopologyServState	ADTopologyServiceStatus	AD トポロジ サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_FDSServState	FileDistributionServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ServiceHostServState	ExchangeServiceHostStatus	Microsoft Exchange Service Host サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_RpcServState	なし	Microsoft Exchange RPC サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_MbAssistantsServState	MailboxAssistantService Status	Microsoft Exchange メールボックス アシスタント サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_WSBServState	なし	Microsoft Exchange Server Extension for Windows Server Backup サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ThrottlingServState	なし	Microsoft Exchange Throttling サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_PopBeServState	なし	サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_TransportLogSearchServState	なし	Microsoft Exchange Transport Log Search サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_AntiSpamUpdateServState	なし	Microsoft Exchange Antispam Update サービスの状態を示します。	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_DeliveryServState	なし	Microsoft Exchange Delivery サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_SubmissionServState	MailSubmissionServiceStatus	Microsoft Exchange Submission サービスの状態。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_Services_Conf_2010	なし	Exchange サービス関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_UMCRServState	なし	Microsoft Exchange Unified Messaging Call Router サービスの状態を示します。	測定値しきい値
Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ImapServState	IMAP4ServiceStatus	サービスの状態を示します。	測定値しきい値

Exchange トランスポート

このアスペクトは、次のカウンタなどの Exchange トランスポート機能を監視します。

- 遅延 DSN
- 失敗した DSN
- ログレコードのストール回数/秒
- 待機中ログスレッド数

このアスペクトは、次のポリシーテンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_DsnDelay	なし	Number of delay DSNs は、生成された配信状態通知 (DSN) の数です。	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_DsnFailedTtl	なし	Number of failed DSNs は、生成された配信状態通知 (DSN)のうち、失敗した通知の総数です。	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_TrpDbLgRecStalls	なし	Log Record Stalls/sec は、ログバッファに空きがないために、追加できない1秒あたりのログレコードの数です。長時間このカウンタがゼロでない場合は、ログバッファサイズが障害になっている可能性があります。	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_Transport_Conf_2010	なし	トランスポート関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_Transport_Conf	なし	トランスポート関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_TrpDbThdWait	DatabaseInstanceStatus	Log Threads Waiting は、データベースの更新を完了させるために、データがログに書き込まれるのを待機しているスレッドの数です。この数が高すぎる場合は、ログが障害になっている可能性があります。	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_TrpDbVerBkt	なし	割り当てられたバージョンのバケットの合計数です	測定値しきい値

Exchange トランスポート キュー

このアスペクトは、Microsoft Exchange Server のトランスポート キューを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ActNonSmtpDeliveryQLen	なし	Active Non-Smtp Delivery Queue Length の長さ	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_IntActRemDelQLen	なし	内部 アクティブ リモート 配信 キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ActMailboxDeliveryQLen	ActiveMailboxDeliveryQueue Length	Active Mailbox Delivery Queue Length の長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_RetryNonSmtDelQLen	なし	Retry Non-Smt Delivery Queue Length の長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_InAggDelQLenAll	なし	内部集計配信 キューの長さ(すべての内部 キュー)	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_PoisonQLen	PoisonQueueLength	Poison Queue Length の長さ	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ RetryMBDelQLen	なし	Retry Mailbox Delivery Queue Length の長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ExLgtDelDlen	なし	外部最大配信キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ExActRemDelQLen	RemoteDeliveryQueueLength	外部アクティブリモート配信キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_InLgtDelQLen	LargestDeliveryQueueLength	内部最大配信キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_InRtRemDelQLen	なし	内部再試行リモート配信キューの長さ	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_AggShdQLen	AggregateDeliveryQueueLength	Aggregate Shadow Queue Length	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_SubmissionQLen	SubmissionQueueLength	Submission Queue Length の長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_TransportQueue_Conf_2010	なし	トランスポートキューコレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ExAggDelQLenAll	なし	外部集計配信キューの長さ(すべての外部キュー)	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_UnReachableQLen	UnreachableQueueLength	到達不能キューの長さ	測定値しきい値

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ ExRtRemDelQLen		外部再試行 リモート配信 キューの長さ	測定値しきい値
Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	MSEX_ TransportQueue_ Conf	なし	トランスポート キュー コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange ユニファイド メッセージング

このアスペクトは、ユニファイド メッセージング PIN、ユニファイド メッセージング IP ゲートウェイ、ユニファイド メッセージング ハント グループに関連する詳細を監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ UnifiedMessaging_ Conf	なし	UM 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile
Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	MSEX_ UnifiedMessaging_ Conf_2010	なし	UM 関連コレクションのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange 週次統計

このアスペクトは、TopSender、TopRecipient、TopSource、TopDestination、Blocked メールの詳細といったさまざまな情報を、週単位で収集します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_SCH_TopDestination	なし	最上位の宛先コレクションのスケジュールを示します。	スケジュールされたタスク
Microsoft Exchange Server	MSEX_SCH_TopSender	なし	最上位の送信者コレクションのスケジュールを示します。	スケジュールされたタスク
Microsoft Exchange Server	MSEX_SCH_TopRecipient	なし	最上位の受信者コレクションのスケジュールを示します。	スケジュールされたタスク
Microsoft Exchange Server	MSEX_SCH_TopSource	なし	最上位の送信元コレクションのスケジュールを示します。	スケジュールされたタスク

Exchange 受信者フィルタ

このアスペクトは Exchange 2010 の受信者情報を収集および記録します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Exchange Edge Server	MSEX_RecipientPerf_Conf_2010	なし	FDS OAB パフォーマンスのスケジュールを保持します。	ConfigFile

Exchange イベント ログ

このアスペクトは Windows イベント ログの情報および警告イベントを転送します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_MSEExchange_Messaging_Policies_Events	なし	ソース Microsoft Exchange メッセージング ポリシーからのイベントのアプリケーション イベント ログを監視します。	Windows イベント ログ

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Ed_MSEExchange_EdgeSync_Errors_and_Warnings	なし	Microsoft Exchange Server 上のソース Exchange EdgeSync からのイベントのアプリケーション イベント ログを監視し、すべての警告とエラーを表示します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Ed_MSEExchange_Message_Security	なし	Microsoft Exchange Server 上のアプリケーション イベント ログで、ソース Microsoft Exchange メッセージ セキュリティによって記録されたエラーおよび警告 イベントを監視します。エッジトランスポートのイベント ID も表示します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ApplicationWarnings	なし	Microsoft Exchange 2013 サーバの各種 イベント ソースのすべてのアプリケーション警告を転送します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_POP3	なし	Exchange ActiveSync 情報 メッセージを監視します	Windows イベント ログ

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ActiveSync_Warn	なし	Microsoft Exchange POP3 を監視します	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_CAS_Evt_MSEExchange_OWA	なし	Microsoft Exchange OWA の重大なエラー	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_MailboxServer_Assistants	なし	Exchange ActiveSync 警告メッセージを監視します	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_MSEExchange_Store_Driver_Events	なし	Exchange メールボックス アシスタントを監視します	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Exchange_2010_Application_Info	なし	ソース Microsoft Exchange ストアドライバに対して生成されたイベントを報告します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Repl_Warnings_in_Application_Event_Log	なし	Microsoft Exchange 2013 サーバの各種イベント ソースのすべてのアプリケーション情報を転送します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Exchange_2010_Application_Warnings	なし	アプリケーション イベント ログ - すべてのエラーを通知	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Mailbox_MailSubmission	なし	アプリケーション イベント ログ - すべてのエラーを通知	Windows イベント ログ

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Exchange_DatabaseCopy_Status	なし	DAG のメンバで重要なデータベースステータス変更が行われたときにサービス マップを更新します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_InformationWorker	なし	メールボックス サーバに対するメール 発信を監視します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_IMAP4	なし	アプリケーション イベント ログ - すべてのエラーを通知	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Autodiscover_Warn	なし	Exchange 自動検出 警告メッセージを監視します。	Windows イベント ログ

Exchange エラー ログ

このアスペクトは Windows イベント ログのエラーを監視します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Autodiscover-Err	なし	Exchange 2010 の Exchange 自動検出エラー メッセージを監視します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Forward_ExBPA_Event_Log_Errors	なし	Exchange 2010 のアプリケーション イベント ログからの BPA ログをすべて転送します。	Windows イベント ログ

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ ApplicationErrors	なし	Exchange 2013 サーバの各種 イベント ソースのすべてのアプリケーション エラーを転送します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ ActiveSync_Errors	なし	Exchange 2010 の Exchange ActiveSync エラー メッセージを監視します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Exchange_2010_ Application_ Errors	なし	アプリケーション イベント ログ - Exchange 2010 のすべてのエラーを通知	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ Replication_ Errors_in_ Application_ Event_Log	なし	Exchange 2010 のイベント ログのレプリケーション エラーを監視します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Forward_ MExchangeAL_ Errors	なし	Exchange 2010 のイベント ソース MExchangeAL からのすべてのエラーを転送します。	Windows イベント ログ

Exchange 検出

このアスペクトは、資格情報を使用せずに Exchange Server CIを検出します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Windows	MSEX_Discovery	なし	Exchange Server CIを検出します。	サービス自動検出

Exchange 情報ログ

このアスペクトは Windows イベント ログの Exchange 情報 イベントを転送します。このアスペクトは、次のポリシー テンプレートで構成されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ApplicationInfo	なし	Exchange 2013 サーバの各種イベントソースのすべてのアプリケーション情報を転送します。	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_Exchange_2010_Application_Info	なし	アプリケーション イベント ログ - Exchange 2010 のすべてのエラーを通知	Windows イベント ログ
Microsoft Exchange Server	MSEX_ActiveSync_Info	なし	Exchange 2010 の Exchange ActiveSync 情報メッセージを監視します。	Windows イベント ログ

パラメータ

パラメータは、Microsoft Exchange Server 管理テンプレート、アспект、ポリシーテンプレートに不可欠な変数です。各パラメータは1つの変数に対応します。パラメータには、Microsoft Exchange Server デプロイメントの各種コンポーネントを監視するために使用するデフォルト値が含まれます。また、監視要件に合うように変数の値を変更することもできます。

パラメータのタイプ

パラメータは、次のように分類できます。

- **必須** - これらのパラメータには、ポリシーテンプレートに必要な情報が含まれます。例: User Name と Password は必須パラメータです。
- **エキスパート** - これらのパラメータは、領域専門家 (SME) や管理者が使用します。例: High、Low、Very High の頻度はエキスパートパラメータです。

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、使用環境内の Microsoft Exchange Server の監視を目的とした以下のパラメータが含まれます。



パラメータ	説明	デフォルト値
High スケジューラの頻度	短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。	15
Low スケジューラの頻度	長い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。	24
Medium スケジューラの頻度	中程度の間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。	1
Very High スケジューラの頻度	極めて短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。	5
日次スケジューラの頻度	24 時間に 1 回実行されるスケジューラの頻度。	24
User Name と Password	Microsoft Exchange Server のログオン資格情報	なし

パラメータの調整

この項では、CI にデプロイ済みの Microsoft Exchange Server 管理テンプレートとアスペクトのパラメータの編集についての詳細について説明します。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整]

2. **[ビューの参照]** タブで、パラメータを調整する CI を含む **Exchange_Org_View** を選択します。または、**[検索]** タブを使用して CI を検索できます。
3. CI のリストで、CI をクリックします。[割り当て詳細] ペインに、現在のパラメータ値が表示されます。
4. [割り当て詳細] ペイン内のパラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a.  をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
 - b. 変更するパラメータを選択し、 をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
 - c. 値を変更して、**[OK]** をクリックします。新しいパラメータ値が関連する CI にデプロイされます。

ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー

ビューは、イベントのコンテキストを可視化するのに役立ちます。一般的なビューでは CI と他の近隣 CI との関係が表示されます。ビューを使用して、OMi MP for Microsoft Exchange Server 環境のトポロジを表示できます。また、ビューにより、次のことも可能です。

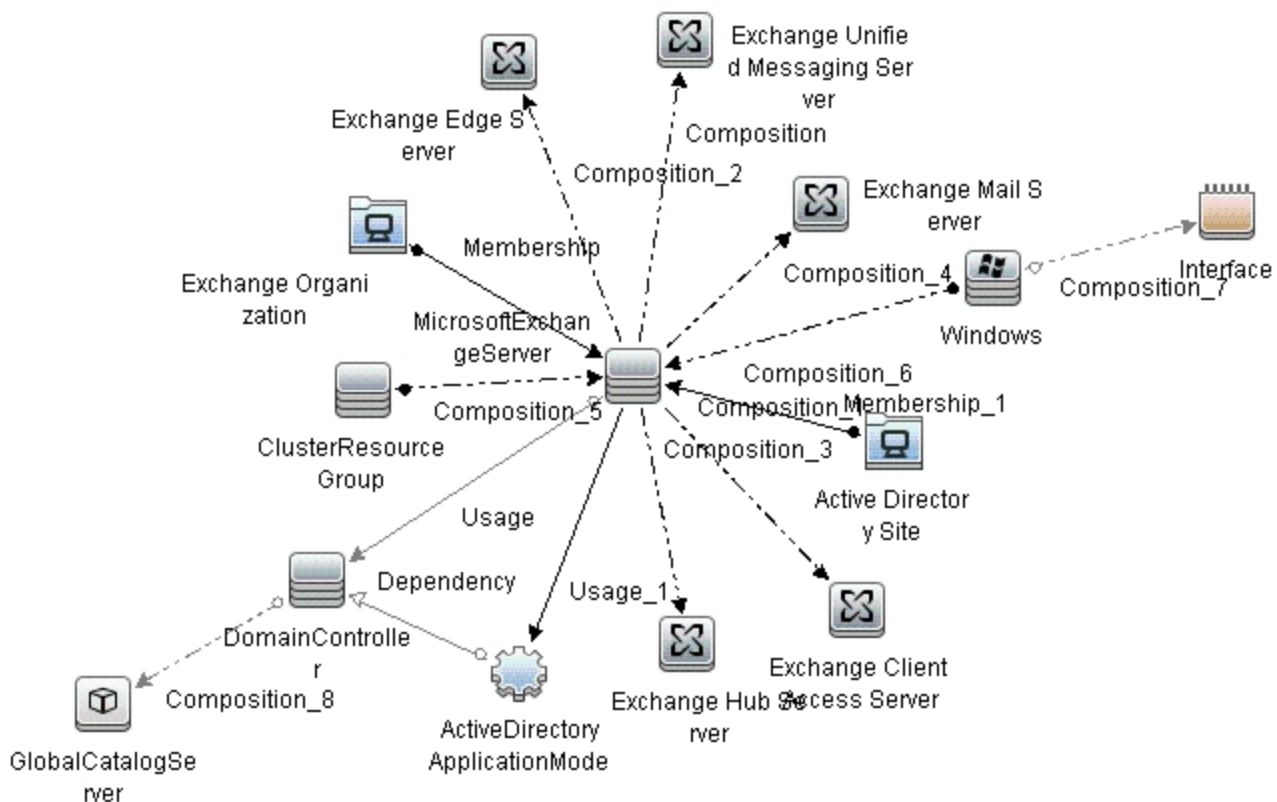
- Microsoft Exchange Server CI のイベント パースペクティブの管理
- Microsoft Exchange Server CI の状況 パースペクティブの管理
- 管理 テンプレート、アスペクト、ポリシー テンプレートの割り当ておよび調整

RTSM ビューにアクセスする方法

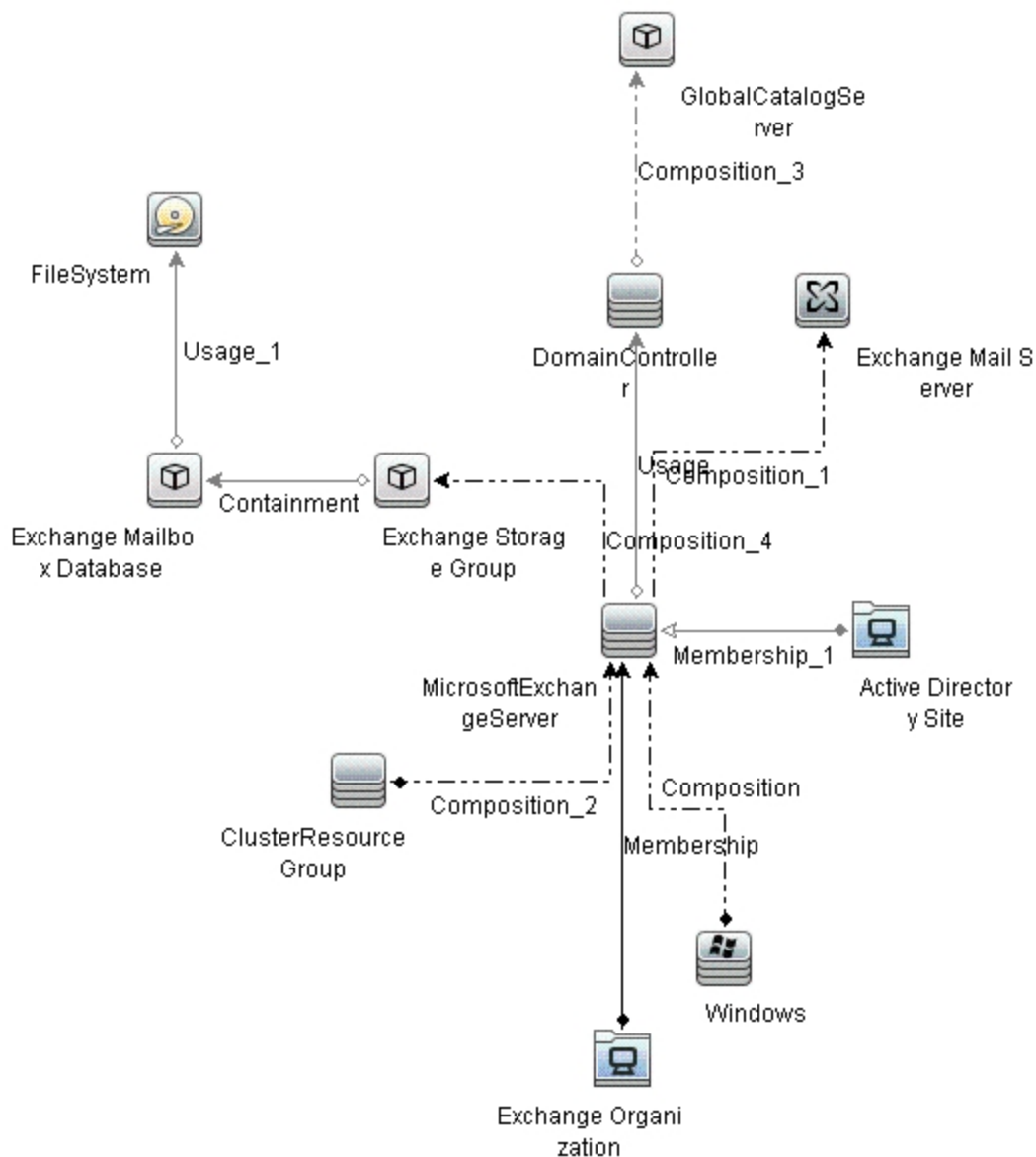
1. **【管理】 > 【RTSM 管理】 > 【モデリング】 > 【モデリング スタジオ】 > 【リソース】** を選択します。
2. **【リソース タイプ】** ドロップダウン リストから **【ビュー】** を選択します。
3. リストから **【Operations Management】 > 【Exchange Server】** を選択します。

Microsoft Exchange Server コンテンツ パックの RTSM パッケージには、次のビューが含まれています。

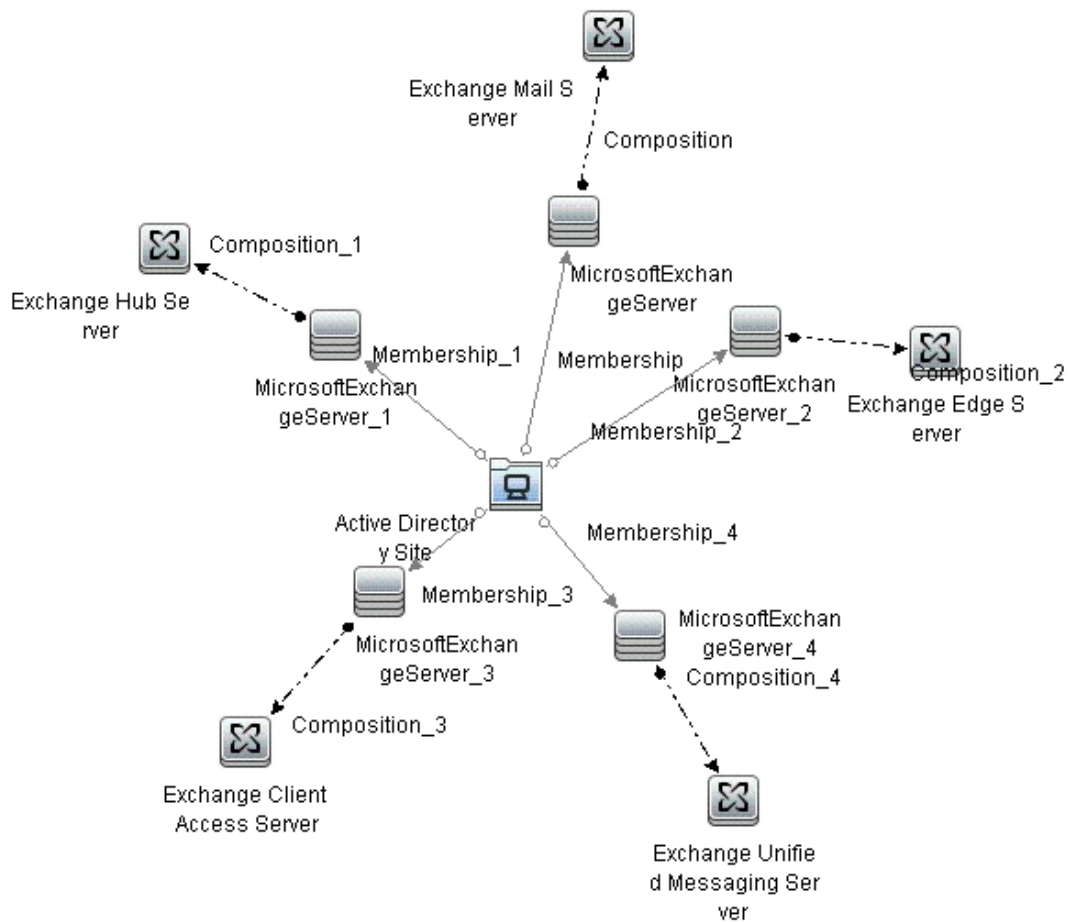
- **Exchange_Org_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Unified Messaging Server、Exchange Client Access Server、Exchange Edge Server、Exchange Hub Server、Exchange Mail Server、Active Directory Site、Active Directory Application Mode、Domain Controller、および Computer の各 CI タイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



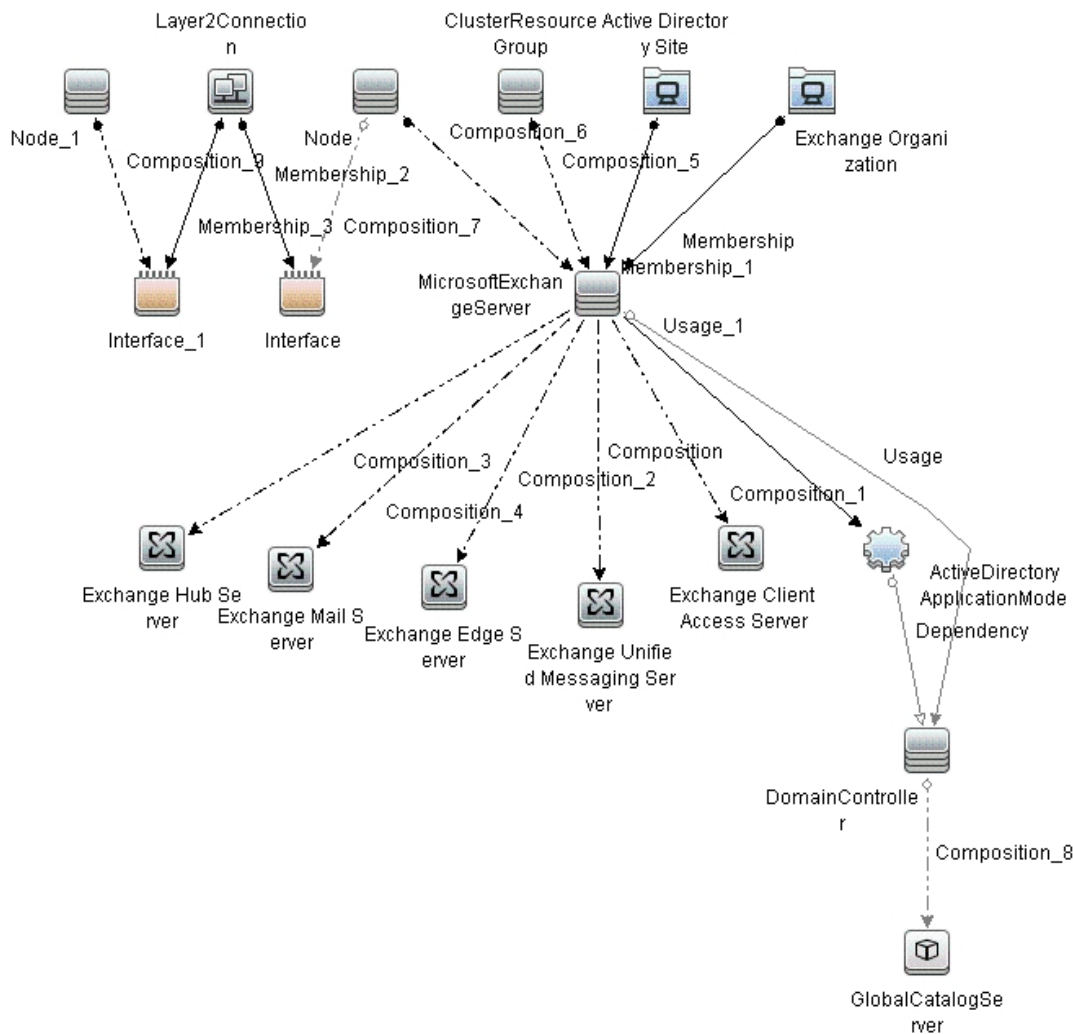
- **Exchange_Mail_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Mail Server、Domain Controller、Microsoft Exchange Server、Exchange Storage Group、Clustered Resource Group、Active Directory Site、Exchange Mailbox Database、および Computer (Windows) の各 CI タイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



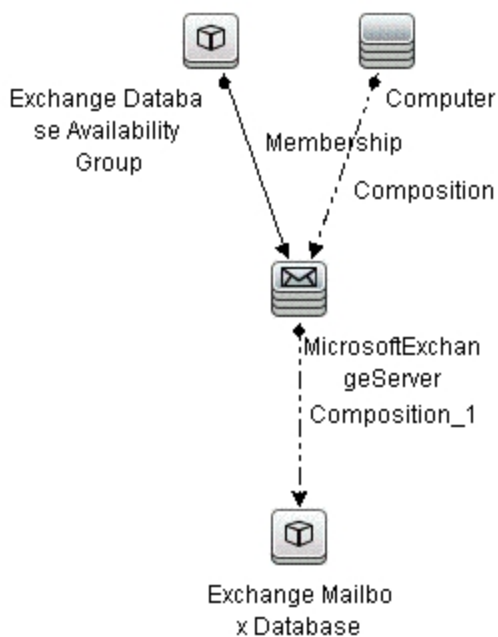
- **Exchange_Site_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Mail Server、Exchange Hub Server、Exchange Edge Server、Active Directory Site、および Exchange Unified Messaging Server の各 CIタイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



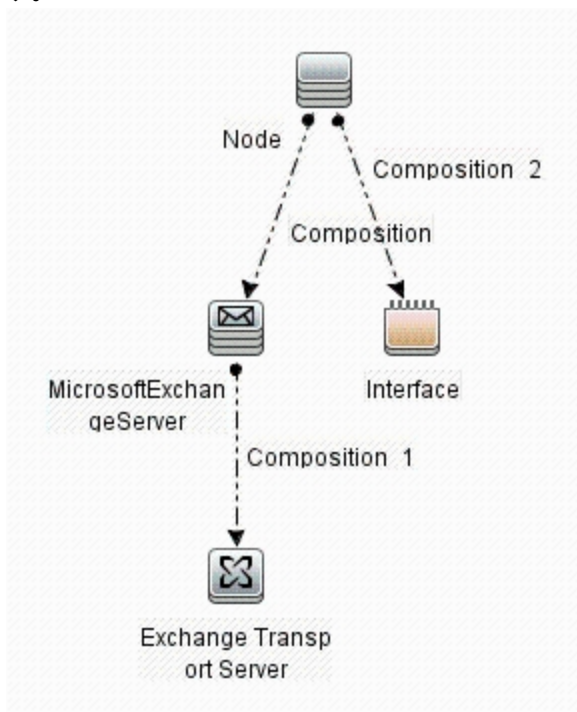
- **Exchange_Network_Deployment_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Mail Server、Exchange Hub Server、Exchange Edge Server、Active Directory Site、Active Directory Application Mode、Exchange Unified Messaging Server、および Node の各 CI タイプを表示します。



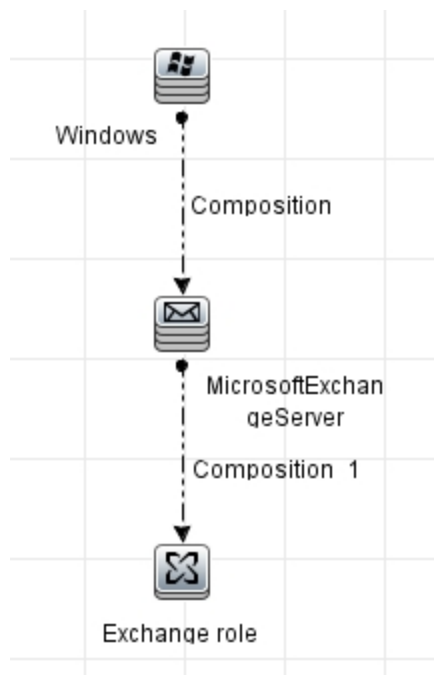
- Exchange_DAG_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Database Availability Group、Exchange Server (Exchange DAG のメンバ)、Exchange Mailbox Database、および Computer の各 CI タイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



- **Exchange_Transport_View:** このビューは、Exchange Organization、Exchange Transport Server、Exchange Server、および Node の各 CI タイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



- **Exchange_Server_View:** このビューは、Microsoft Exchange Server、Exchange Role、および Windows の各 CI タイプなどさまざまなコンポーネントを画像で表示します。



構成アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)

CI は、IT サービスを配信するために管理する必要のあるコンポーネントです。CI には、IT サービス、ハードウェア、ソフトウェアなどが含まれます。CIT は、CI のタイプと属性を示します。OMi MP for Microsoft Exchange Server は、次の CIT を使用します。

- Exchange Organization
- Exchange Database Availability Group
- Microsoft Exchange Server
- Exchange Hub Server
- Exchange Mail Server
- Exchange Client Access Server
- Exchange Unified Messaging Server
- Exchange Edge Server

エンリッチメント ルール

エンリッチメント ルールは、次のような目的に使用します。

- 新しい CI と RTSM との関係の追加
- 特定の CI のインスタンスを RTSM から削除
- RTSM にある特定の CI のインスタンスの属性値の更新

エンリッチメント ルールにアクセスする方法

1. **[管理]** > **[RTSM 管理]** > **[モデリング]** > **[エンリッチメント マネージャ]** をクリックします。
2. **[Operations Management]** > **[Exchange Server]** を選択します。

OMi MP for Microsoft Exchange Server コンテンツ パックには、次のエンリッチメント ルールが含まれていません。

- ADAM_Depends_DomainController
- ExchangeServer_Uses_GlobalCatalog
- ExchangeServer_IsMemberOf_ActiveDirectorySite
- ExchangeServer_Uses_DomainController
- ExchangeRoleLabelUpdate

状況 インジケータ (HI) とイベント タイプ インジケータ (ETI)

状況 インジケータは、Microsoft Exchange Server CI で発生するイベントを分析し、Microsoft Exchange Server CI の状況をレポートします。イベント タイプ インジケータ (ETI) とは、繰り返しのタイプに基づいてイベントを分類したものです。ETI は関連する構成アイテム (CI) の状況を追跡します。

状況 インジケータとイベント タイプ インジケータへのアクセス方法

1. **[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[インジケータ]** を選択します。
2. **[CI タイプ]** ペインで、**[Configuration Item]** > **[Infrastructure Element]** > **[Application Resource]** > **[Microsoft Exchange Resource]** > **[Exchange Role]** を選択します。

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、使用環境内の Microsoft Exchange Server 関連イベントを監視する以下の状況インジケータとイベントタイプインジケータが含まれます。

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Mail Server	Average Time For PF Delivery	Exchange メールサーバ上でのパブリックフォルダへの投稿、またはメッセージの受信者への配信に要する平均時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Mail Server	Public Folder Replication Queue Length	処理待ち状態のレプリケーションメッセージの数を示します	正常域、高、最高
Exchange Hub Server	Load Exchange Topology	Active Directory から Exchange トポロジ情報を読み込みまたはロードできるかどうかを示します。	ダウン
Exchange Mail Server	Public Folder Receive Queue Length	パブリックストアの受信キュー内のメッセージ数を示します	正常域、高、最高
Exchange Hub Server	Submission Thread Count	Exchange ハブサーバ上で現在実行中の発信スレッドの割合を示します。値が「最高」の場合、新しいスレッドは作成されず、メール発信は失敗します。	正常域、高、最高
Exchange Mail Server	Hub Server Reachability	Exchange ハブサーバに Exchange メールサーバから到達可能かどうかを示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	Active Sync Connectivity	Exchange クライアント アクセスサーバ上の Active Sync 接続の可用性を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	Active Sync Latency	Active Sync を使用してユーザメールボックスにアクセスする際の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Client Access Server	IMAP4 Latency	クライアント アクセスサーバ上の IMAP4 接続の待機時間を示します。	正常域、高、最高

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Client Access Server	Exchange Service Host Status	Microsoft Exchange Service Host の状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server、Exchange Unified Messaging Server	File Distribution Service Status	Microsoft Exchange ファイル配布サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	POP3 Latency	クライアント アクセス サーバ上の POP3 接続の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Client Access Server	IMAP4 Connectivity	Exchange クライアント上の IMAP4 接続の可用性を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	IMAP4 Service Status	Microsoft Exchange IMAP4 サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	IMAP4 Status	Exchange クライアント アクセス サーバ上の IMAP4 操作の状態を示します。	危険域、正常域
Exchange Client Access Server	OWA Connectivity	Exchange クライアント アクセス サーバ上の OWA 接続の可用性を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	OWA Latency	Exchange クライアント アクセス サーバ上の OWA 操作実行時の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Client Access Server	POP3 Connectivity	Exchange クライアント アクセス サーバ上の POP3 接続の可用性を示します。	アップ、ダウン
Exchange Client Access Server	POP3 Service Status	Microsoft Exchange POP3 サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Retry Non SMTP Delivery Queue Length	SMTP 以外のゲートウェイの配信キュー内の再試行中のメッセージの数を示します。	正常域、高、最高

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Client Access Server	POP3 Status	Exchange クライアント アクセス サーバ上の POP3 操作の状態を示します。	危険域、正常域
Exchange Mail Server	Mail Submission Status	Exchange メールサーバ上のメール発信の状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Mail Server、Exchange Unified Messaging Server	Exchange Service Host Status	Microsoft Exchange Service Host の状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Unified Messaging Server	File Distribution Service Status	Microsoft Exchange ファイル配布サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Edge Server	ADAM Service Status	Microsoft Exchange ADAM サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Edge Server	Edge Credential Service Status	Exchange エッジサーバの Credential サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Mail Server	Active Directory Access	Exchange メールサーバと Microsoft Exchange Server からの Active Directory へのアクセス可能性の状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Mail Server	Average Mail Delivery Time	Exchange メールサーバ上の平均メール配信時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Mail Server	Average Time for PF Delivery	Exchange メールサーバ上でのパブリックフォルダへの投稿、またはメッセージの受信者への配信に要する平均時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Mail Server	Database Instance Status	Exchange データベース インスタンスの状態を示します。	危険域、正常域
Exchange Mail Server	Exchange Service Host Status	Microsoft Exchange Service Host の状態を示します。	アップ、ダウン

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Mail Server	Exchange Memory Status	Microsoft Exchange プロセスで使用 中または利用可能なメモリの状態 を示します。	正常域、 危険域
Exchange Mail Server	Information Store Service Status	Microsoft Exchange Information Store サービスの状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	Mailbox Assistant Service Status	Microsoft Exchange メールボックス アシスタント サービスの状態を示し ます。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	Mailbox Receive Queue Length	メールボックスストアの受信キュー内 のメッセージ数を示します。	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	Mail Flow Latency	指定された Microsoft Exchange メールサーバからのメールフローの 待機時間を示します。	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	Mail Flow Status	Microsoft Exchange メールサーバ上 のメールフローの状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	Mail Submission Service Status	Microsoft Exchange メール発信サー ビスの状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	MAPI Connectivity	Exchange メールサーバ上の MAPI 接続の状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	MAPI Latency	Exchange メールサーバ上の MAPI 接続の待機時間を示します。	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	Public Receive Queue Length	パブリックストアの受信キュー内の メッセージ数を示します。	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	Public Replication Queue Length	処理待ち状態のレプリケーション メッセージの数を示します	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	Replication Service Status	Microsoft Exchange レプリケーション サービスの状態を示します。	アップ、 ダウン

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Mail Server	Search Status	検索操作の状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mail Server	Search Latency	Exchange Search 実行時の待機時間を示します。	正常域、 高、 最高
Exchange Mail Server	System Attendant Status	Microsoft Exchange システム アテンダント サービスの状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Hub Server、Exchange Mail Server	Edge Sync Service Status	Exchange ハブ サーバの同期サービスの状態を示します。	アップ、 ダウン
Exchange Mailbox Database、Exchange Mail Server	Available Transaction Log Disk Space	Exchange メールサーバ上の Exchange トランザクション ログに使用可能な空きディスク領域の程度を示します。	限界に近い、 低、 正常域
Exchange Mailbox Database	Available Database Disk Space	データベースを含むディスク内の空き領域を示します。	限界に近い、 低、 正常域
Microsoft Exchange Server	AD Topology Service Status	Microsoft Exchange Active Directory トポロジ サービスの状態を示します。	アップ、 ダウン
Microsoft Exchange Server	Create Item Status	Microsoft Exchange Web サービスを使用して実行した「アイテムの作成」操作の状態を示します。	アップ、 ダウン
Microsoft Exchange Server	Create Item Latency	Microsoft Exchange Web サービスを使用した「アイテムの作成」操作実行時の待機時間を示します。	正常域、 高、 最高
Microsoft Exchange Server	Delete Item Status	Exchange Web サービスを使用して実行した「アイテムの削除」操作の状態を示します。	アップ、 ダウン

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Microsoft Exchange Server	Delete Item Latency	Microsoft Exchange Web サービスを使用した「アイテムの削除」操作実行時の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Microsoft Exchange Server	GC Bind Time	グローバルカタログ (GC) でのバインドに要する時間を示します。	正常域、高、最高
Microsoft Exchange Server	GC Search Time	GC 検索の実行に要する時間を示します。	正常域、高、最高
Microsoft Exchange Server	Get Folder Status	Exchange Web サービスを使用して実行した「フォルダの取得」操作の状態を示します。	アップ、ダウン
Microsoft Exchange Server	Get Folder Latency	Microsoft Exchange Web サービスを使用した「フォルダの取得」操作実行時の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Microsoft Exchange Server	Sync Folder Status	Microsoft Exchange Web サービスを使用して実行した「同期フォルダ」操作の状態を示します。	アップ、ダウン
Microsoft Exchange Server	Sync Folder Latency	Microsoft Exchange Web サービスを使用した「同期フォルダ」操作実行時の待機時間を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Active Mailbox Delivery Queue Length	アクティブなメールボックスキュー内のメッセージの数を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Aggregate Delivery Queue Length	配信するためにキューに入れられている、すべてのキュー内のメッセージの数を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server	Delayed DSN Count	Exchange トランスポート サーバ上で生成された遅延配信状態通知の数を示します。値が非常に高い場合、過負荷を示す可能性があります。	正常域、高、最高

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Transport Server	Failed DSN Count	生成されたエラー配信状態通知の数を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Largest Delivery Queue Length	最大配信キュー内のメッセージの数を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Poison Queue Length	Exchange トランスポート サーバ上の有害キューの長さを示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Remote Delivery Queue Length	Microsoft Exchange トランスポート サーバと Exchange メールサーバ上のリモート配信キューの長さを示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server	Retry Non SMTP Delivery Queue Length	SMTP 以外のゲートウェイの配信キュー内の再試行中のメッセージの数を示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Submission Queue Length	Exchange トランスポート サーバ上の発信キューの長さを示します。	正常域、高、最高
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Transport Service Status	Microsoft Exchange Transport サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Exchange Transport Server、Exchange Mail Server	Unreachable Queue Length	Exchange トランスポート サーバと Exchange メールサーバ上の上の到達不能キューの長さを示します。	正常域、高、最高
Exchange Hub Server	Edge Synchronization Status	エッジ同期の状態を示します	上

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Exchange Unified Messaging Server	Speech Engine Status	Microsoft Exchange 音声認識エンジン サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
	Unified Messaging Connectivity	Microsoft Exchange ユニファイド メッセージング サーバ上のユニファイドメッセージング接続の可用性を示します。	アップ、ダウン
	Unified Messaging Status	Microsoft Exchange ユニファイド メッセージング サービスの状態を示します。	アップ、ダウン

トポロジベースのイベント 相関処理 (TBEC) ルール

イベント相関処理では、一般的に発生するイベントやイベントの組み合わせを特定するためにルールが適用され、保留、削除可能なイベントを自動的に特定したり、新しいイベントを生成してオペレータに表示する必要があるイベントを特定することによって、このようなイベントの処理を支援します。

相関処理ルールへのアクセス方法

[管理] > [オペレーション管理] > [イベント相関処理] > [トポロジベースのイベント相関処理]

OMi MP for Microsoft Exchange Server コンテンツパックには、Exchange Server 関連イベントを相関処理するルールが含まれています。

相関処理ルールのしくみの詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

Exchange::クラスタ化されたサーバ: メモリ負荷 >> Exchange メモリの状態

説明: メモリ負荷は Exchange の利用可能なメモリに影響します		
原因		
CIT: ClusterResourceGroup	ETI: Memory Load	値: ページング
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::クラスタ化されたサーバ: メモリ使用レベル >> Exchange メモリの状態

説明: メモリ使用レベルは Exchange の利用可能なメモリに影響します		
原因		
CIT: ClusterResourceGroup	HI: Memory Usage Level	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::クラスタ化されたサーバ: ページ ファイル使用量 >> Exchange メモリの状態

説明: Exchange メール サーバをホストしているコンピュータ上のページ ファイル使用量は、Exchange メモリの状態に影響します		
原因		
CIT: Cluster Resource Group	HI: Page File Usage	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::クラスタ化されたサーバ: Ping 可用性 >> ハブ サーバの到達可能性とメール発信の状態

説明: Exchange メール サーバの Ping の可用性は、メール発信とハブ サーバの到達可能性に影響します		
原因		
CIT: ClusterResourceGroup	HI: Ping Availability	値: 利用不可
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Hub Server Reachability	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Mail Submission Status	値: ダウン

Exchange:: DomainController: DC LDAP バインド 応答時間 >> クライアントのアクセス可能性

説明: LDAP バインド 応答時間はクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		

説明: LDAP バインド 応答時間はクライアントのアクセス可能性に影響します		
CIT: DomainController	HI: DC LDAP Bind Response Time	値: 最高
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Latency	値: 最高

Exchange:: DomainController: DC LDAP バインド 応答時間 >> メールフローの待機時間

説明: LDAP バインド 応答時間はメールフローの待機時間に影響します		
原因		
CIT: ドメイン コントローラ	HI: DC LDAP Bind Response Time	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Mail Flow Latency	値: 最高

Exchange:: DomainController: DC LDAP バインド 応答時間 >> トランスポート キューの長さ

説明: LDAP バインド 応答時間は、トランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: DomainController	HI: DC LDAP Bind Response Time	値: 最高
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Remote Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Delayed DSN Count	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高

Exchange:: DomainController: DC LDAP クエリ応答時間 >> クライアントのアクセス可能性

説明: LDAP クエリ応答時間はクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		
CIT: ドメイン コントローラ	HI: DC LDAP Query Response Time	値: 最高
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	ETI: Active Sync Latency	値: 最高

Exchange:: DomainController: DC LDAP クエリ応答時間 >> メールフローの待機時間

説明: LDAP クエリ応答時間はメールフローの待機時間に影響します		
原因		
CIT: DomainController	HI: DC Query Response Time	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Latency	値: 最高

Exchange:: DomainController: DC LDAP クエリ応答時間 >> トランスポート キューの長さ

説明: LDAP クエリ応答時間は、トランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: DomainController	HI: DC LDAP Query Response Time	値: 最高
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Remote Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Delayed DSN Count	値: 最高

説明: LDAP クエリ応答時間は、トランスポート キューの長さに影響します		
現象 4		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高

Exchange::Exchange クライアント アクセス サーバ:IMAP4 サービスの状態 >> IMAP4 接続

説明: IMAP4 サービスは IMAP4 接続に影響します		
原因		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Service Status	値: ダウン
現象		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Connectivity	値: ダウン

Exchange::Exchange クライアント アクセス サーバ: POP3 サービスの状態 >> POP3 接続

説明: POP3 サービスは POP3 接続に影響します		
原因		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Service Status	値: ダウン
現象		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Connectivity	値: ダウン

Exchange::Exchange ハブ サーバ:Active Mailbox Delivery Queue Length >> メールフローの待機時間

説明: Active Mailbox Delivery Queue Length はメールフローの待機時間に影響します		
原因		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Queue Length	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Latency	値: 最高

Exchange::Exchange ハブ サーバ:発信キューの長さ >> Mapi の待機時間

説明: 発信キューの長さは Mapi の待機時間に影響します		
原因		

説明: 発信キューの長さは Mapi の待機時間に影響します		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mapi Latency	値: 最高

Exchange::Exchange ハブ サーバ: 発信スレッド数 >> メール発信の状態

説明: 発信スレッド数は Exchange メール サーバ上のメール発信に影響します		
原因		
CIT: Exchange Hub Server	ETI: Submission Thread Count	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Mail Submission Status	値: ダウン

Exchange::Exchange ハブ サーバ: Transport サービスの状態 >> メール発信の状態とメールフローの状態

説明: Transport サービスはメール発信とメールフローに影響します		
原因		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Transport Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Mail Submission Status	値: ダウン

Exchange::Exchange メール サーバ: ハブ サーバの到達可能性 >> メール発信の状態

説明: ハブ サーバの到達可能性はメール発信に影響します		
原因		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Hub Server Reachability	値: ダウン
現象		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Mail Submission Status	値: ダウン

Exchange::Exchange メールボックス データベース:データベースの空きディスク領域 >> Information Store サービスの状態

説明: データベースの空きディスク領域は Information Store サービスに影響します		
原因		
CIT: Exchange Mailbox Database	HI: Available Transaction Log Disk Space	値: ダウン
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Information Store Service Status	値: ダウン

Exchange::Exchange メール サーバ\Information Store サービスの状態 >> クライアントのアクセス可能性

説明: Information Store サービスはクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Information Store Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Connectivity	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Connectivity	値: ダウン
現象 3		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Connectivity	値: ダウン
現象 4		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Connectivity	値: ダウン

Exchange::Exchange メール サーバ\Information Store サービスの状態 >> メールフローの状態と Mapi 接続

説明: Information Store サービスはメールフローと Mapi 接続に影響します		
原因		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Information Store Service Status	値: ダウン

説明: Information Store サービスはメールフローと Mapi 接続に影響します		
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	HI: MAPI Connectivity	値: ダウン

Exchange::Exchange メール サーバ:メール発信 サービスの状態 >> メールフローの状態

説明: メール発信 サービスはメールフローに影響します		
原因		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Submission Service Status	値: ダウン
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Status	値: ダウン

Exchange::Exchange メールボックス データベース:トランザクション ログの空きディスク領域 >> Information Store サービスの状態

説明: トランザクション ログの空きディスク領域は Information Store サービスの状態に影響します		
原因		
CIT: Exchange Mailbox Database	HI: Available Transaction Log Disk Space	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Information Store Service Status	値: ダウン

Exchange::Exchange ユニファイド メッセージング サーバ:音声認識 エンジンの状態 >> ユニファイド メッセージングの状態

説明: Speech Engine サービスはユニファイド メッセージング サービスに影響します		
原因		
CIT: Exchange Unified Messaging Server	HI: Speech Engine Status	値: ダウン
現象		

説明: Speech Engine サービスはユニファイド メッセージング サービスに影響します		
CIT: Exchange Unified Messaging Server	HI: Unified Messaging Status	値: ダウン

Exchange::ファイル システム:ディスク使用レベル >> データベースの空きディスク領域

説明: ディスク使用レベルはデータベースの空きディスク領域に影響します		
原因		
CIT: File System	HI: Disk Usage Level	値: 限界に近い
現象 1		
CIT: Exchange Mailbox Database	HI: Available Database Disk Space	値: 限界に近い
現象 2		
CIT: Exchange Mailbox Database	HI: Available Transaction Log Disk Space	値: 限界に近い

Exchange::GlobalCatalog:GC クエリ応答時間 >> Exchange GC 検索時間

説明: GC クエリ応答時間は Exchange の GC 検索時間に影響します		
原因		
CIT: Global Catalog	HI: GC LDAP Query Response Time	値: 最高
現象		
CIT: Microsoft Exchange Server	HI: GC Search Time	値: 最高

Exchange::Microsoft Exchange Server:AD トポロジ サービスの状態 >> クライアント アクセス サービス

説明: Active Directory Topology サービスはクライアント アクセス サービスに影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: AD Topology Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: File Distribution Service Status	値: ダウン
現象 2		

説明: Active Directory Topology サービスはクライアント アクセス サービスに影響します		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Exchange Service Host Status	値: ダウン
現象 3		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Service Status	値: ダウン
現象 4		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Service Status	値: ダウン

Exchange::Microsoft Exchange Server:AD トポロジ サービスの状態 >> ハブトランスポート サービス

説明: Active Directory Topology サービスはハブトランスポート サービスに影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: AD Topology Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Transport Service Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Edge Sync Service Status	値: ダウン

Exchange::Microsoft Exchange Server:AD トポロジ サービスの状態 >> メール サーバ サービス

説明: Active Directory Topology サービスはメール サーバ サービスに影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: AD Topology Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Submission Service Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mailbox Assistant Service Status	値: ダウン
現象 3		

説明: Active Directory Topology サービスはメール サーバ サービスに影響します		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Replication Service Status	値: ダウン
現象 4		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Service Host Status	値: ダウン
現象 5		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Active Directory Access	値: ダウン
現象 6		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mapi Connectivity	値: ダウン
現象 7		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Status	値: ダウン

Exchange::Microsoft Exchange Server:AD トポロジ サービスの状態 >> ユニファイド メッセージング サービス

説明: Active Directory Topology サービスはユニファイド メッセージング サービスに影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: AD Topology Service Status	値: ダウン
現象 1		
CIT: Exchange Unified Messaging Server	HI: File Distribution Service Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Unified Messaging Server	HI: Unified Messaging Status	値: ダウン

Exchange::Microsoft Exchange Server:GC 検索時間 >> クライアントのアクセス可能性

説明: GC 検索時間はクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: GC Search Time	値: 最高

説明: GC 検索時間はクライアントのアクセス可能性に影響します		
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Latency	値: 最高

Exchange::Microsoft Exchange Server:GC 検索時間 >> メールフローの待機時間

説明: GC 検索時間はメールフローの待機時間に影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: GC Search Time	値: 最高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mapi Flow Latency	値: 最高

Exchange::Microsoft Exchange Server:GC 検索時間 >> トランスポート キューの長さ

説明: GC 検索時間はトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: MicrosoftExchangeServer	HI: GC Search Time	値: 最高
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Remote Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Delayed DSN Count	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス通信ステータス >> クライアントのアクセス可能性

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスは、クライアントのアクセス可能性に影響します

原因

CIT: Interface	HI: Interface Communication Status	値: 利用不可
----------------	------------------------------------	---------

現象 1

CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Latency	値: 最高
------------------------------------	-------------------	-------

現象 2

CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Latency	値: 最高
------------------------------------	------------------	-------

現象 3

CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Connectivity	値: ダウン
------------------------------------	------------------------	--------

現象 4

CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Connectivity	値: ダウン
------------------------------------	-----------------------	--------

現象 5

CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Connectivity	値: ダウン
------------------------------------	----------------------	--------

現象 6

CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Connectivity	値: ダウン
------------------------------------	------------------------------	--------

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス通信ステータス >> ハブ サーバの到達可能性

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスは、ハブ サーバの到達可能性に影響します

原因

CIT: Network Interface	HI: Interface Communication Status	値: 利用不可
------------------------	------------------------------------	---------

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスは、ハブ サーバの到達可能性に影響します		
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Hub Server Reachability	値: ダウン

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス通信ステータス >> メールボックス キューの長さ

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスはメールボックス キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Communication Status	値: 利用不可
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mailbox Receive Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Public Folder Replication Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Public Folder Receive Queue Length	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Average Mail Delivery Time	値: 最高
現象 5		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Average Time for PF Delivery	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス通信ステータス >> トランスポート キューの長さ

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスはトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Communication Status	値: 利用不可
現象 1		

説明: ネットワーク インターフェイスの通信ステータスはトランスポート キューの長さに影響します		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Unreachable Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Largest Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Retry Non SMTP Delivery Queue Length	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Aggregate Delivery Queue Length	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス使用率 >> クライアントのアクセス可能性

説明: ネットワーク インターフェイス使用率はクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Latency	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: IMAP4 Connectivity	値: ダウン
現象 4		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: POP3 Connectivity	値: ダウン
現象 5		

説明: ネットワーク インターフェイス使用率はクライアントのアクセス可能性に影響します		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Connectivity	値: ダウン
現象 6		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Connectivity	値: ダウン

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス使用率 >> ハブ サーバの到達可能性

説明: ネットワーク インターフェイス使用率は、ハブ サーバの到達可能性に影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Communication Status	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Hub Server Reachability	値: ダウン

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス使用率 >> メールボックス キューの長さ

説明: ネットワーク インターフェイス使用率はメールボックス キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mailbox Receive Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Public Replication Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Public Receive Queue Length	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Average Mail Delivery Time	値: 最高
現象 5		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Average Time for PF Delivery	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス使用率 >> トランスポート キューの長さ

説明: ネットワーク インターフェイス使用率はトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Unreachable Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Largest Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Retry Non SMTP Delivery Queue Length	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Transport Server	HI: Aggregate Delivery Queue Length	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> クライアントのアクセス可能性

説明: ネットワーク IO はクライアントのアクセス可能性に影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Latency	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> メールフローの待機時間

説明: ネットワーク IO はメールフローの待機時間に影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Mail Flow Latency	値: 最高

Exchange::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> トランスポート キューの長さ

説明: ネットワーク IO はトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Interface	HI: Interface Utilization	値: 高
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Remote Delivery Queue Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Delayed DSN Count	値: 最高
現象 4		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高

Exchange::Windows:CPU 負荷 >> エッジトランスポート キューの長さ

説明: CPU 負荷はエッジトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: CPU Load	値: ボトルネック
現象 1		
CIT: Exchange Edge Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高

説明: CPU 負荷はエッジトランスポート キューの長さに影響します		
現象 2		
CIT: Exchange Edge Server	HI: Active Mailbox Delivery Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Edge Server	HI: Aggregate Delivery Queue Length	値: 最高

Exchange::Windows:CPU 負荷 >> ハブトランスポート キューの長さ

説明: CPU 負荷はハブトランスポート キューの長さに影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: CPU Load	値: ボトルネック
現象 1		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Submission Queue Length	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Active Mailbox Delivery Length	値: 最高
現象 3		
CIT: Exchange Hub Server	HI: Aggregate Delivery Queue Length	値: 最高

Exchange::Windows:CPU 負荷 >> OWA の待機時間と Active Sync の待機時間

説明: CPU 負荷は OWA と Active Sync の待機時間に影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: CPU Load	値: ボトルネック
現象 1		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: OWA Latency	値: 最高
現象 2		
CIT: Exchange Client Access Server	HI: Active Sync Latency	値: 最高

Exchange::Windows:論理 ディスク空き容量 >> Exchange データベース

説明: 論理 ディスク上の空きディスク領域は Exchange データベースに影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: Logical Disk Free Space	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Database Instance Status	値: 危険域

Exchange::Windows: メモリ負荷 >> Exchange メモリの状態

説明: メモリ負荷は Exchange の利用可能なメモリに影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: Memory Load	値: ページング
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::Windows: メモリ使用レベル >> Exchange メモリの状態

説明: メモリ使用レベルは Exchange の利用可能なメモリに影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: Memory Usage Level	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::Windows: PageFile 使用率 >> Exchange メモリの状態

説明: Exchange メール サーバをホストしているコンピュータ上のページ ファイル使用量は、Exchange メモリの状態に影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: Page File Usage	値: 限界に近い
現象		
CIT: Exchange Mail Server	HI: Exchange Memory Status	値: 危険域

Exchange::Windows: Ping 可用性 >> ハブ サーバの到達可能性とメール発信の状態

説明: ハブ サーバの Ping の可用性は、メール発信とハブ サーバの到達可能性に影響します		
原因		
CIT: Windows	HI: Ping Availability	値: 利用不可
現象 1		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Mail Submission Status	値: ダウン
現象 2		
CIT: Exchange Mail Server	ETI: Hub Server Reachability	値: ダウン

Operations Orchestration (OO) フロー

Orchestration とはタスクを自動化するための調整作業です。さまざまな環境とツールにわたってタスクを自動化できます。

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、次の Operation Orchestration (OO) フローが含まれていません。

OO フローのマッピングを作成する際に、以下の表に記載された属性のデフォルト値を設定できます。これにより、フローを実行するたびに値を設定する必要がなくなります。

属性	説明
omServerPort	HPOM ツール Web サービス (WS) のポート番号。この属性はオプションです。
omServerUser	HPOM ツール WS で使用する HPOM サーバのユーザ名。
omServerPassword	HPOM ツール WS で使用する HPOM サーバのパスワード。

この項では、Microsoft Exchange Server の OO フローを示します。

Check Client Access Server Health

このフローは Microsoft Exchange クライアント アクセス サーバの状況をチェックする場合に使用します。

このフローは CIT **Exchange Client Access Server** にマッピングする必要があります。

次の項目をチェックできます。

- Microsoft Exchange クライアント アクセス サーバが ping 可能かどうか。
- 必要なすべての Microsoft Exchange クライアント アクセス サーバ サービスが実行されているかどうか。
- Microsoft Exchange クライアント アクセス サーバからグローバルカタログ (GC) サーバへのクエリ実行時の待機時間が、00 フローで指定されたしきい値を下回っているかどうか。

次の表に、この 00 フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	Microsoft Exchange クライアント アクセス サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN)。入力 omServer に対して指定された、HPOM サーバの管理ノードを指定する必要があります。00 フローを実行するたびに、この値を指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノード上でリモート コマンドを実行しているときに使用します。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
threshold	GC クエリ待機時間のしきい値 (ミリ秒)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100 ミリ秒です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

Check Mailbox Server Health

このフローは Microsoft Exchange メールボックス サーバの状況をチェックする場合に使用します。

このフローは、CIT **Exchange Mail Server** にマッピングする必要があります。

次の項目をチェックできます。

- Microsoft Exchange メールボックス サーバが ping 可能かどうか。
- 必要なすべての Microsoft Exchange メールボックス サーバ サービスが実行されているかどうか。
- Microsoft Exchange メールボックス サーバから GC へのクエリ実行時の待機時間が、00 フローで指定されたしきい値を下回っているかどうか。
- メールフローの状態およびメールフローの待機時間が 00 フローで指定されたしきい値を下回っているかどうか。

次の表に、この 00 フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	Microsoft Exchange メールボックス サーバの FQDN。入力 omServer に対して指定された、HPOM サーバの管理ノードを指定する必要があります。00 フローを実行するたびに、この値を指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
threshold	GC クエリ待機時間のしきい値 (ミリ秒)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 50 ミリ秒です。
maillatency	メールフローの待機時間のしきい値 (ミリ秒)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 20 ミリ秒です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

Check Replication Health

このフローは Microsoft Exchange メールボックス サーバのレプリケーションの状況をチェックする場合に使用します。

このフローは、CIT **Exchange Mail Server** にマッピングする必要があります。

このフローは次の項目をチェックします。

- Microsoft Exchange メールボックス サーバが ping 可能かどうか。
- 必要なすべての Microsoft Exchange メールボックス サーバサービスが実行されているかどうか。
- レプリケーション サービスが Microsoft Exchange メールボックス サーバで実行されているかどうか。

次の表に、この 00 フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	Microsoft Exchange メールボックス サーバの FQDN。入力 omServer に対して指定された、HPOM サーバの管理ノードを指定する必要があります。00 フローを実行するたびに、この値を指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
threshold	GC クエリ待機時間のしきい値 (ミリ秒)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 50 ミリ秒です。

フローへの入力	説明
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力 は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

グラフ テンプレート

グラフはメトリックを図示したものです。OMi MP for Microsoft Exchange Server には、Computer CI タイプにマッピングされた一連のグラフ テンプレートが含まれています。

Exchange Server グラフ テンプレートにアクセスする方法

1. **[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[操作コンソール]** > **[パフォーマンス グラフ マッピング]** をクリックします。
2. **[Infrastructure Element]** > **[Running Software]** > **[Application Resource]** > **[Microsoft Exchange Resource]** > **[Exchange Role]** をクリックします。

次の表に、Exchange Server グラフ ファミリで提供されているグラフ テンプレートを示します。

CI タイプ: Exchange Mail Server				
カテゴリ	グラフ名	説明	メトリック名	データ ストアのテーブル
Information Store	MAPI RPC Latency Levels (Exchange Server 2010)	Outlook クライアントの待機時間レベルで成功した RPC の数を示します。	ISCLATENCY10 ISCLATENCY5 ISCLATENCY2	EXSPI_ISCLIENT
Information Store	MAPI RPC Performance (Exchange Server 2010)	Information Store の RPC 要求と RPC 操作レート (1 秒あたりの操作数) を示します。	RPCREQUESTS RPCOPERATIONSPERSEC	EXSPI_ISPERF

CI タイプ: Exchange Mail Server				
Information Store	Outlook Client Failures (Exchange Server 2010)	異なるカテゴリで失敗した RPC の割合を示します。	ISCRPCFUNAV/ISCRPCFAIL*100 ISCRPCFBUSY/ISCRPCFAIL*100 ISCRPCFCANCEL/ISCRPCFAIL*100 ISCRPCFCALLFAIL/ISCRPCFAIL*100 ISCRPCFACCESSDENY/ISCRPCFAIL*100 ISCRPCFOTHER/ISCRPCFAIL*100	EXSPI_ISCLIENT
Information Store	Outlook Client RPC Performance (Exchange Server 2010)	Outlook クライアントの RPC パフォーマンスを示します。	ISRPCATTEMPT ISRPCSUCCEED ISRPCSUCCEED	EXSPI_ISCLIENT
Information Store	Information Store Users and Connections (Exchange Server 2010)	当日の Information Store のユーザと接続カウントメトリックを示します。	ISUSERCNT ISCONNECTCNT ISACTIVEUSERCNT ISACTIVECONNECTCNT ISACTIVEANONUSERCNT	EXSPI_ISPERF
Information Store	Virtual Memory 16MB Free Block Trend (Exchange Server 2010)	Information Store 仮想メモリの 16 MB 未使用ブロック使用率のトレンドを示します。	ISVM16MBFREE	EXSPI_ISPERF
Information Store	Virtual Memory Large Free Block Megabytes Usage (Exchange Server 2010)	Information Store 仮想メモリの大容量 (MB) 未使用ブロックの使用率を示します。	ISVMLARGEFREEBB/1024/1024	EXSPI_ISPERF

CI タイプ: Exchange Mail Server				
Information Store	Virtual Memory Largest Block Size (Exchange Server 2010)	Information Store 仮想メモリの最大ブロックサイズの変化を示します。	ISVMLARGESTBLOCK/1024/1024	EXSPI_ISPERF
メールボックス	Mailbox Store Delivery Time (Exchange Server 2010)	Exchange Server のプライベート メールボックスに対するローカルメッセージの平均配信時間の時間単位メトリックを示します。	MBDELIVERYTIME	EXSPI_MBPERF
メールボックス	Mailbox Store Message Volume (Exchange Server 2010)	Exchange Server のプライベート メールボックス ボリュームを示します。	MBLOCALDELIVER MBDELIVER MBSSENT MBSUBMITTED MBRECIPIENT	EXSPI_MBPERF

CI タイプ: Exchange Hub Server				
カテゴリ	グラフ名	説明	メトリック名	データストアのテーブル

CI タイプ: Exchange Hub Server				
トランスポートサーバ	Transport Server Queues	Exchange Server のトランスポート サーバキューの長さを示します。	POISON_Q_LENGTH SUB_Q_LENGTH AGGDEL_ALLQ_LEN UNREACH_Q_LENGTH RET_MD_Q_LEN ACT_REM_DQLENGTH RET_REM_DQLENGTH LARG_DQ_LENGTH ACTIVE_MDQ_LENGTH	EXSPI_TRANSQ

CI タイプ: クライアント アクセス サーバ				
カテゴリ	グラフ名	説明	メトリック名	データストアのテーブル
クライアント アクセス	IMAP4 Connections	IMAP4 接続アクティビティを示します。	IMAP4CON IMAP4FAILEDCON IMAP4REJECTEDCON	EXSPI_IMAP4PERF
クライアント アクセス	POP3 Connections	POP3 接続アクティビティを示します。	POP3CON POP3FAILEDCON POP3REJECTEDCON	EXSPI_POP3PERF

グラフの表示方法

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフテンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

グラフを使用して Microsoft Exchange Server CI のパフォーマンス パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで、**[Performance Perspective]** タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. **[ビューの参照]** タブで、たとえば **Exchange_Mail_View** デプロイメントを選択します。[パフォーマンス] ペインが表示され、Exchange メール サーバで使用できるデフォルトのグラフが表示されます。
4. **[グラフ]** タブから作成するグラフをクリックし、**[グラフの作成]** をクリックします。右ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

ツール

OMi MP for Microsoft Exchange Server では、Exchange Server CI の管理やトラブルシューティングを可能にするツールがパッケージ化されています。ツールを使用することで、[Event Browser] のイベントのコンテキストでアクションを実行できます。次のようなツールが提供されています。

- **実行可能ファイル** - デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上でローカルに起動可能なネイティブコマンド。
- **スクリプト** - デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上で実行可能な各種スクリプト。

ツールにアクセスする方法

1. **[管理] > [オペレーション管理] > [操作コンソール]** を選択します。
2. [CI タイプ] ペインで、**[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [MailServer] > [MicrosoftExchangeServer]** をクリックします。

ツールの起動

ツールの構成と管理は、管理者が行います。ツールをデプロイするには、次の手順を実行します。

1. **【アプリケーション】 > 【オペレーション管理】 > 【ビューの参照】**を選択します。
2. ビューを選択します。選択したビューの下に、CIが一覧表示されます。
3. CIを選択して右クリックします。**【ツールを起動】**を選択します。
4. **【次へ】**をクリックします。ツールの実行をプレビューできます。
5. **【ツールの実行】**をクリックします。

ツールはバックグラウンドで実行されます。結果は**【実行結果】**タブに表示されます。

OMi MP for Microsoft Exchange Server には、Microsoft Exchange Server の次のツールが含まれていません。

CI タイプ	ツール名	ツールの説明/理由
Microsoft Exchange Server	MSEX データソースの削除	既存のデータソースを削除します。このツールを使用してデータソースを再構成します。
Microsoft Exchange Server	MSEX コレクション マネージャトレースの無効化	コレクション マネージャコンポーネントのトレースを無効にします。
Microsoft Exchange Server	MSEX コレクション マネージャトレースの有効化	コレクション マネージャコンポーネントをトレースできます。このツールを使用すると、トラブルシューティングの詳細を取得できます。渡されるパラメータ: \$TRACELEVEL。\$TRACELEVEL はトレースレベルで、値は0～4(4が最大値)。
Microsoft Exchange Server	Exchange Server 2010 用 Exchange Server 登録カスタムコマンドレット	Microsoft Exchange Server 2010 用にノード上に必要なカスタム PowerShell コマンドレットを登録します。ノードの監視を開始する前に、このツールを実行してください。PowerShell がデータを収集しない場合に、このツールを使用します。 注: トレースを有効にする と、%ovagentdir%/bin/MSEX/dsi フォルダに DAT ファイルが作成されます。
Microsoft Exchange Server	Exchange Server 2013 用 MSEX 登録カスタムコマンドレット	Microsoft Exchange Server 2013 用にノード上に必要なカスタム PowerShell コマンドレットを登録します。ノードの監視を開始する前に、このツールを実行してください。PowerShell がデータを収集しない場合に、このツールを使用します。

トレースを有効または無効にする方法

さまざまな Management Pack コンポーネントのトレースを有効および無効にするには、次の手順を実行します。

BSM コンソールからの場合:

1. トレースを有効または無効にする Microsoft Exchange Server を選択します。
2. Microsoft Exchange Server 上で **MSEX コレクション マネージャ**トレースの有効化ツールを実行して、トレースを有効にします。
3. Microsoft Exchange Server 上で **MSEX コレクション マネージャ**トレースの無効化ツールを実行して、トレースを無効にします。

管理対象ノードからの場合:

1. トレースを有効または無効にする、Microsoft Exchange Server をホストしているノードにログインします。
2. コマンド プロンプトから、次のコマンドを実行してトレースを有効にします。

```
cd %ovagentdir%\bin\instrumentation  
MsTraceUtil.exe -s MSEX -1 4
```

3. コマンド プロンプトから、次のコマンドを実行してトレースを無効にします。

```
cd %ovagentdir%\bin\instrumentation  
MsTraceUtil.exe -s MSEX -1 0
```

トレース ファイルの場所:

すべてのトレース ファイルは、%ovdatadir%\bin\MSEX\log フォルダに作成されます。次のようなさまざまなログファイルが作成されます。

検出ログファイル

- %ovdatadir%\bin\MSEX\log\Exchange_Basic_Discovery.log
- %ovdatadir%\bin\MSEX\log\Exchange_Discovery.log

スケジューリングとデータ コレクションに関連するログ ファイル

- %ovdatadir%\bin\MSEX\log\MSEX_[FREQ]_[ROLE]_COLL_Trace.log

FREQ: コレクションをスケジュールする頻度で、次のいずれかの値を指定できます (VERY_HIGH、HIGH、MEDIUM、LOW、DAILY)。

ROLE: コレクションをスケジュールする Exchange メールボックスの役割で、次のいずれかの値を指定できます (MB、CA、HUB、EDGE、UM)。

例

MSEX_LOW_CA_COLL_Trace

MSEX_HIGH_MB_COLL_Trace

- %ovdatadir%\bin\MSEX\log\MSEX_[COLL-ID]_COLL_Trace.log

例:

COLL-ID: スケジュールするコレクション ID。スケジュールタスクを使用するか、コマンド プロンプトから手動で特定のコレクションを実行する場合に、生成されます。

例: MSEX_C10008_COLL_Trace.log は、次のコマンドを実行すると生成されます。

```
%OvDataDir%\bin\instrumentation\MSEXCollectionManager.exe -s MSEX -c C10008 -o p
```

第4章: カスタマイズシナリオ

OMi Management Pack for Microsoft Exchange Server は、監視要件に合うようにカスタマイズできます。Exchange Server 管理テンプレートは、環境内の Microsoft Exchange Server の監視要件に合わせて編集または新規作成できます。ここでは、Microsoft Exchange Server でのカスタマイズについて説明します。

- [Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの作成](#)
- [Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの編集](#)


Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの作成

この項では、Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの作成方法について説明します。

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект]


2. [構成フォルダ] ペインで、**[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Exchange Server] > [管理テンプレート]** を選択します。
3. 新しい構成フォルダの作成が必要な場合は、* **[構成フォルダの作成]** をクリックします。[構成フォルダの作成] ペインが開きます。
4. 新しい構成フォルダの名前と説明を記載します。たとえば、新しい構成フォルダに <Test> という名前を付けることができます。
5. **[OK]** をクリックします。新しい構成フォルダが作成されます。
6. [管理テンプレートおよびアспект] ペインで、新しい構成フォルダを選択し、**[管理テンプレートの作成]** をクリックします。[管理テンプレートの作成] ウィンドウが開きます。
7. **[一般]** タブで、新しい管理テンプレートの名前およびバージョンを指定し、**[次へ]** をクリックします。
8. **トポロジ ビュー** タブで、ドロップダウンリストからトポロジ ビューを1つ選択します。たとえば、Exchange_Org_View を選択します。このトポロジ ビューには、この管理テンプレートを使用して管理するすべての CI タイプが表示されます。
9. トポロジ マップの項目をクリックするか、管理テンプレートに関連付けることができる CI タイプを **[CI タイプ]** ドロップダウンリストから選択します。たとえば、Exchange Organization を選択できます。

10. **【次へ】**をクリックします。
11. **【アスペクト】**タブで、管理テンプレートにアスペクトを追加します。既存のアスペクトを追加するには、以下の手順を実行します。
 - a. [次の CI タイプに一致する利用可能なアスペクト] ペインから追加するアスペクトを選択します。複数のアスペクトを選択するには、**【Ctrl】** キーまたは **【Shift】** キーを使用します。
 - b.  をクリックし、アスペクトを [選択したアスペクト] ペインに移動します。管理テンプレートにアスペクトが追加されます。

注: いずれかの Exchange アスペクトを使用している場合、管理テンプレートの一部として Exchange 検出および構成アスペクトを含める必要があります。このアスペクトは Windows CI タイプに割り当てられるため、Microsoft Exchange Server をホストしている Windows CIT を選択すれば、組み込むことができます。

12. **【次へ】**をクリックします。
13. **【パラメータ】**タブで、この管理テンプレートに追加したアスペクトにあるすべてのパラメータの一覧を参照できます。パラメータのデフォルト値を編集できます。

パラメータを編集するには、次の手順を実行します。

- a. パラメータをダブルクリックするか、リストから選択して  **【編集】** をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
- b. パラメータのデフォルト値を変更して、**【OK】** をクリックします。

注: Exchange 検出および構成アスペクトでは、パラメータとしてユーザ資格情報が必要になります。ユーザ資格情報はデフォルト値として指定できます。『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」を参照してください。

14. [管理テンプレートの作成] ウィンドウで **【完了】** をクリックします。新しい管理テンプレートが、[管理テンプレートおよびアスペクト] ペインに表示されます。

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの編集

Microsoft Exchange Server 管理テンプレートを編集して、以下のコンポーネントを変更できます。

- [パラメータ](#)
- [アスペクト](#)

パラメータの編集

事例: 現在、環境内で設定されている Microsoft Exchange Server を監視するため、基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートを使用しています。しきい値の高いメールフローの待機時間を監視しています。メールフローの待機時間を最小化します。メールフローの待機時間を監視するには、待機時間のしきい値 (秒) を監視する必要があります。

パラメータの編集は、デプロイメント前とデプロイメント後の 2 つのレベルで行うことができます。



デプロイメント前:

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Exchange Server] > [管理テンプレート]

3. リストから [基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート] を選択し、 をクリックします。[管理テンプレートの編集] ウィンドウが開きます。
4. Exchange メールフロー アスペクトを選択し、**[パラメータ]** タブをクリックします。[パラメータ] リストが表示されます。
5. 変更する**待機時間のしきい値 (秒)**のパラメータを選択し、 をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
6. [定数値 (数値)] セクションのデフォルトのしきい値を変更できます。**[OK]** をクリックします。
7. [管理テンプレートの編集] ウィンドウで、**[OK]** をクリックします。基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートのバージョンが 1 つ増加します。

デプロイメント後:

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

2. **[ビューの参照]** タブで、値を編集する CI を含む **Exchange_Org_View** を選択します。

3. CI のリストで、しきい値を変更する Exchange Mailbox Server CI を選択します。[割り当て詳細] ペインに、現在のパラメータ値が表示されます。
4. パラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a. 待機時間のしきい値 (秒) のパラメータをダブルクリックします。[パラメータの編集] ダイアログボックスが開きます。
 - b. 値を変更して、**[OK]** をクリックします。更新したパラメータが選択した CI に割り当てられます。

アスペクトの編集

事例: 現在、Microsoft Exchange Server デプロイメントの主要コンポーネントを監視するため、基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートを使用しています。基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートの一部であるアスペクトのうちいくつかは使用しません。この場合、次の手順で、管理テンプレートに関連付けられているアスペクトを削除できます。

基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートからアスペクトを削除するには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。
 2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Exchange Server] > [管理テンプレート] をクリックします。
 3. [基本 Microsoft Exchange 管理テンプレート] を選択し、 をクリックします。[管理テンプレートの編集] が表示されます。
 4. **[アスペクト]** タブをクリックします。基本 Microsoft Exchange Server 管理テンプレートに関連付けられているアスペクトが表示されます。
 5. [選択したアスペクト] ペインで削除するアスペクトを選択し、 をクリックして [利用可能なアスペクト] ペインにアスペクトを移動します。複数のアスペクトを選択するには、**[Ctrl]** キーまたは **[Shift]** キーを使用します。
- 注:** [選択したアスペクト] ペインから [利用可能なアスペクト] ペインにアスペクトを移動することで、管理テンプレートに関連付けられているアスペクトが削除されます。管理テンプレートから Exchange 検出および構成アスペクトを削除しないでください。
6. **[OK]** をクリックします。基本 Microsoft Exchange 管理テンプレートのバージョンが 1 つ増加します。

第5章:トラブルシューティング

この項では、トラブルシューティングについて説明します。一部のトラブルシューティング手順は、管理対象ノード上で実行する必要があります。

Microsoft Exchange エッジ サーバの検出が失敗する

問題: %ovdatadir%\log\system.txt ファイルに次のエラーが報告されて検出が失敗します。

```
agtrep (6344/912):(agtrep-149) Runtime exception occurred when executing command = C
:\Windows\system32\cmd.exe /C ""C:/ProgramData/HP/HP BTO Software/bin/instrumentati
on/Exchange_Discovery.exe"" :"(xpl-153) LogonUser(domain\exuser1) failed."
```

```
0: ERR:Wed Sep 10 14:51:58 2014:agtrep (6344/912):(agtrep-133) No output received f
rom discovery policy action
```

解決策: 次の手順を実行して、Exchange 検出および構成アスペクトに指定されたユーザ資格情報の誤りを修正してください。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整]

2. **[ビューの参照]** タブで **Exchange_Org_View** を選択します。
3. ビューを展開し、Microsoft Exchange エッジ サーバをホストしているノードを選択します。
4. [割り当て] ペインで、**[Exchange 検出および構成]** アスペクトを選択します。これで [割り当ての詳細] ペインにパラメータと値が表示されます。
5. 前提条件の項で説明するように、ユーザ名とパスワードを編集してユーザ資格情報を入力します。
6. これらの新しいユーザ資格情報は、Microsoft Exchange エッジ サーバの管理テンプレートで使用されます。

ノード上の Exchange Server CI が BSM コンソールに表示されない

問題: Exchange Server CI が BSM コンソールに表示されません。

解決策: 検出を確認するには、以下の手順を実行します。

1. 管理対象ノード上に次のアスペクトがデプロイされているかどうかを確認します。
 - Exchange 検出
 - Exchange 検出および構成
2. Microsoft Exchange アスペクトがデプロイされていない場合、これらのアスペクトを1つずつ管理対象

ノード上にデプロイします。

注: Exchange 検出および構成アспектでは、ユーザ資格情報が必要になります。『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」で説明するように、必要なユーザ資格情報を指定します。

3. エラーがない場合、次の手順を実行します。
 - a. agtrep フォルダを除く%ovdatadir%/tmp/agtrep フォルダの下にあるすべてのファイルを削除します。
 - b. コマンド プロンプトで ovagtrep -clearall を実行します。
 - c. 管理対象ノード上に次のアспектを再デプロイします。
 - Exchange 検出
 - Exchange 検出および構成
4. 問題が継続する場合は、次のログファイルで報告されたエラーをチェックします。
 - %ovdatadir%\bin\MSEX\log\Exchange_Basic_Discovery.log
 - %ovdatadir%\bin\MSEX\log\Exchange_Discovery.log
 - %ovdatadir%\log\System.txt

複数のデータソース

問題: EXSPI_DATA データソースの重複したエントリがあります。

解決策: 前にノードが Smart Plug-In for Microsoft Exchange Server によって管理されていて、古いデータソースが削除されていない場合、複数のエントリを確認できます。次の手順を実行して、SPI データソースを削除してください。

1. データソースを削除する前に、HP Reporter または使用しているその他のレポート ソリューション上の Smart Plug-In for Microsoft Exchange Server データソースのバックアップを取ります。たとえば、HP Reporter 上で gathercoda -h <ホスト名> コマンドを使用します。
2. 管理対象ノード上で、テキスト エディタを使用して %ovdatadir%\conf\perf\datasources ファイルを開きます。
3. ファイルに次のエントリがあることを確認します。

```
DATASOURCE=EXSPI_DATA LOGFILE="C:\ProgramData\HP\HP BTO Software\bin\EXSPI\dsi\log\EXSPI_DATA.log"
```

4. ファイルに前述のエントリが含まれている場合、以下の手順を実行します。それ以外の場合は、手順 5 を実行します。

- a. %ovdatadir%\conf\dsi2ddf\nocoda.opt ファイルを開きます。このファイルが存在しない場合は、作成します。ファイルの拡張子が txt でなく、opt であることを確認します。
- b. EXSPI_DATA エントリをこのファイルに追加して保存します。
- c. コマンド プロンプトから次のコマンドを実行します。

```
ddfutil "C:\ProgramData\HP\HP BTO Software\bin\EXSPI\dsi\log\EXSPI_DATA.log"  
-rm all
```

- d. ファイルから EXSPI_DATA エントリを削除し、%ovdatadir%\conf\dsi2ddf\nocoda.opt を保存します。

5. %ovdatadir%\conf\dsi2ddf\ddf1bd.mwc ファイルに次のエントリがあることを確認します。

```
DATASOURCE=EXSPI_DATA LOGFILE="C:\ProgramData\HP\HP BTO Software\bin\EXSPI\dsi  
\log\EXSPI_DATA.log"
```

6. ファイルに前述のエントリが含まれている場合、コマンド プロンプトから次のコマンドを実行します。

```
ddfutil "C:\ProgramData\HP\HP BTO Software\bin\EXSPI\dsi\log\EXSPI_DATA.log" -r  
m all
```

データ ログ

問題: Exchange クラスのデータがログに記録されません。

解決策: 原因を特定するには、次の手順を実行します。

1. データがログに記録されないクラスまたはテーブルを特定します。クラスまたはテーブルに関連付けられているアспектとポリシー テンプレートを特定するには、「[付録: メトリックとデータストア](#)」を参照してください。

たとえば、Exchange 2013 サーバの EXSPI_MDBPERF クラスのデータがログに記録されないとします。「付録: メトリックとデータストア」の項に基づき、アспектとポリシー テンプレート名を以下のように特定できます。

アспект: Exchange メールボックス データベース

ポリシー テンプレート名: MSEX_MailboxDB_Conf

2. このアспектがノードに割り当てられているかどうかを確認します。割り当てられていない場合、アспектを管理対象ノードに割り当てます。これで、データコレクションがスケジュールされます。アспектがすでに割り当てられている場合は、次の手順に進みます。

3. 管理対象ノード上で、コマンド プロンプトから `ovpolicy -list -poltype configfile` コマンドを実行します。出力に `MSEX_MailboxDB_Conf` ポリシー テンプレートがあるかどうかを確認します。ない場合、Exchange メールボックス データベース アスペクトを再 デプロイします。ポリシー テンプレートがすでにデプロイされている場合は、次の手順に進みます。
4. Exchange 検出および構成アスペクトが必要な資格情報を使用してノードにデプロイされているかどうかを確認します。ユーザ資格情報の詳細は、『OMi MP for Microsoft Exchange Server インストールガイド』の「ユーザ権限」を参照してください。デプロイされていない場合、正しい資格情報でアスペクトを再 デプロイします。アスペクトがすでに必要な資格情報を使用してデプロイされている場合は、次の手順に進みます。
5. 次の手順を実行して、コレクションを手動で実行します。

- a. Microsoft Exchange Server 上で **MSEX コレクション マネージャ**トレースの有効化 ツールを実行して、トレースを有効にします。
- b. **【管理】 > 【オペレーション管理】 > 【モニタリング】 > 【管理テンプレートおよびアスペクト】**に移動します。
- c. **Exchange メールボックス データベース アスペクト**を選択します。
- d. Exchange メールボックス データベース アスペクトにグループ化されているポリシーのリストから、**MSEX_MailboxDB_Conf** ポリシー テンプレートを選択します。これは ConfigFile ポリシー テンプレートです。
- e. ポリシーを開いてスケジュールするコレクションを特定します。この場合、以下のような詳細のコレクションが1つあります。

コレクション名 = `MSEX_CollMbdbPerf`

コレクション ID = `MSEX_C10008`

コレクションの役割 = `MB`

- f. Microsoft Exchange 管理者として管理対象ノードにログオンします。
- g. 管理対象ノード上で、コマンド プロンプトから次のコマンドを実行します。

```
%OvDataDir%\bin\instrumentation\MSEXCollectionManager.exe -s MSEX -c C10008 -o p
```

Microsoft Exchange 管理者ユーザが上記のコマンドを実行できる場合、コマンドはデータを返します。このため、問題はデプロイ中に管理テンプレートまたはアスペクトに指定されたユーザ資格情報にある可能性があります。Exchange 検出および構成アスペクトに割り当てられているユーザ資格情報を確認してください。[「タスク 6b: Microsoft Exchange Server 管理テンプレートの特](#)

[定とデプロイ](#)を参照し、Exchange 検出および構成アスペクトに必要なユーザ資格情報を使用して再デプロイします。

- h. 詳細については、%ovdatadir%\bin\MSEX\log ディレクトリの MSEX_C10013_COLL_Trace.log トレースファイルを確認してください。
- i. **MSEX コレクション マネージャトレースの無効化** ツールを実行して、分析後のトレースを無効にします。

イベントを受信しない

問題: Microsoft Exchange 管理テンプレートのイベントを受信しません。

解決策: すべてのノードの管理テンプレートまたはアスペクトのデプロイメントを確認します。デプロイメントを確認するには、以下の手順を実行します。

1. 警告が生成されない Exchange Server テンプレートを特定します。
2. コマンド プロンプトで ovpolicy -list -all コマンドを実行します。出力にテンプレートがあるかどうかを確認します。
3. ポリシー テンプレートがデプロイされていない場合、アスペクトまたは管理テンプレートを再デプロイします。
4. Microsoft Exchange Server 上で **MSEX コレクション マネージャトレースの有効化** ツールを実行して、トレースを有効にします。詳細については、%ovdatadir%\bin\MSEX\log フォルダに作成されたログファイルを確認してください。
5. **MSEX コレクション マネージャトレースの無効化** ツールを実行して、分析後のトレースを無効にします。

付録: メトリックとデータストア

データストアは、メトリック データを格納する方法を定義します。

2010 用のデータストア

OMi MP for Microsoft Exchange Server では、データコレクション手順を容易にするために、ノード上のデータストアに Microsoft Exchange Server 2010 メトリック用の次のデータテーブルを作成します。

データストア のテーブル	アスペクト名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
EXSPI_ BLOCKEDRC PTS	Exchange ブロック データ	MSEX_ BlockedDat a_Conf_2010	TIMESTAMP	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			RECIPIENTADDRE SS	TEXT
			AGENT	TEXT
			REASON	TEXT
			REASONDATA	TEXT
			ISHUBTRANSPORT SERVER	TEXT
EXSPI_ BLOCKEDMA ILS	Exchange ブロック データ	MSEX_ BlockedDat a_Conf_2010	TIMESTAMP	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			IPADDRESS	TEXT
			SENDERADDRESS	TEXT

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
			ACTION_TAKEN	TEXT
			REASON	TEXT
			REASONDATA	TEXT
			DOMAIN	TEXT
			AGENT	TEXT
			ISHUBTRANSPORT SERVER	TEXT
			REMOTEENDPOIN T	TEXT
			MESSAGEID	TEXT
EXSPI_ AVAILABILITY	Exchange 可用性	MSEX_ Availability_ Conf_2010	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			SERVER_ROLE	TEXT
			AVAILABILITY	UINT64
EXSPI_ ATTACHFIL T ER	Exchange トランスポート フィルタ	MSEX_ TransportFilt er_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MSGFILTERPERSE C	UINT64
			MSGATT_ FILTERED	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
EXSPI_ CONNFILTER	Exchange トランスポート フィルタ	MSEX_ TransportFilt er_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			CONNIPALLOWLIST	UINT64
			CONNIPBCKLISTPV D	UINT64
			CONNIPBCKLIST	UINT64
			CONNIPALLOWLIS TPVD	UINT64
EXSPI_ CONTFILTER	Exchange トランスポート フィルタ	MSEX_ TransportFilt er_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MSGWITHSCL1	UINT64
			MSGWITHSCL0	UINT64
			MSGWITHSCL2	UINT64
			MSGWITHSCL3	UINT64
			MSGWITHSCL4	UINT64
			MSGWITHSCL5	UINT64
			MSGWITHSCL6	UINT64
			MSGWITHSCL7	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			MSGWITHSCL8	UINT64
			MSGWITHSCL9	UINT64
			MSGQUARANTINE D	UINT64
			MSGDELETED	UINT64
			MSGBYPASSSCAN	UINT64
			MSGSCANNED	UINT64
			MSGREJECTED	UINT64
EXSPI_ ISCLIENT	Exchange RPC / パフォーマンス	MSEX_ RPCclients_ Conf_2010	ISC_NAME	TEXT
			ISCLATENCY10	UINT64
			ISCLATENCY5	UINT64
			ISCLATENCY2	UINT64
			ISRPCATTEMPT	UINT64
			ISRPCSUCCEED	UINT64
			ISRPCFAIL	UINT64
			ISRPCFUNAV	UINT64
			ISRPCFBUSY	UINT64
			ISRPCFCANCEL	UINT64
			ISRPCFCALLFAIL	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			ISCRPCFACCESSD ENY	UINT64
			ISCRPCFOTHER	UINT64
EXSPI_ MFLAT	Exchange メールフロー	MSEX_ MailFlow_ Conf_2010	ORIGIN_SERVER	TEXT
			ORIGIN_SITE	TEXT
			DESTIN_SERVER	TEXT
			DESTIN_SITE	TEXT
			LATENCY_ SECONDS	REAL64
			RESULT	UINT64
			ISREMOETEST	TEXT
			STATUS	TEXT
EXSPI_ PRTAGT	Exchange SMTP	MSEX_ SMTPPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			SENBCK_ LOPNXY	UINT64
			SENBCK_ LCKEDRSRL	UINT64
			SENBCK_ ROPNXY	UINT64
			SENBCK_ LCKEDLSRL	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			SEENDBYPASS_ LSRLCALC	UINT64
			SENDPROCESSED	UINT64
EXSPI_ RECPFILTER	Exchange 受信者フィルタ	MSEX_ RecipientPer f_Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			RECPREJ_ RECPVLDATION	UINT64
			RECPREJ_ BCKLIST	UINT64
EXSPI_ SENDERID	Exchange 送信者 ID フィルタ	MSEX_ SenderPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MSGBYPASSED	UINT64
			MSGSOFTFAILED	UINT64
			MSGNEUTRALRES ULT	UINT64
			MSGFAILMALDOM AIN	UINT64
			MSGVALIDATED	UINT64
			MSGPASSRESULT	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			MSGTEMPERROR	UINT64
			MSGNONERESULT	UINT64
			MSGFAIL_ NONEXISTDMN	UINT64
			MSGPERMERROR	UINT64
			MSGMISSORGIP	UINT64
			MSGWITHNOPRA	UINT64
			MSGFAIL_ NOTPERMIT	UINT64
EXSPI_ UMAVAILABI LITY	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	INSTANCE_ NAME	TEXT
			CALLS_DISCN_ EXT_ERR	UINT64
			CALLS_DISCN_ INT_ERR	UINT64
			HUB_ACCESS_ FAIL	UINT64
			MSERV_ACCESS_ FAIL	UINT64
			DIR_ACCESS_ FAIL	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
EXSPI_ UMFAX	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			FAX_MSG	UINT64
			FAX_INCOMPLETE	UINT64
			PCT_SUCCESS_ CALLS	REAL64
EXSPI_ UMGENERAL	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	DELAYED_CALLS	UINT64
			TOTAL_CALLS	UINT64
			INSTANCE_NAME	TEXT
EXSPI_ UMHUNT	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMHUNT_PILOT	TEXT
			UMHUNT_DIAL	TEXT
			UMHUNT_NAME	TEXT
EXSPI_ UMIPGWAY	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMIPGWAY_ADD	TEXT
			UMIPGWAY_OUT	TEXT
			UMIPGWAY_EN	TEXT
			UMIPGWAY_PORT	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			UMIPGWAY_SIM	TEXT
			UMIPGWAY_ NAME	TEXT
EXSPI_ UMPIN	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMPIN_USER	TEXT
			UMPIN_EXP	TEXT
			UMPIN_FRST	TEXT
			UMPIN_LOCK	TEXT
EXSPI_ UMSRV	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMSRV_NAME	TEXT
			UMSRV_CALLS	UINT64
			UMSRV_FAX	UINT64
			UMSRV_TTS	UINT64
			UMSRV_ASR	UINT64
			UMSRV_STATUS	TEXT
EXSPI_ UMSUBACCE SS	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			VOICE_MSG_ SENT	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			EMAIL_MSGQ_ ACCESSED	UINT64
			AVER_SUB_CALL_ DURA	UINT64
			EMAIL_MSG_ HEARD	UINT64
EXSPI_ PFDETAIL	Exchange パブリックフォルダ	MSEX_ PublicFolder_ Conf_2010	PF_NAME	TEXT
			PF_SVRNAME	TEXT
			PF_DBNAME	TEXT
			PF_SIZE	UINT64
			PF_POSTCOUNT	UINT64
			PF_LASTACCESS	TEXT
EXSPI_ PFSUMMARY	Exchange パブリックフォルダ	MSEX_ PublicFolder_ Conf_2010	INSTANCE_KEY	TEXT
			DATABASE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			EDBPATH	TEXT
			EDBSIZE	REAL64
			EDBFREE	REAL64
			EDBTOTAL	REAL64
			FOLDER_COUNT	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			FOLDER_MSGCNT	UINT64
EXSPL_ RECFILTER	Exchange 受信者フィルタ	MSEX_ RecipientPer f_Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			RECPREJ_ RECPVLDATION	UINT64
			RECPREJ_BCKLIST	UINT64
EXSPL_ REPLSUMM	Exchange レプリケーション	MSEX_ Replication_ Conf_2010	REPL_IDENTITY	TEXT
			REPL_STATUS	TEXT
			REPL_ LSTCPLOGTIME	TEXT
			REPL_ LSTINSLOGTIME	TEXT
			REPL_ LSTRPLLOGTIME	TEXT
			REPL_LSTLOGGEN	TEXT
			REPL_LSTLOGCP	TEXT
			REPL_LSTLOGINS	UINT64
			REPL_LSTLOGRPL	UINT64
			REPL_ LSTBCKPTIME	UINT64
			REPL_ LSTIBCKPTIME	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			REPL_CPQLEN	UINT64
			REPL_RPLQLEN	UINT64
EXSPI_ SMTPSEND	Exchange SMTP	MSEX_ SMTPPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			ADMINDISPLAY_ NAME	TEXT
			SMTPBYTESEND	UINT64
			SMTPMSGSEND	UINT64
			SMTPMSGBYTESE ND	UINT64
			SMTPCONNCURR	UINT64
			SMTPCONNTOT	UINT64
EXSPI_ SMTPRECV	Exchange SMTP	MSEX_ SMTPPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			ADMINDISPLAY_ NAME	TEXT
			SMTPBYTERECV	UINT64
			SMTPMSGRECV	UINT64
			SMTPMSGBYTERE CV	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			SMTPCONNCURR	UINT64
			SMTPCONNTOT	UINT64
EXSPI_ SENDFILTER	Exchange 送信者 ID フィルタ	MSEX_ SenderPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MSGEVALUATED	UINT64
			MSGFILTERED	UINT64
EXSPI_ SPAMSTATS	Exchange SPAM 統計	MSEX_ ContentFilt er_Conf_2010	TIMESTAMP	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			INSTANCE	UINT64
			DELETED	UINT64
			QUARANTINED	UINT64
			REJECTED	UINT64
EXSPI_ AGCFG	Exchange トランスポート	MSEX_ Transport_ Conf_2010	AGCFG_ID	TEXT
			AGCFG_EN	TEXT
			AGCFG_PRI	UINT64
EXSPI_ DATABASES UMM	Exchange データベースの整合性	MSEX_ DBStatus_ Conf_2010	DB_IDENTITY	TEXT

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			DB_STATUS	TEXT
			DB_STATUSVALUE	UINT64
			DB_CISTATE	UINT64
			DB_STATE	UINT64
EXSPI_DEST	Exchange 週次統計	MSEX_SCH_ TopDestinati on	DEST_ADDR	TEXT
			DOMAIN_NAME	TEXT
			DEST_KEY	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			IS_INTERNAL	TEXT
			NUM_BYTES_DR	UINT64
			NUM_MSGS_DR	UINT64
EXSPI_ IMAP4PERF	Exchange IMAP4	MSEX_IMAP_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			ADMINDISPLAY_ NAME	TEXT
			IMAP4CON	UINT64
			IMAP4FAILEDCON	UINT64
			IMAP4REJECTEDC ON	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
EXSPI_ ISPERF	Exchange Information Store	MSEX_ StorePerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			RPCREQUESTS	UINT64
			RPCOPERATIONSP ERSEC	UINT64
			ISVMLARGESTBLO CK	UINT64
			ISVMLARGEFREEB B	UINT64
			ISVM16MBFREE	UINT64
			ISUSERCNT	UINT64
			ISCONNECTCNT	UINT64
			ISANONUSERCNT	UINT64
			ISACTIVEUSERCNT	UINT64
			ISACTIVECONNECT CNT	UINT64
			ISACTIVEANONUSE RCNT	UINT64
			EXCHMEMADDHEA PS	UINT64
			EXCHMEMHEAPER R	UINT64
			EXCHMEMMEMER R	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
EXSPI_ MBDETAIL	Exchange メールボックス	MSEX_ MailboxDat a_Conf_2010	MB_IDENTITY	TEXT
			MB_NAME	TEXT
			MB_SVRNAME	TEXT
			MB_DBNAME	TEXT
			MB_SIZE	UINT64
			MB_MSGCOUNT	UINT64
			MB_LASTACCESS	TEXT
			MB_DISCONNECT	TEXT
			MB_DELCOUNT	UINT64
			MB_DELSIZE	UINT64
			MB_STGLIMIT	TEXT
			MB_DAGNAME	TEXT
EXSPI_ MBPERF	Exchange Information Store	MSEX_ StorePerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MBDELIVERYTIME	UINT64
			MBLOCALDELIVER	UINT64
			MBDELIVER	UINT64
			MBSSENT	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			MBSUBMITTED	UINT64
			MBRECIPIENT	UINT64
			MBACTIVELOGON	UINT64
			MBLOGON	UINT64
			MBLOGONPEAK	UINT64
			MBRECOVERITEM S	UINT64
			MBRECOVERSIZE	UINT64
EXSPI_ MBSUMMAR Y	Exchange メールボックス	MSEX_ MailboxDat a_Conf_2010	INSTANCE_KEY	TEXT
			DATABASE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			EDBPATH	TEXT
			EDBSIZE	UINT64
			EDBFREE	UINT64
			EDBTOTAL	UINT64
			MAILBOX_USRCNT	UINT64
			MAILBOX_MSGCNT	UINT64
			DAG_NAME	TEXT

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
EXSPI_ PFPERF	Exchange /パブリック フォルダ	MSEX_ PublicFolder Perf_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			PFDELIVERYTIME	UINT64
			PFDELIVER	UINT64
			PFSENT	UINT64
			PFSUBMITTED	UINT64
			PFRECIPIENT	UINT64
			PFACTIVELOGON	UINT64
			PFLOGON	UINT64
			PFLOGONPEAK	UINT64
			PFRECOVERITEMS	UINT64
			PFRECOVERSIZE	UINT64
			PFREPRCVD	UINT64
			PFREPRESENT	UINT64
PFREPQ	UINT64			
EXSPI_ POP3PERF	Exchange POP3	MSEX_ Pop3Perf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT

データストア のテーブル	アспект名	ポリシーテン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			ADMINDISPLAY_ NAME	TEXT
			POP3CON	UINT64
			POP3FAILEDCON	UINT64
			POP3REJECTEDCO N	UINT64
			POP3DELE	UINT64
			POP3RETR	UINT64
EXSPI_RECIP	Exchange 週次統計	MSEX_SCH_ TopRecipien	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			MBOX_NAME	TEXT
			EMAIL_ADDR	TEXT
			NUM_BYTES_RR	TEXT
			NUM_MSGS_RR	TEXT
			DAG_NAME	TEXT
EXSPI_ SENDER	Exchange 週次統計	MSEX_SCH_ TopSender	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			MBOX_NAME	TEXT
			EMAIL_ADDR	TEXT
			NUM_BYTES_SR	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
			NUM_MSGS_SR	UINT64
			DAG_NAME	TEXT
EXSPI_ SOURCE	Exchange 週次統計	MSEX_SCH_ TopSource	SOURCE_ADDR	TEXT
			DOMAIN_NAME	TEXT
			SOURCE_KEY	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			IS_INTERNAL	TEXT
			NUM_BYTES_SRC	UINT64
			NUM_MSGS_SRC	UINT64
EXSPI_ TRANSQ	Exchange トランスポート キュー	MSEX_ TransportQu eue_Conf_ 2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			ACT_MDQ_ LENGTH	UINT64
			ACT_NonSMTP_ DQLENG	UINT64
			POISON_Q_ LENGTH	UINT64
			RET_MD_Q_LEN	UINT64
			RETRY_ NONSMTP_QLEN	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
			SUB_Q_LENGTH	UINT64
			UNREACH_Q_LENGTH	UINT64
			AGGDEL_ALLQ_LEN	UINT64
			ACT_REM_DQLength	UINT64
			RET_REM_DQLength	UINT64
			LARG_DQ_LENGTH	UINT64
			SERVER_NAME	TEXT
EXSPI_UMAUTO_ATTENDENT	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_UnifiedMessaging_Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			BUSS_HR_CALLS	UINT64
			OPER_TRANSFERS	UINT64
			OUT_OF_HR_CALLS	UINT64
			AVERAGE_CALL_TIME	TEXT
EXSPI_UMCALLANSWER	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_UnifiedMessaging_Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			AV_VMSG_SIZE	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			CALL_ ANSMISSED_ CALLS	UINT64
EXSPI_ UMMBOX	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMMBOX_ NONUSR	TEXT
			UMMBOX_ ANONYCALL	TEXT
			UMMBOX_SPCH	TEXT
			UMMBOX_DIAL	TEXT
			UMMBOX_DNAME	TEXT
			UMMBOX_FAX	TEXT
			UMMBOX_ MISSCALL	TEXT
			UMMBOX_NAME	TEXT
			UMMBOX_ PRISMTP	TEXT
			UMMBOX_SNAME	TEXT
			UMMBOX_SUBACC	TEXT
			UMMBOX_ TUIBOOK	TEXT
			UMMBOX_TUICALL	TEXT
			UMMBOX_TUIMAIL	TEXT
			UMMBOX_EN	TEXT

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			UMMBOX_MPOL	TEXT
			UMMBOX_OPER	TEXT
EXSPI_ UMPLCY	Exchange ユニファイド メッセージング	MSEX_ UnifiedMess aging_Conf_ 2010	UMPLCY_GREET	UINT64
			UMPLCY_FAXID	TEXT
			UMPLCY_LOGON	TEXT
			UMPLCY_COMPT	TEXT
			UMPLCY_PNLIFE	TEXT
			UMPLCY_PNHIST	UINT64
			UMPLCY_PASS	UINT64
			UMPLCY_DIAL	TEXT
			UMPLCY_SUBSC	TEXT
			UMPLCY_PNRST	UINT64
			UMPLCY_MSCALL	TEXT
			UMPLCY_FLAG	UINT64
			UMPLCY_NAME	TEXT
EXSPI_ FDSOAB	Exchange オンライン住所録	MSEX_ FDSOABPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			TASK_QUEUED	UINT64

データストア のテーブル	アспект名	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックの データ タイプ CODA / PA
			TASKS_ COMPLETED	UINT64
EXSPI_ FDSUM	Exchange オンライン住所録	MSEX_ FDSOABPerf_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			TASK_QUEUED	UINT64
			TASKS_ COMPLETED	UINT64
EXSPI_ HUBTRANSD SN	Exchange トランスポート	MSEX_ Transport_ Conf_2010	INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			FAIL_DSNs_TOTAL	REAL64
			FAIL_DSNs_TOTAL	REAL64

2013 用のデータストア

OMi MP for Microsoft Exchange Server では、データコレクション手順を容易にするために、ノード上のデータストアに Microsoft Exchange Server 2013 メトリック用の次のデータテーブルを作成します。

データストアの テーブル	アспект	ポリシー テン プレート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
EXSPI_MAPICLK	Exchange IMAP4	MSEX_MAPI_Conf	MAPIKEY	TEXT
			MAPISRV	TEXT
			MAPIDB	TEXT

データストアの テーブル	アспект	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			MAPIRSLT	UINT64
			MAPILAT	UINT64
			MAPIERR	TEXT
EXSPI_ AVAILABILITY	Exchange 可用 性	MSEX_ Availability_Conf	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			SERVER_ROLE	TEXT
			AVAILABILITY	TEXT
EXSPI_ ASYNCPERF	Exchange Active Sync パフォーマンス	MSEX_ ActiveSync_Perf_ Conf	MSEX_ ACTKEY	Text
			MSEX_ ACTSRV	Text
			MSEX_ ACTDB	Text
			MSEX_ ACTRSLT	UINT64
			MSEX_ ACTLAT	UINT64
			MSEX_ ACTERR	TEXT
EXSPI_ IMAPCHK	Exchange IMAP4	MSEX_ IMAP_Conf	IMAPKEY	TEXT
			IMAPSRV	TEXT
			IMAPDB	TEXT
			IMAPRSLT	UINT64
			IMAPLAT	UINT64
			IMAPERR	TEXT

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
EXSPI_ IMAP4PERF	Exchange IMAP4	MSEX_IMAP_Conf	MAPIKEY	TEXT
			APISRV	TEXT
			MAPIIDB	TEXT
			MAPIRSLT	UINT64
			MAPILAT	UINT64
			MAPIERR	TEXT
EXSPI_ MDBPERF	Exchange メール ボックス	MSEX_ MailboxData_ Conf	MDBNAME	TEXT
			MDBTBOPEN	REAL64
			MDBTBCLS	REAL64
			MDBLGBYWR	REAL64
			MDBLGBYGEN	REAL64
			MDBLGTHWT	UINT64
			MDBLGRECSTL	REAL64
			MDBVERBK	UINT64
			MDBCHMISS	REAL64
			MDBCHHIT	REAL64
			MDBPFLTST	REAL64
			MDBCHSZ	UINT64
			MDBIOARD	REAL64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			MDBIOARAL	REAL64
			MDBIORRD	REAL64
			MDBIORALREC	REAL64
			MDBIORD	REAL64
			MDBIORAL	REAL64
			MDBIOLRD	REAL64
			MDBIOLRAL	REAL64
			MDBIOAWR	REAL64
			MDBIOAWAL	REAL64
			MDBIORWR	REAL64
			MDBIORWAL	REAL64
			MDBIOWR	REAL64
			MDBIOWAL	REAL64
			MDBIOLWR	REAL64
			MDBIOLWAL	REAL64
EXSPI_MFLAT	Exchange メール フロー	MSEX_MailFlow_ Conf	ORIGIN_SERVER	TEXT
			ORIGIN_SITE	TEXT
			DESTIN_SERVER	TEXT
			DESTIN_SITE	TEXT
			LATENCY_SECONDS	REAL64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			STATUS	TEXT
EXSPI_OWACHK	Exchange OWA	MSEX_OWA_Conf	OWAKEY	TEXT
			OWASRV	TEXT
			OWADB	TEXT
			OWARSLT	UINT64
			OWALAT	UINT64
			OWAERR	TEXT
EXSPI_POPCHK	Exchange POP3	MSEX_Pop3Perf_ Conf	POPKEY	TEXT
			POPSRV	TEXT
			POPDB	TEXT
			POPRSLT	UINT64
			POPLAT	UINT64
			POPERR	TEXT
EXSPI_ SERVSTAT	Exchange サービス 可用性	MSEX_Services_ Conf.	SERVNAME	TEXT
			SRVDISPNAME	TEXT
			SERVSTATUS	TEXT
			SERVSTATE	UINT32
EXSPI_ DATA:EXSPI_ TRNDBPERF	Exchange トラン スポート	MSEX_Transport_ Conf	TRDBNAME	TEXT
			TRDBTHWT	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			TRDBLGCKP	UINT64
			TRDBRCSTS	REAL64
			TRDBVERBK	UINT64
			TRDBIODRS	REAL64
			TRDBDRAL	REAL64
			TRDBLGRDS	REAL64
			TRDBLGRAL	REAL64
			TRDBWRSC	REAL64
			TRDBWRAL	REAL64
			TRDBLGWRS	REAL64
			TRDBLGWAL	REAL64
EXSPI_UMAVAIL	Exchange ユニ ファイド メッセー ジング	MSEX_ UnifiedMessagin g_Conf	INSTANCE	TEXT
			HUB_ACCESS_FAIL	REAL64
			DIR_ACCESS_FAIL	REAL64
			CALLS_DISCN_EXT_ ERR	REAL64
			CALLS_DISCN_INT_ERR	REAL64
			MSERV_ACCESS_FAIL	REAL64
EXSPI_ BLOCKEDRCPTS	Exchange ブ ロック データ	MSEX_ BlockedData_ Conf	TIMESTAMP	TEXT

データストアの テーブル	アспект	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			SERVER_NAME	TEXT
			RECIPIENTADDRESS	TEXT
			AGENT	TEXT
			REASON	TEXT
			REASONDATA	TEXT
			ISHUBTRANSPORTSERVE R	TEXT
EXSPI_PFDDETAIL	Exchange パブ リック フォルダ	MSEX_ PublicFolder_Conf	PF_NAME	TEXT
			PF_SVRNAME	TEXT
			PF_DBNAME	TEXT
			PF_SIZE	UINT64
			PF_POSTCOUNT	UINT64
			PF_LASTACCESS	TEXT
EXSPI_ PFSUMMARY	Exchange パブ リック フォルダ	MSEX_ PublicFolder_Conf	INSTANCE_KEY	TEXT
			DATABASE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			EDBPATH	TEXT
			EDBSIZE	UINT64
			EDBFREE	UINT64
			EDBTOTAL	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			FOLDER_COUNT	UINT64
			FOLDER_MSGCNT	UINT64
EXSPI_ CLIENTPERF	Exchange RPC パ フォーマンス	MSEX_ RPCClients_Conf	RPCCLIENTINST	TEXT
			RPCACTUSERCNT	UINT64
			RPCCNNCNT	UINT64
			RPCCLRPCATM	UINT64
			RPCCLSUC	UINT64
			RPCCLFAILED	UINT64
			RPCCLLTGT2	UINT64
			RPCCLLTGT5	UINT64
			RPCCLLTGT10	UINT64
			RPCOPRSEC	UINT64
			RPCPACKSEC	UINT64
			RPCCLREQ	UINT64
			RPCCLAVGLAT	UINT64
			RPCDISOPRSEC	UINT64
			RPCDISQLEN	UINT64
EXSPI_ REPLSUMM	Exchange レプリ ケーション	MSEX_ Replication_Conf	REPL_IDENTITY	TEXT
			REPL_STATUS	TEXT
			REPL_LSTCPLOGTIME	TEXT

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			REPL_LSTINSLOGTIME	TEXT
			REPL_LSTRPLLOGTIME	TEXT
			REPL_LSTLOGGEN	UINT64
			REPL_LSTLOGCP	UINT64
			REPL_LSTLOGINS	UINT64
			REPL_LSTLOGRPL	UINT64
			REPL_LSTBCKPTIME	UINT64
			REPL_LSTIBCKPTIME	UINT64
			REPL_CPQLEN	UINT64
			REPL_RPLQLEN	UINT64
EXSPI_ SMTPSEND	Exchange SMTP	MSEX_SMTPPerf_ Conf	INSTANCE_NAME	TEXT
			SMTPCONNCURR	UINT64
			SMTPCNCRSEC	UINT64
			SMTPCONNTOT	UINT64
			SMTPMSGSNSEC	UINT64
			SMTPMSGSEND	UINT64
			SMTPMSGBYTESEND	UINT64
			SMTPMBYSNSEC	UINT64
			SMTPBYTESEND	UINT64
			SMTPBYSNTSEC	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			SMTPRCPSENT	UINT64
			SMTPAVRCMSG	UINT64
			SMTPAMBYMSG	UINT64
			SMTPAVMSGCNN	UINT64
			SMTPAVBYCNN	UINT64
			SMTPDNSERR	UINT64
			SMTPCNNFAIL	UINT64
			SMTPSCKERR	UINT64
			SMTPPROCERR	UINT64
EXSPI_ SMTPRECV	Exchange SMTP	MSEX_SMTPPerf_ Conf	INSTANCE_NAME	TEXT
			SMTPCONNCURR	UINT64
			SMTPCNNCRSEC	UINT64
			SMTPCONNTOT	UINT64
			SMTPRECSEC	UINT64
			SMTPMSGRECV	UINT64
			SMTPMBYTERCSEC	UINT64
			SMTPMSGBYTERECV	UINT64
			SMTPAVBYMSG	UINT64
			SMTPAVRCMSG	UINT64
			SMTPAVBYTCN	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			SMTPAVMSGCN	UINT64
			SMTPBYTERVSEC	UINT64
			SMTPBYTERECV	UINT64
			INSTANCE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			MSGEVALUATED	UINT64
			MSGFILTERED	UINT64
EXSPI_ SPAMSTATS	Exchange 週次 統計	MSEX_SCH_ TopSource	INSTANCE	TEXT
			DELETED	TEXT
			QUARANTINED	UINT64
			REJECTED	UINT64
			SCANNED	UINT64
			MSGBYPASSED	UINT64
			MSGSCL0	UINT64
			MSGSCL1	UINT64
			MSGSCL2	UINT64
			MSGSCL3	UINT64
			MSGSCL4	UINT64
			MSGSCL5	UINT64
			MSGSCL6	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			MSGSCL7	UINT64
			MSGSCL8	UINT64
			MSGSCL9	UINT64
			MSGSCLUNK	UINT64
EXSPI_AGCFG	Exchange トラン スポート	MSEX_Transport_ Conf	AGCFG_ID	TEXT
			AGCFG_EN	TEXT
			AGCFG_PRI	UINT64
EXSPI_ BLOCKEDMAILS	Exchange ブ ロック データ	MSEX_ BlockedData_ Conf	TIMESTAMP	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			IPADDRESS	TEXT
			SENDERADDRESS	TEXT
			ACTION_TAKEN	TEXT
			REASON	TEXT
			REASONDATA	TEXT
			DOMAIN	TEXT
			AGENT	TEXT
			ISHUBTRANSPORTSERVE R	TEXT
			REMOTEENDPOINT	TEXT
			MESSAGEID	TEXT

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA			
EXSPI_ DATABASESUMM	Exchange データ ベースの整合性	MSEX_DBStatus_ Conf	DB_IDENTITY	TEXT			
			DB_STATUS	TEXT			
			DB_STATUSVALUE	UINT64			
			DB_CISTATE	UINT64			
			DB_STATE	UINT64			
EXSPI_DEST	Exchange 週次 統計	MSEX_SCH_ TopDestination	DEST_ADDR	TEXT			
			DOMAIN_NAME	TEXT			
			DEST_KEY	TEXT			
			SERVER_NAME	TEXT			
			ADSITE_NAME	TEXT			
			IS_INTERNAL	TEXT			
			NUM_BYTES_DR	UINT64			
			NUM_MSGS_DR	UINT64			
			EXSPI_ HUBTRANSDSN	Exchange トラン スポート	MSEX_Transport_ Conf	DSNINS	TEXT
						FAIL_DSNS_TOTAL	UINT64
DELAY_DSNS	UINT64						
DSNRELAY	UINT64						
DSNDEL	UINT64						
			DSNEXPND	UINT64			

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			DSNFAILHR	UINT64
			DSNDLYHR	UINT64
EXSPI_MBDETAIL	Exchange メール ボックス	MSEX_ MailboxData_ Conf	MB_IDENTITY	TEXT
			MB_NAME	TEXT
			MB_SVRNAME	TEXT
			MB_DBNAME	TEXT
			MB_SIZE	UINT64
			MB_MSGCOUNT	UINT64
			MB_LASTACCESS	TEXT
			MB_DISCONNECT	TEXT
			MB_DELCOUNT	UINT64
			MB_DELSIZE	UINT64
			MB_STGLIMIT	TEXT
			MB_DAGNAME	TEXT
EXSPI_ MBSUMMARY	Exchange メール ボックス	MSEX_ MailboxData_ Conf	INSTANCE_KEY	REAL64
			DATABASE_NAME	TEXT
			SERVER_NAME	TEXT
			EDBPATH	TEXT
			EDBSIZE	REAL64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			EDBFREE	REAL64
			EDBTOTAL	REAL64
			MAILBOX_USRCNT	UINT64
			MAILBOX_MSGCNT	UINT64
			DAG_NAME	TEXT
EXSPI_OWAPERF	Exchange OWA	MSEX_OWA_Conf	OWAINST	TEXT
			OWAAVGSCHTM	REAL64
			OWAAVGRESTM	REAL64
			OWARQLDPSEC	REAL64
			OWALGPSEC	REAL64
			OWAPXUSRQPSEC	REAL64
			OWAREQPSEC	REAL64
			OWASTRLGFLPER	REAL64
			OWAPXRESAVG	REAL64
EXSPI_POP3PERF	Exchange POP3	MSEX_Pop3Perf_Conf	INSTANCE_NAME	TEXT
			POP3FAILEDCON	UINT64
			POP3CON	UINT64
			POP3REJECTEDCON	UINT64
			POP3CONRT	UINT64
			POP3CONCUR	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			POP3UATHCN	REAL64
			POP3CURCN	UINT64
			POP3CNFAIL	UINT64
			POP3TTLCN	UINT64
			POP3ACTSSL	UINT64
			POP3SSLCN	UINT64
			POP3ATHFL	UINT64
			POP3ATHRT	UINT64
			POP3ATH TTL	REAL64
			POP3DELRT	UINT64
EXSPI_QINFO	Exchange トラン スポート キュー	MSEX_ TransportQueue_ Conf	QINFO_ID	TEXT
			QINFO_DLVTYPE	TEXT
			QINFO_NHCNNT	TEXT
			QINFO_NHDOMAIN	TEXT
			QINFO_MSGCNT	UINT64
			QINFO_LSTERR	TEXT
EXSPI_SOURCE	Exchange 週次 統計	MSEX_SCH_ TopSource	SOURCE_ADDR	TEXT
			DOMAIN_NAME	TEXT
			SOURCE_KEY	TEXT

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			IS_INTERNAL	TEXT
			NUM_BYTES_SRC	REAL64
			NUM_MSGS_SRC	UINT64
EXSPI_ STOREIPERF	Exchange Information Store	MSEX_StorePerf_ Conf	STINAME	TEXT
			STIRPCRQST	UINT64
			STIRPCRQSC	UINT64
			STIRPCRQFL	UINT64
			STIRPCRQFE	UINT64
			STIRPCRQFP	UINT64
			STIRPCRQOS	UINT64
			STIRPCRQSS	UINT64
			STIRPCLTTL	UINT64
			STIRPCLTAV	UINT64
			STIRPCSLRQ	UINT64
			STIRPCSPRQ	UINT64
			STIRPCSLTL	UINT64
			STIRPCSRQA	UINT64
			STIRPCBYST	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			STIRPCBYSA	UINT64
			STIRPCBYRC	UINT64
			STIRPCBYRA	UINT64
			STIROPRQST	UINT64
			STIROPRQCP	UINT64
			STIROPRQOS	UINT64
EXSPI_ STOREPERF	Exchange Information Store	MSEX_StorePerf_ Conf	STORENAME	UINT64
			RPCREQ	UINT64
			RPCOPPERSEC	REAL64
			RPCAVGLAT	REAL64
			ACTMBS	UINT64
			MSGDLPSEC	REAL64
			MSGSUBPSEC	REAL64
			MAPIMSGCRT	REAL64
			MAPIMSGOP	REAL64
			MAPIMSGMOD	REAL64
			PERRPCREQ	REAL64
			QRMCNT	UINT64
			NACTBGTSK	UINT64

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
EXSPI_TRANSQ	Exchange トラン スポート キュー	MSEX_ TransportQueue_ Conf	INSTANCE_NAME	TEXT
			ACT_MDQ_LENGTH	UINT64
			ACT_NONSMTP_DQLENG	UINT64
			POISON_Q_LENGTH	UINT64
			RET_MD_Q_LEN	UINT64
			RETRY_NONSMTP_QLEN	UINT64
			SUB_Q_LENGTH	UINT64
			UNREACH_Q_LENGTH	UINT64
			ACT_XREM_DQLENGTH	UINT64
			ACT_IREM_DQLENGTH	UINT64
			RET_XREM_DQLENGTH	UINT64
			RET_IREM_DQLENGTH	UINT64
			LARG_IDQ_LENGTH	UINT64
			LARG_XDQ_LENGTH	UINT64
			AGSHDQLEN	UINT64
			AGGDEL_IALLQ_LEN	UINT64
			AGGDEL_XALLQ_LEN	UINT64
EXSPI_ ACTSYCHK	Exchange Active Sync	MSEX_ ActiveSync_ Conf	EXSPI_ACTKEY	TEXT
			EXSPI_ACTSRV	TEXT

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー テンプ レート名	メトリック	メトリックのデータ タイプ CODA / PA
			EXSPI_ACTDB	TEXT
			EXSPI_ACTRSLT	UINT64
			EXSPI_ACTLAT	UINT64
			EXSPI_ACTERR	TEXT
EXSPI_RECIP	Exchange 受信 者フィルタ	MSEX_ RecipientPerf_ Conf	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			MBOX_NAME	TEXT
			RECIP_EMAIL	TEXT
			NUM_BYTES_RR	REAL64
			NUM_MSGS_RR	UINT64
			DAG_NAME	TEXT
EXSPI_SENDER	Exchange 週次 統計	MSEX_SCH_ TopSender	SERVER_NAME	TEXT
			ADSITE_NAME	TEXT
			MBOX_NAME	TEXT
			SENDER_EMAIL	TEXT
			NUM_BYTES_SR	REAL64
			NUM_MSGS_SR	UINT64
			DAG_NAME	TEXT

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on PDF version of the Online Help (OMi Management Pack for Microsoft Exchange Server 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

